

平成 1 8 年度

学習状況調査報告書

平成 1 8 年 7 月実施

小学校 4 年	国語		算数		理科
小学校 5 年	国語		算数		理科
小学校 6 年	国語	社会	算数		理科
中学校 1 年	国語	社会	数学		理科
中学校 2 年	国語	社会	数学	理科	英語
中学校 3 年	国語	社会	数学	理科	英語

平成 1 8 年 1 2 月

秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、平成18年7月、小学校4年生から中学校3年生を対象に学習状況調査を実施しました。

この調査は、学習指導要領の内容等の定着度を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題をとらえ、本県児童生徒の学力向上施策の推進に資するとともに、各小・中学校において、自校の実態や課題をよりの確にとらえ、目標に準拠した評価の研究や授業改善に生かすなど、指導方法の工夫改善のための資料を提供することをねらいとして、平成14年度より毎年実施しているものです。

今年度も、小学校については、国語、社会、算数、理科の4教科及び意欲等に関する質問紙調査、中学校については、国語、社会、数学、理科、英語の5教科及び意欲等に関する質問紙調査を実施しております。このたび、本調査の結果がまとまりましたので、報告書をお届けします。

今年度の報告書は、各学校が自校の状況を具体的に把握できるための度数分布グラフと、教科等の詳しい分析をCDにしてまとめております。

各小・中学校においては、自校の集計結果を分析し、対策等を検討し、指導方法等の工夫改善にすでにかかっているところですが、積極的に本報告書(CD)及び各教科の考察、学習状況調査問題を活用し、個に応じた指導等の指導方法の工夫改善を一層進めるとともに、児童生徒一人一人の学力向上に大いに役立てていただくことを期待します。

終わりに、この調査研究に御協力いただいた県内すべての市町村教育委員会、各小・中学校、問題作成委員の方々に深く感謝の意を表します。

平成18年12月

秋田県教育委員会

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容等の定着度を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題をとらえ、本県児童生徒の学力向上施策の推進に資するとともに、各小・中学校において、自校の実態や課題をよりの確にとらえ、目標に準拠した評価の実践や授業の改善に生かすなど、学習指導の工夫改善を図ることを通して、児童生徒の基礎学力の向上に資する。

(2) 調査対象学年、教科、調査結果の抽出人数等

ペーパーテスト調査

学習への意欲等に関する質問紙調査

学 年	実 施 教 科	実 施 人 数	抽出人数(抽出率)
小学校第4学年	国語、算数、理科	約 9,800人	約 9,200人 (93.9%)
小学校第5学年		約 10,000人	約 9,500人 (95.0%)
小学校第6学年	国語、社会、算数・数学 理科	約 10,800人	約 10,100人 (93.5%)
中学校第1学年		約 10,300人	約 8,000人 (77.7%)
中学校第2学年	国語、社会、数学、理科	約 10,800人	約 8,400人 (77.7%)
中学校第3学年	英語	約 10,900人	約 8,400人 (77.1%)

* 悉皆調査によるが、分析は抽出による。

(3) 出題内容

基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力がどの程度身に付いているか、指導上の問題点は何かを明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目について出題する。

出題の範囲

調査対象学年の生徒が、前学年で履修した教科の内容とする。なお、内容に関連して、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

(4) 調査実施日

小学校 平成18年7月 5日(水)

中学校 平成18年7月12日(水)

2 本県調査の特徴・用語

(1) 特徴

評価規準の設定

- ・観点別評価の実施
- ・調査する基礎・基本の明確化

設定通過率の設定

- ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定

ペーパーテストと学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握

- ・多面的な学力の把握

過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較

- ・学力の推移の把握

調査結果の活用の工夫

- ・各校における結果分析に基づいた指導の改善
- ・報告書の作成

(2) 用語

・通過率

…各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合

各問題ごとに、各学校の通過率、全県の通過率を算出している。

(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)

・平均通過率

…全問題の通過率の平均

100点満点に換算したときの平均点とみることができる。

各教科ごとに、各学校の平均通過率、全県の平均通過率を算出している。

・設定通過率

…問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかを予め定めた値(本県が独自に取り入れているもので研究段階である。参考として示している。)

・小問別反応率

…小問ごとに、[正答][誤答][未記入][未履修]の割合を表したもの

・平均通過率度数分布グラフ

…100点満点に換算したときの度数分布グラフ

学校数の度数分布グラフと児童生徒数の度数分布グラフがある。

・小問別通過率度数分布表

…各小問ごと、通過率における学校数の度数分布を示した表

3 調査結果の概要

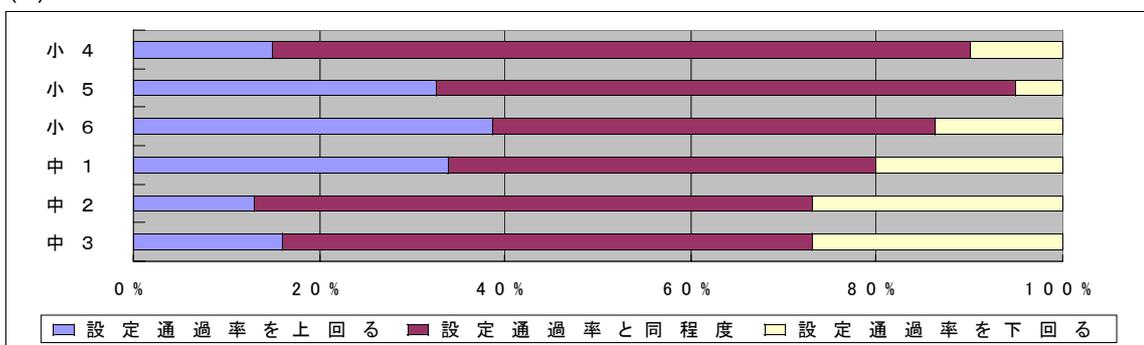
(1) ペーパーテストの結果

設定通過率との比較

学年別に、通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合を比較すると、高い順に小5(95.0%)、小4(90.0%)、小6(86.3%)、中1(80.0%)、中2(73.0%)、中3(73.0%)となっており、小学校の方が総じて中学校よりも高くなっている(ア参照)。また、この割合を教科別にみると、小学校では全学年、全教科で75%を超えているのに対し、中学校では社会、数学で60%を下回る学年がある。国語、理科、英語はすべての学年で75%を超えた。

平均通過率と設定通過率の平均を比べてみると、小学校ではすべての学年、教科で同程度か平均通過率が上回っている。中学校では、平均通過率が設定通過率の平均を下回っている学年・教科が多い(イ参照)

(ア) 学年別の通過率と設定通過率との比較



(イ) 学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

教科名	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
国語	小4	73.3	73.5	-0.2%	80.0%
	小5	76.2	73.0	3.2%	90.0%
	小6	75.5	72.0	3.5%	80.0%
社会	小6	80.6	72.0	8.6%	95.0%
算数	小4	79.0	80.5	-1.5%	90.0%
	小5	80.5	74.0	6.5%	95.0%
	小6	68.7	70.0	-1.3%	75.0%
理科	小4	84.0	75.5	8.5%	100%
	小5	85.0	75.9	9.1%	100%
	小6	83.8	77.9	5.9%	95.0%

教科名	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
国語	中1	68.0	71.0	-3.0%	75.0%
	中2	74.7	71.5	3.2%	95.0%
	中3	75.0	71.0	4.0%	90.0%
社会	中1	76.0	71.8	4.2%	95.0%
	中2	58.5	70.5	-12.0%	50.0%
	中3	60.5	68.8	-8.3%	70.0%
数学	中1	73.3	71.0	2.3%	75.0%
	中2	60.3	69.0	-8.7%	55.0%
	中3	55.0	70.0	-15.0%	50.0%
理科	中1	69.8	72.3	-2.5%	75.0%
	中2	67.7	70.5	-2.8%	85.0%
	中3	64.1	68.5	-4.4%	80.0%
英語	中2	71.0	71.0	0%	80.0%
	中3	68.6	70.3	-1.7%	75.0%

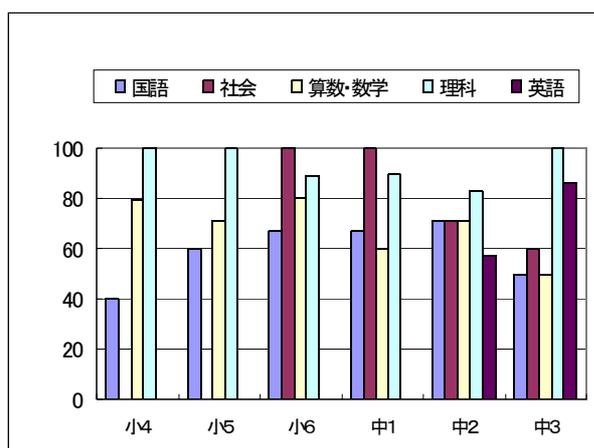
通過割合：全問題数に対して設定通過率を超えた問題数の割合

県の類似問題との比較

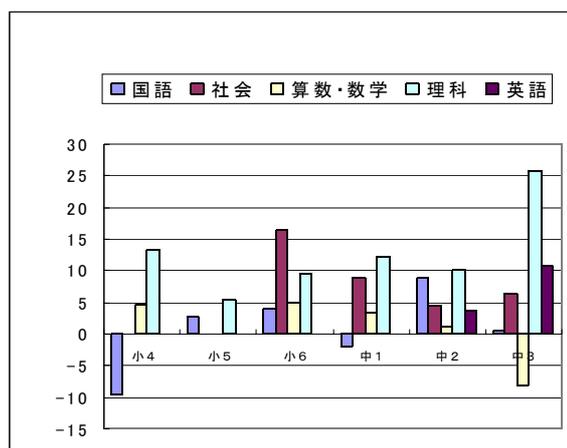
過去の通過率を上回った問題数の割合をみると、小学校では70問中56問(80.0%)、中学校では98問中73問(74.0%)で上回っている。なお、この数値は、小学校、中学校ともに、昨年度と同程度である。

通過率の平均では、小学校は、4年国語以外は各学年、各教科ともに過去の状況を上回っている。中学校は、1年国語、3年数学以外は、各学年、各教科ともに過去の状況を上回っている。

過去の通過率(県)を上回った問題数の割合



県類似問題における通過率の平均の比較

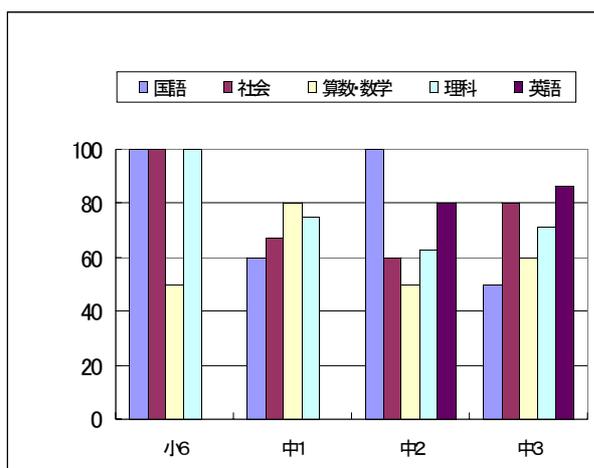


国の類似問題との比較

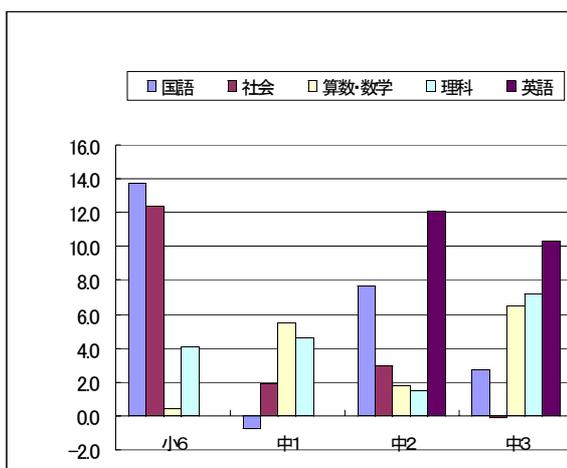
国の通過率を上回った問題数の割合は、小学校では19問中16問(84.0%)、中学校では78問中54問(69.0%)である。

通過率の平均で比較すると、中1国語、中3社会以外は、各学年、各教科ともに過去の状況を上回っている。

過去の通過率(国)を上回った問題数の割合



国類似問題における通過率の平均の比較



各教科の観点別または領域別の比較

観点別または領域別に、通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題の割合をみると、小学校では、国語の「読むこと」(60.0%)を除き、その他はおおむね80%を超えている。特に、国語の「書くこと」(100%)、「言語事項」(95.5%)、社会の「思考・判断」(100%)、「技能・表現」(100%)、数学の「表現・処理」(92.3%)、理科の「科学的な思考」(100%)、「技能・表現」(91.7%)、「知識・理解」(100%)で高い割合になっている。昨年度、課題であった理科の「技能・表現」は、今年度の調査では良好である。

中学校では、設定通過率を上回るか同程度である割合は、小学校に比べると低くなっているが、国語の「書くこと」(100%)、「読むこと」(90.9%)、英語の「聞くこと」(92.9%)、「読むこと」(100%)は割合が高く、また、国語の「言語事項」(82.9%)、社会の「技能・表現」(84.2%)、理科の「技能・表現」(85.0%)で80%を超えている。しかし、数学の「見方・考え方」(43.8%)、「知識・理解」(47.1%)、英語の「書くこと」(42.9%)は50%を下回っていて、この点に配慮した指導方法の工夫改善を一層進める必要がある。

< 小学校 >

教科名	観点または領域	問題数	上回った問題数	同程度の問題数	下回った問題数
国 語	書くこと	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
	読むこと	15	0 (0.0%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)
	言語事項	22	11 (50.0%)	10 (45.5%)	1 (4.5%)
社 会	思考・判断	7	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)
	技能・表現	8	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)
	知識・理解	5	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)
算 数	考え方	14	1 (7.2%)	10 (71.4%)	3 (21.4%)
	表現・処理	26	7 (26.9%)	17 (65.4%)	2 (7.7%)
	知識・理解	20	6 (30.0%)	11 (55.0%)	3 (15.0%)
理 科	科学的な思考	13	5 (38.5%)	8 (61.5%)	0 (0.0%)
	技能・表現	12	1 (8.3%)	10 (83.4%)	1 (8.3%)
	知識・理解	15	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)

< 中学校 >

教科名	観点または領域	問題数	上回った問題数	同程度の問題数	下回った問題数
国 語	書くこと	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
	読むこと	22	4 (18.2%)	16 (72.7%)	2 (9.1%)
	言語事項	35	12 (34.3%)	17 (48.6%)	6 (17.1%)
社 会	思考・判断	20	3 (15.0%)	11 (55.0%)	6 (30.0%)
	技能・表現	19	6 (31.6%)	10 (52.6%)	3 (15.8%)
	知識・理解	21	4 (19.0%)	9 (42.9%)	8 (38.1%)
数 学	見方・考え方	16	3 (18.8%)	4 (25.0%)	9 (56.2%)
	表現・処理	27	5 (18.5%)	16 (59.3%)	6 (22.2%)
	知識・理解	17	3 (17.7%)	5 (29.4%)	9 (52.9%)
理 科	科学的な思考	20	3 (15.0%)	10 (50.0%)	7 (35.0%)
	技能・表現	20	2 (10.0%)	15 (75.0%)	3 (15.0%)
	知識・理解	20	2 (10.0%)	14 (70.0%)	4 (20.0%)
英 語	聞くこと	14	4 (28.6%)	9 (64.3%)	1 (7.1%)
	読むこと	12	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)
	書くこと	14	2 (14.3%)	4 (28.6%)	8 (57.1%)

各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

ア 国 語

教科名 国語 学年 小4

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	85	87.0	78.0	
2)	85	96.8		
3)	80	80.9		
4)	70	77.7		
5)	70	79.5	74.9	
6)	70	69.2		
7)	60	43.3	71.7	
8)	65	40.7	71.7	
9)	70	75.3	77.8	
10)	80	83.6		
11)				
12)				
13)				
14)				
15)				
16)				
17)				
18)				
19)				
20)				

設定通過率	73.5			
平均通過率		73.3		
県類似問題		65.2	74.8	
国類似問題				

教科名 国語 学年 小5

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	70	73.7		
2)	70	90.2		
3)	85	85.1	82.4	
4)	70	73.5	78.5	
5)	80	95.7	66.0	
6)	65	59.3		
7)	75	72.5		
8)	80	84.8	78.9	
9)	65	53.9	73.5	
10)	70	73.3		
11)				
12)				
13)				
14)				
15)				
16)				
17)				
18)				
19)				
20)				

設定通過率	73.0			
平均通過率		76.2		
県類似問題		78.6	75.9	
国類似問題				

教科名 国語 学年 小6

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	85	96.2		81.2
2)	85	96.6		93.4
3)	65	75.1		55.0
4)	75	85.0	71.9	
5)	75	93.5		
6)	80	93.8	88.1	
7)	70	76.4		60.0
8)	75	87.7	83.2	
9)	65	53.1		
10)	80	89.6	95.9	
11)	70	74.5		
12)	70	81.2	65.1	
13)	75	63.3		
14)	70	60.4		
15)	65	66.4		
16)	65	51.5		
17)	70	56.3		
18)	70	71.2		
19)	60	58.6	68.0	
20)	70	81.2		

設定通過率	72.0			
平均通過率		75.5		
県類似問題		82.7	78.7	
国類似問題		86.1		72.4

教科名 国語 学年 中1

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	85	97.1		
2)	85	95.3	91.9	
3)	80	84.2		
4)	80	82.5		89.7
5)	75	86.5	83.3	
6)	60	40.6	47.6	
7)	65	60.8		57.2
8)	65	65.0	44.8	
9)	60	18.6	53.8	
10)	60	32.6		
11)	80	95.8		95.8
12)	65	79.1		54.6
13)	65	44.6		69.4
14)	70	50.8		
15)	75	70.8		
16)	75	65.2		
17)	70	82.7		
18)	65	58.3		
19)	70	75.3	71.3	
20)	70	75.7		

設定通過率	71.0			
平均通過率		68.0		
県類似問題		63.6	65.5	
国類似問題		72.6		73.3

教科名 国語 学年 中2

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	70	68.9		
2)	65	59.4	57.3	
3)	80	81.8		
4)	80	95.3		
5)	85	98.0		
6)	75	96.7	55.6	
7)	75	68.3		
8)	70	69.8		
9)	85	86.2	91.9	
10)	60	33.2	22.9	
11)	60	65.1	47.9	
12)	85	87.6	91.7	
13)	75	80.8	79.1	
14)	70	77.1		
15)	80	87.4		85.0
16)	65	68.0		59.2
17)	60	61.8		
18)	60	66.1		55.9
19)	60	60.1		50.6
20)	70	86.5		

設定通過率	71.5			
平均通過率		74.7		
県類似問題		72.7	63.8	
国類似問題		70.4		62.7

教科名 国語 学年 中3

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	80	89.1	84.9	
2)	85	98.7		
3)	70	80.2	63.5	
4)	80	90.9		
5)	65	65.7	67.4	
6)	65	62.2	59.0	
7)	75	85.2		76.2
8)	85	91.1		57.4
9)	70	58.3		
10)	65	71.6	89.6	
11)	75	86.9		87.0
12)	70	78.3		78.2
13)	65	57.2		
14)	60	46.3		59.9
15)	65	61.4		74.4
16)	70	71.4	72.2	
17)	70	81.4		
18)	65	56.0		
19)	70	84.2		
20)	70	85.5		

設定通過率	71.0			
平均通過率		75.0		
県類似問題		73.4	72.8	
国類似問題		74.9		72.2

イ 社会

教科名 社会 学 年 小6

通し番号	設定通過率		通 過 率	
	本年度	本年度	県	国
1)	75	86.6		
2)	60	77.5		56.5
3)	70	82.7		66.0
4)	75	85.8		71.1
5)	75	83.5		76.1
6)	70	82.0	56.7	
7)	70	79.7	57.0	
8)	75	81.0		80.1
9)	70	54.8		
10)	80	91.0		
11)	70	78.2	62.8	
12)	70	75.4	56.1	
13)	65	68.4		
14)	65	71.9	66.2	
15)	80	87.4		
16)	75	86.2		
17)	70	81.3		
18)	80	89.6		76.0
19)	65	77.6		
20)	80	91.8	81.1	

設定通過率	72.0		
平均通過率	80.6		
県類似問題	79.8	63.3	
国類似問題	83.4		71.0

教科名 社会 学 年 中1

通し番号	設定通過率		通 過 率	
	本年度	本年度	県	国
1)	80	96.3		86.8
2)	75	80.6		78.1
3)	75	74.2		
4)	80	90.6		
5)	65	66.7	51.0	
6)	80	89.2	86.4	
7)	75	86.3		
8)	80	90.1		
9)	70	68.8	62.1	
10)	65	71.3	59.6	
11)	75	89.3		
12)	70	50.4		
13)	60	61.8	45.7	
14)	60	50.9		
15)	65	59.5		65.8
16)	75	76.6		74.0
17)	75	76.3		82.5
18)	75	86.2	80.3	
19)	60	70.9		61.6
20)	75	85.2	81.6	

設定通過率	71.8		
平均通過率	76.0		
県類似問題	75.6	66.7	
国類似問題	76.7		74.8

教科名 社会 学 年 中2

通し番号	設定通過率		通 過 率	
	本年度	本年度	県	国
1)	85	92.3	83.9	
2)	80	77.1	49.7	
3)	85	75.3	80.8	
4)	60	25.3	39.6	
5)	80	93.5		84.6
6)	65	44.8		46.2
7)	60	40.6		
8)	75	76.8		
9)	70	68.9		
10)	65	49.1		
11)	80	69.9		56.2
12)	85	61.5		
13)	70	73.7	70.2	
14)	65	55.2	48.5	
15)	70	30.8		
16)	65	53.2	48.0	
17)	65	59.8		69.3
18)	60	32.3		
19)	60	30.5		
20)	65	59.0		55.9

設定通過率	70.5		
平均通過率	58.5		
県類似問題	64.6	60.1	
国類似問題	65.4		62.4

教科名 社会 学 年 中3

通し番号	設定通過率		通 過 率	
	本年度	本年度	県	国
1)	75	89.3		87.7
2)	75	69.7		68.1
3)	65	57.9	48.3	
4)	65	58.8		
5)	60	60.5		
6)	70	65.4		60.5
7)	80	90.0	90.4	
8)	70	67.9	52.1	
9)	70	78.7		
10)	70	74.4		
11)	65	57.2		53.3
12)	70	47.0		59.3
13)	65	28.6		
14)	60	20.7		
15)	65	40.2	59.9	
16)	70	82.1	55.7	
17)	70	78.8		
18)	60	21.1		
19)	80	91.1		
20)	70	33.3		

設定通過率	68.8		
平均通過率	60.5		
県類似問題	67.6	61.3	
国類似問題	65.7		65.8

ウ 算数・数学

教科名 算数 学年 小4

通し番号	設定通過率	通過率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	87.3	85.5	
2)	90	95.5	93.5	
3)	80	75.6	68.6	
4)	90	93.3	90.8	
5)	90	98.5	95.9	
6)	80	65.1		
7)	90	93.0	78.9	
8)	80	84.0		
9)	80	74.5		
10)	80	75.9	77.4	
11)	80	79.3	68.8	
12)	80	83.5	78.1	
13)	70	65.0		
14)	70	54.4	76.5	
15)	70	60.5	74.0	
16)	80	86.6	71.3	
17)	70	65.7		
18)	90	96.2	71.3	
19)	80	89.3	73.1	
20)	70	61.5		

設定通過率	80.5			
平均通過率		79.0		
県類似問題		83.5	78.8	
国類似問題				

教科名 算数 学年 小5

通し番号	設定通過率	通過率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	94.4		
2)	80	89.4		
3)	80	88.0	76.8	
4)	90	98.2		
5)	80	90.3		
6)	70	83.9		
7)	70	64.3		
8)	60	72.8		
9)	80	85.4		
10)	60	56.8	77.6	
11)	70	76.1	69.5	
12)	60	49.6		
13)	70	77.0	69.5	
14)	60	57.7		
15)	80	90.6	88.0	
16)	80	93.0		
17)	80	93.1		
18)	80	90.3		
19)	80	93.1	92.2	
20)	60	69.0	77.2	

設定通過率	74.0			
平均通過率		80.5		
県類似問題		78.7	78.7	
国類似問題				

教科名 算数 学年 小6

通し番号	設定通過率	通過率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	96.3		
2)	80	93.4		
3)	80	72.8		
4)	60	78.2	67.1	
5)	60	75.3	52.8	
6)	70	52.8	83.5	
7)	80	85.2		78.6
8)	70	52.7		70.8
9)	60	79.6		61.5
10)	80	77.3	69.9	
11)	80	91.5		89.1
12)	70	52.7		56.6
13)	70	81.4		
14)	60	34.4		
15)	70	66.9	52.1	
16)	60	51.0		
17)	80	73.9		76.4
18)	60	58.5		
19)	60	68.1		
20)	60	34.2		

設定通過率	70.0			
平均通過率		68.7		
県類似問題		70.1	65.1	
国類似問題		72.6		72.2

教科名 数学 学年 中1

通し番号	設定通過率	通過率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	90.8		
2)	80	90.1		
3)	80	91.3		82.4
4)	60	77.1		
5)	60	48.3	41.3	
6)	60	70.0		
7)	70	73.4	55.5	
8)	60	32.4	46.9	
9)	70	56.5	72.3	
10)	70	81.0		74.2
11)	90	94.7		
12)	90	53.6		
13)	80	84.7		
14)	70	73.2		78.8
15)	60	78.3	55.8	
16)	60	77.1		65.4
17)	70	83.7		78.1
18)	80	94.6		
19)	60	77.1		
20)	60	40.0		

設定通過率	71.0			
平均通過率		73.3		
県類似問題		57.8	54.4	
国類似問題		81.3		75.8

教科名 数学 学年 中2

通し番号	設定通過率	通過率		
	本年度	本年度	県	国
1)	80	69.8		
2)	80	81.6		
3)	80	88.5		
4)	70	60.6	55.8	
5)	60	65.8		
6)	70	84.1		68.8
7)	70	79.5		63.6
8)	60	64.3	43.2	
9)	70	39.9		
10)	60	37.4	26.7	
11)	60	26.8		
12)	60	23.3	17.0	
13)	70	60.8	49.8	
14)	70	69.1		72.9
15)	70	74.9		65.7
16)	80	83.0		
17)	70	47.9	79.5	
18)	70	50.1	63.8	
19)	70	52.9		59.6
20)	60	47.5		66.8

設定通過率	69.0			
平均通過率		60.3		
県類似問題		49.2	48.0	
国類似問題		68.0		66.2

教科名 数学 学年 中3

通し番号	設定通過率	通過率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	89.9		
2)	80	82.8		
3)	80	84.8		63.4
4)	80	79.2		
5)	80	78.0		
6)	70	62.4		
7)	70	49.9	43.5	
8)	70	18.9	61.7	
9)	70	60.8	39.6	
10)	80	57.0		
11)	70	44.6	64.9	
12)	70	47.9		38.8
13)	60	58.6		59.2
14)	60	33.7		
15)	60	16.1	40.4	
16)	70	60.7		63.9
17)	60	42.9		37.0
18)	60	61.4	49.9	
19)	60	30.9		
20)	60	42.6		

設定通過率	70.0			
平均通過率		55.0		
県類似問題		42.0	50.0	
国類似問題		59.0		52.5

才 英 語

教科名 英語 学年 中2

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	98.2		
2)	80	77.5		
3)	85	95.3		
4)	75	69.9		
5)	90	95.2	97.6	
6)	60	51.5	61.0	
7)	65	65.9	66.7	
8)	70	86.5		58.9
9)	75	87.0	79.0	
10)	70	82.6		
11)	75	86.5	82.4	
12)	65	78.7		53.8
13)	70	78.2	70.6	
14)	60	22.2		
15)	60	30.5	11.8	
16)	60	41.7		64.6
17)	60	42.3		
18)	80	89.6		
19)	60	61.0		39.2
20)	70	80.9		72.0

設定通過率	71.0		
平均通過率	71.0		
県類似問題	70.7	67.0	
国類似問題	69.8		57.7

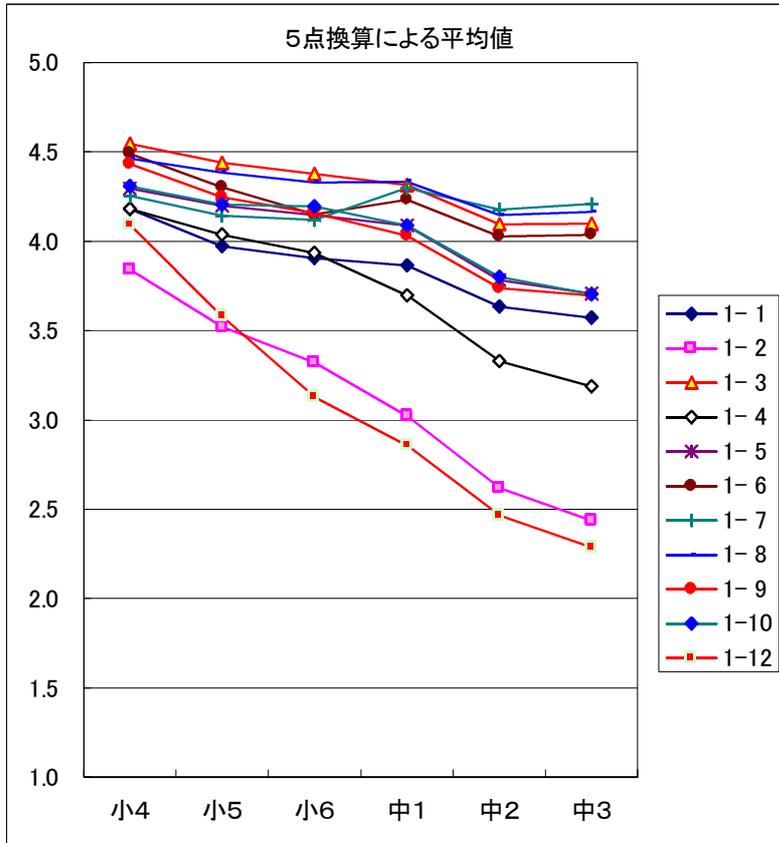
教科名 英語 学年 中3

通し番号	設定通過率	通 過 率		
	本年度	本年度	県	国
1)	90	98.8	98.7	
2)	80	82.0		81.8
3)	80	90.9		76.7
4)	80	93.1		
5)	70	57.5		
6)	70	82.8		60.7
7)	60	53.0	52.4	
8)	75	81.4		72.3
9)	60	66.7		67.1
10)	85	89.7	86.8	
11)	60	60.7		
12)	70	73.0		57.9
13)	85	88.7	89.4	
14)	60	25.3	16.3	
15)	60	42.1		
16)	70	57.3		
17)	60	54.2		
18)	60	76.9	23.1	
19)	60	31.5	21.7	
20)	70	70.4		58.6

設定通過率	70.3		
平均通過率	68.6		
県類似問題	66.3	67.9	
国類似問題	78.2		67.9

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

学習全般についての結果概要

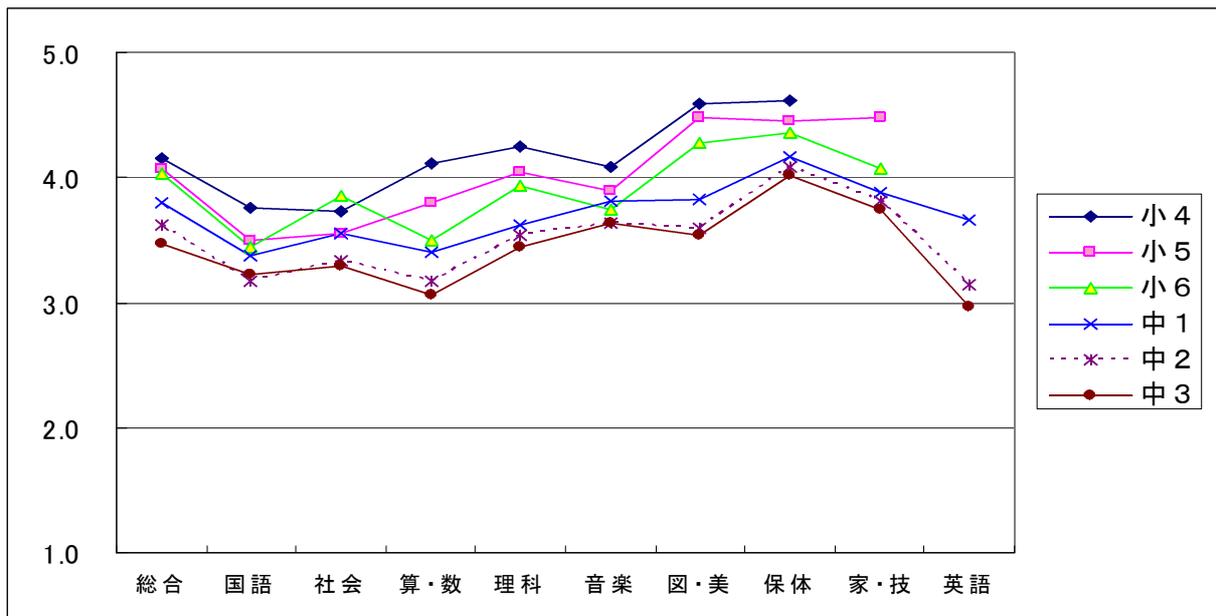


調査項目

- 1-1 学校が好きだ
- 1-2 勉強が好きだ
- 1-3 勉強は大切だ
- 1-4 学校の勉強がよく分かる
- 1-5 勉強は受験に関係なくとも大切だ
- 1-6 よい成績をとれるよう、勉強したい
- 1-7 受験に役立つよう、勉強したい
- 1-8 自分の好きな仕事につけるよう勉強したい
- 1-9 分からないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい
- 1-10 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい
- 1-11 お父さんやお母さんにほめられるよう、勉強したい
- 1-12 先生にほめられるよう、勉強したい

つよくそう思う... 5点 そう思う... 4点 そう思わない... 2点 まったくそう思わない... 1点 分からない・どちらでもない... 3点

教科の好き嫌いについての結果概要

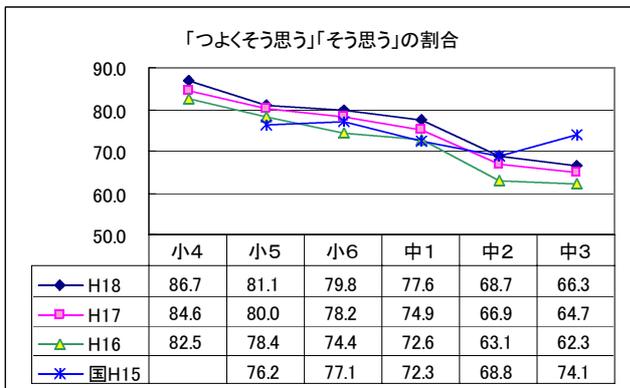
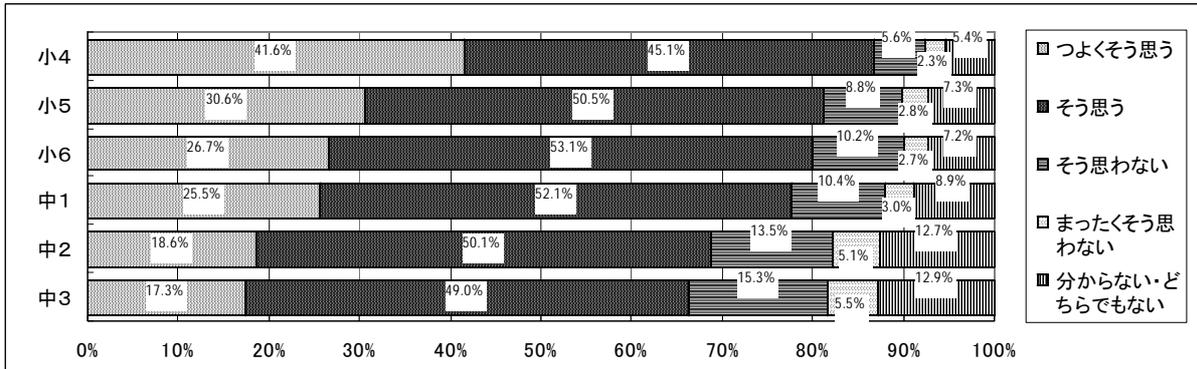


大好き... 5点 好き... 4点 きれい... 2点 大きらい... 1点 分からない・どちらでもない... 3点

学習全般

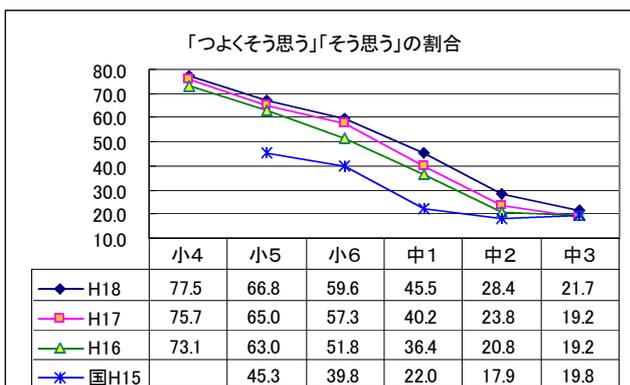
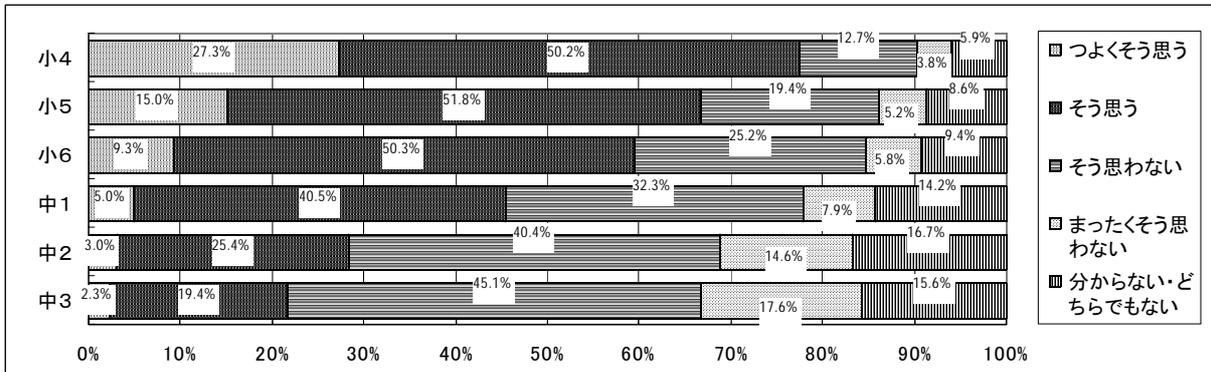
グラフ上段〔帯グラフ〕 … 結果
 グラフ下段〔折れ線グラフ〕 … 過去との比較（肯定的反応の割合）

1-1 学校が好きだ



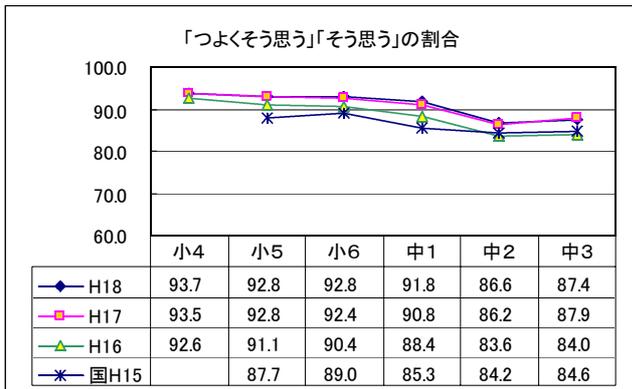
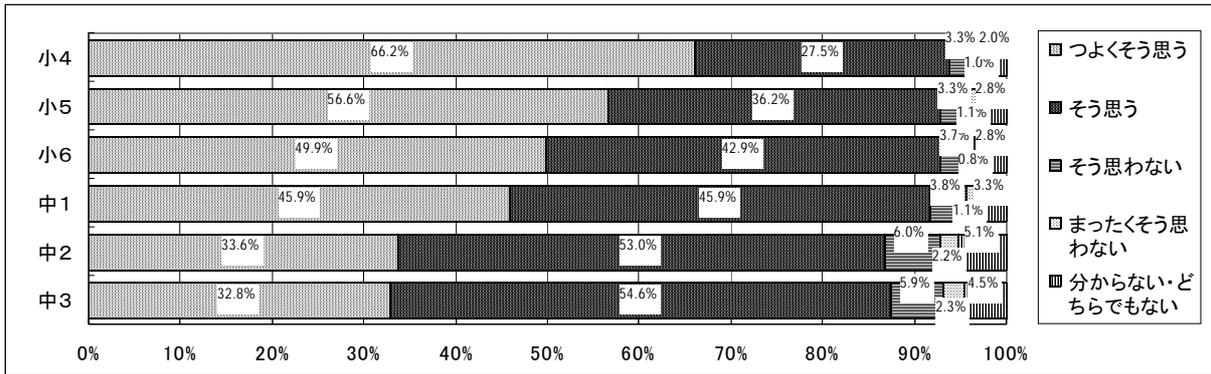
「つよくそう思う」「そう思う」の割合が、小4から中3にかけて減少する傾向にあるが、その変動幅は小さい。経年比較では、各学年とも「学校が好きだ」と答える児童生徒の割合が、年々2%程度ずつ上昇してきている。

1-2 勉強が好きだ



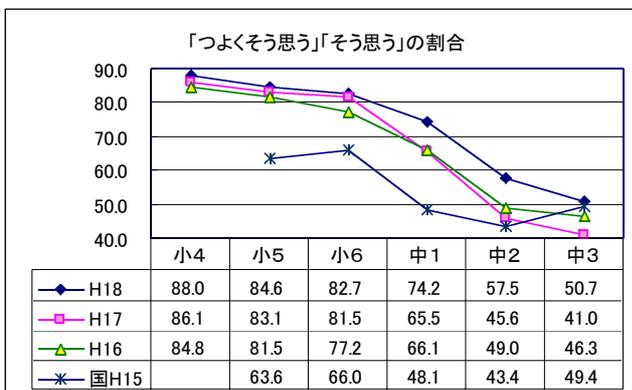
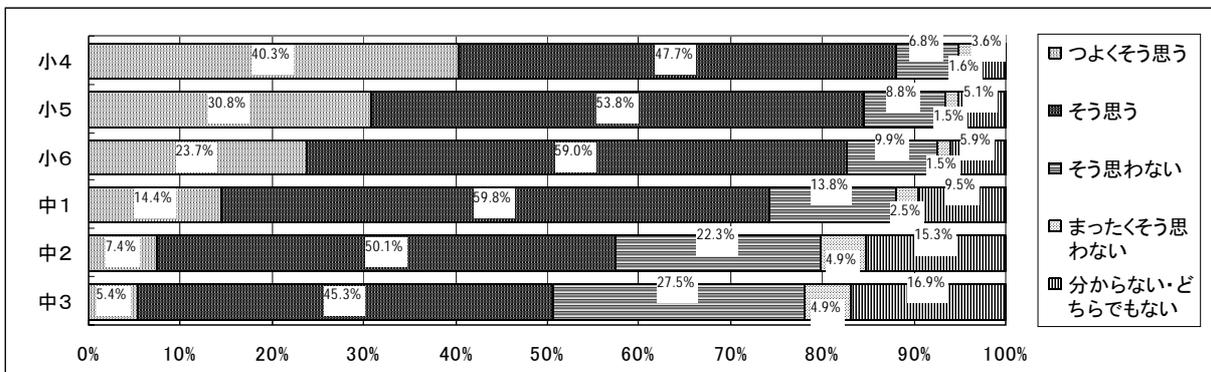
経年比較から、「勉強が好きだ」と答えている児童生徒が、毎年確実に増加している。この結果は、国と比較しても良好な状況である。しかし、小4の77.5%が勉強が好きだと答えているのに対し、中1からは50%を下回り、中3では21.7%となっている。

1-3 勉強は大切だ



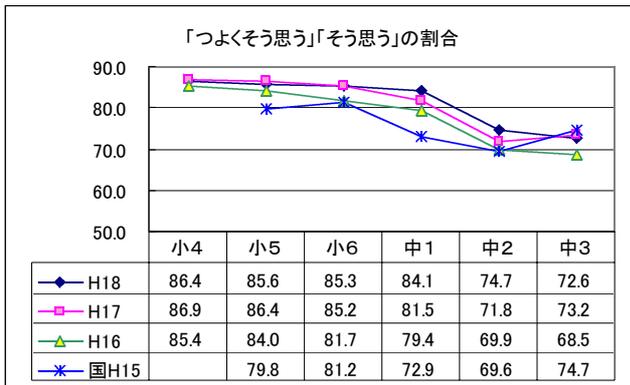
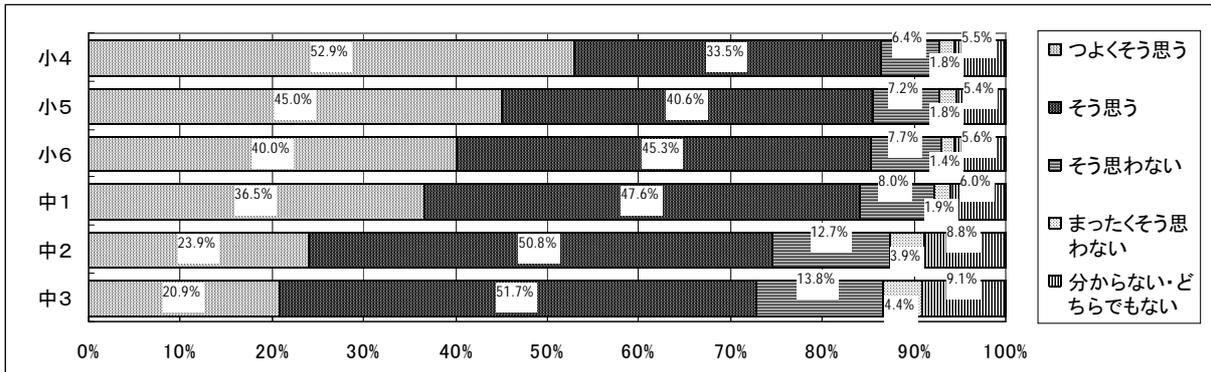
すべての学年で、90%程度の児童生徒が「勉強は大切だ」と答えている。国の調査結果と比べてもその割合は上回っており、勉強の重要性を強く感じていると考えられる。

1-4 学校の勉強がよく分かる



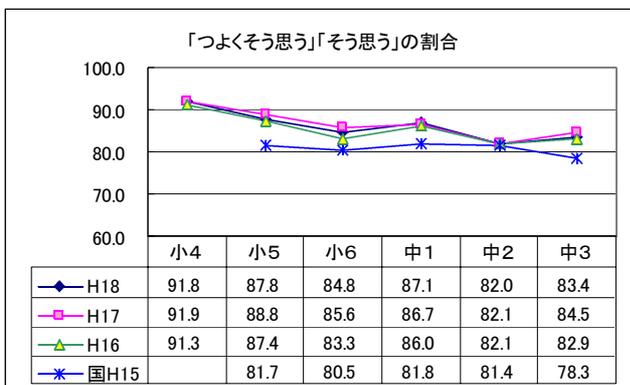
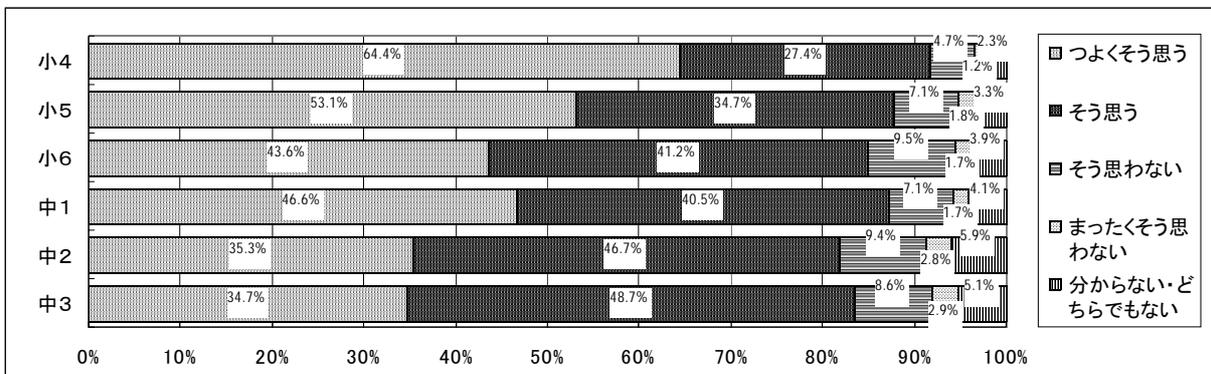
すべての学年で、「勉強がよく分かる」と答えた児童生徒の割合が増加している。増加の割合は、小学生では1~2ポイントであるが、中学生では10ポイント程度の増加となっており、分かる授業づくりを目指し、指導方法の工夫改善が進んできていると考えられる。

1-5 勉強は受験に関係なくとも大切だ



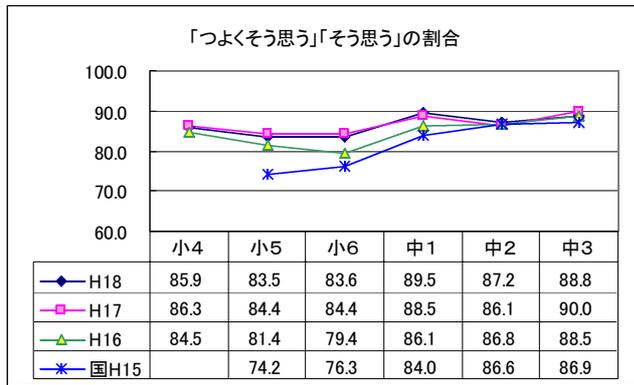
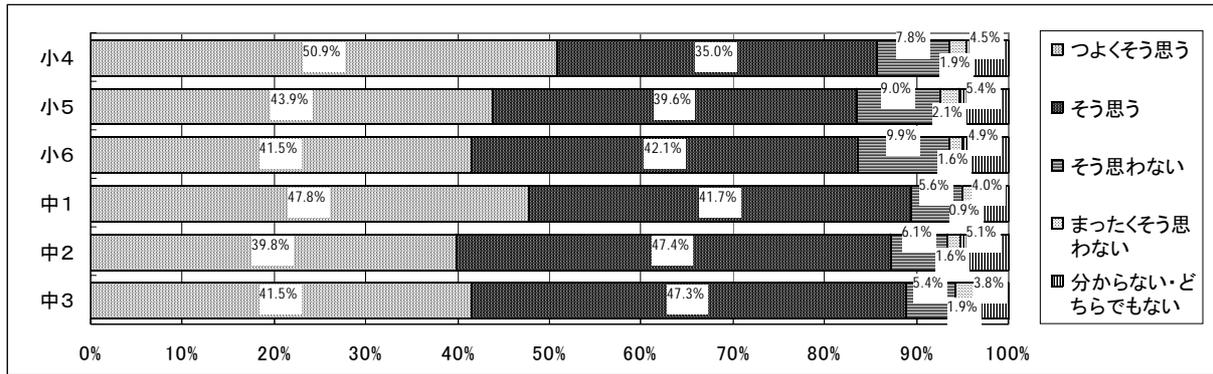
「勉強は受験に関係なくとも大切だ」と答えている児童生徒の割合は、小4～中1で80%以上、中2～3で70%台となっている。
 国の調査では中1以上で意識の変化がみられるが、本県生徒は、中2以上で勉強に対する意識が変化してくることがうかがえる。

1-6 よい成績をとれるよう、勉強したい



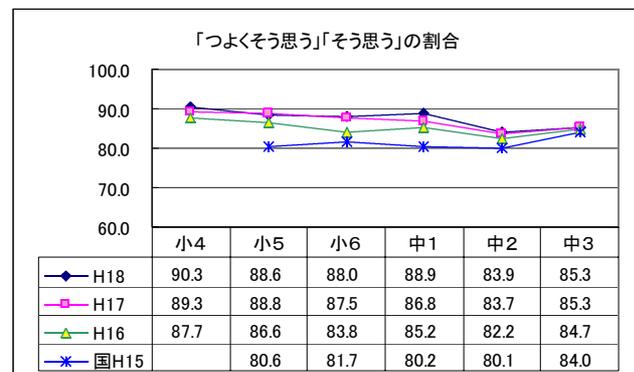
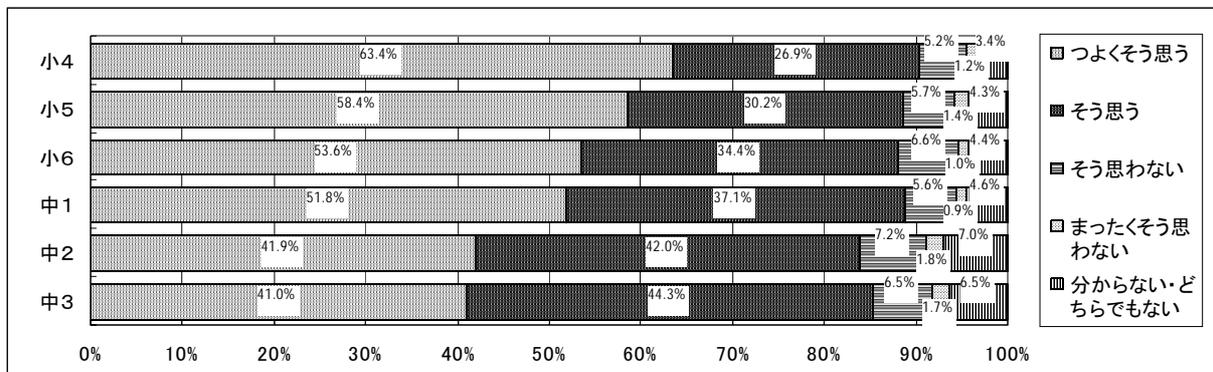
「よい成績をとれるよう、勉強したい」と答えている児童生徒は、どの学年も80%を超え、経年比較からも毎年同じ傾向がみられる。
 国の調査結果をすべての学年で上回っていることから、本県児童生徒は、よい成績を取りたいと強く願っていることがうかがえる。

1-7 受験に役立つよう、勉強したい



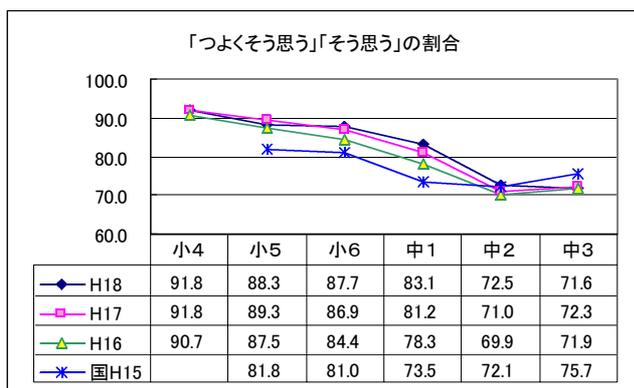
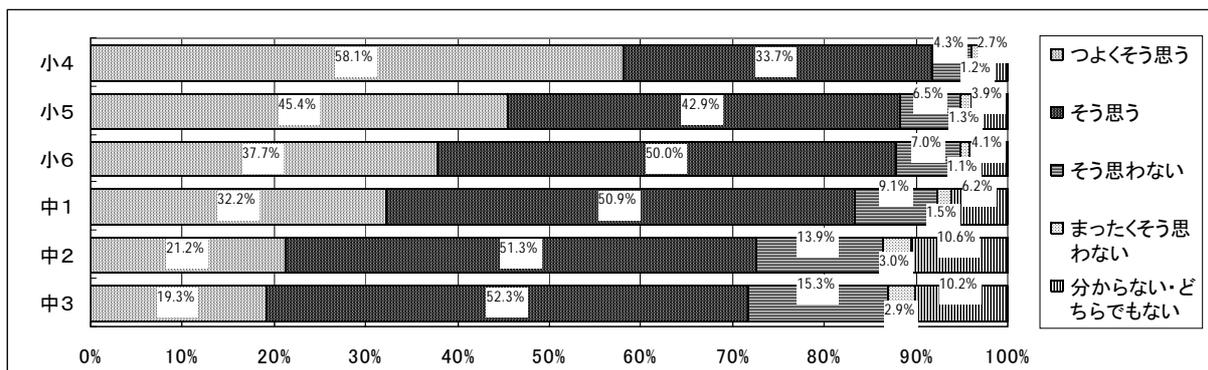
「受験に役立つよう、勉強したい」と答えている児童生徒は、すべての学年で80%を超えている。国の調査結果では学年が上がるにつれて徐々に割合が増加しているが、本県では小学生段階からある程度受験を意識している傾向がうかがえる。特に、中1と中3が同程度の割合であることが特徴である。

1-8 自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい



「自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい」と答えた児童生徒の割合は、83.9%～90.3%で、6%程度の幅の中にある。学年に関係なく多くの児童生徒が、将来の進路実現のために勉強したいと考えている。

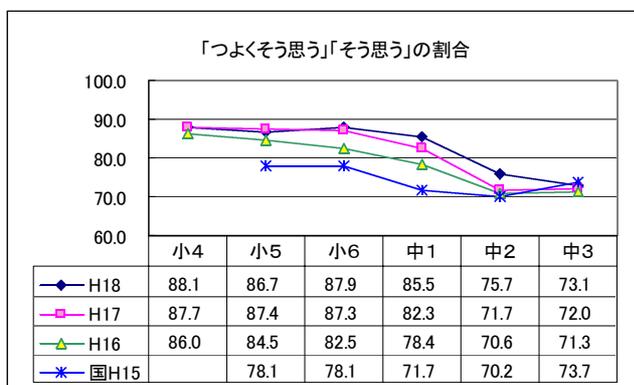
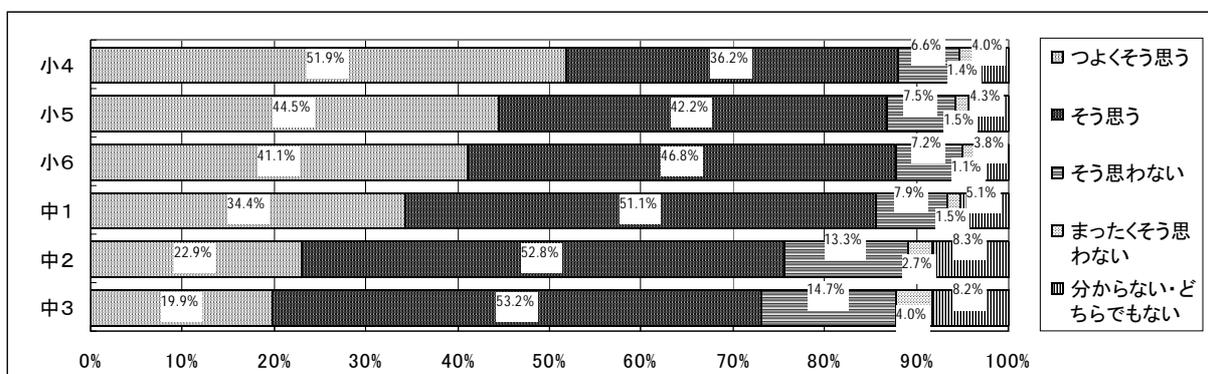
1-9 わからないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい



「わからないことでも自分の力で答えを見つけられるよう、勉強したい」と答えている児童生徒の割合は、小学生で非常に大きく、小学生の学習への積極性がうかがえる。

小6から中1への数値の低下幅が小さく、小・中の連続性が大切にされていることがうかがえるが、その一方で中1から中2・3への数値の減少は大きく、自力解決への意欲が高まるよう指導方法の工夫が必要である。

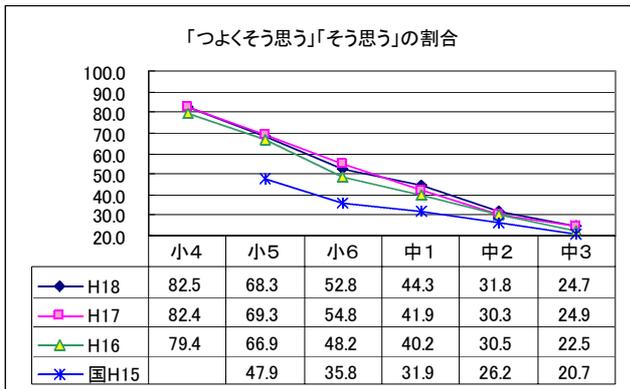
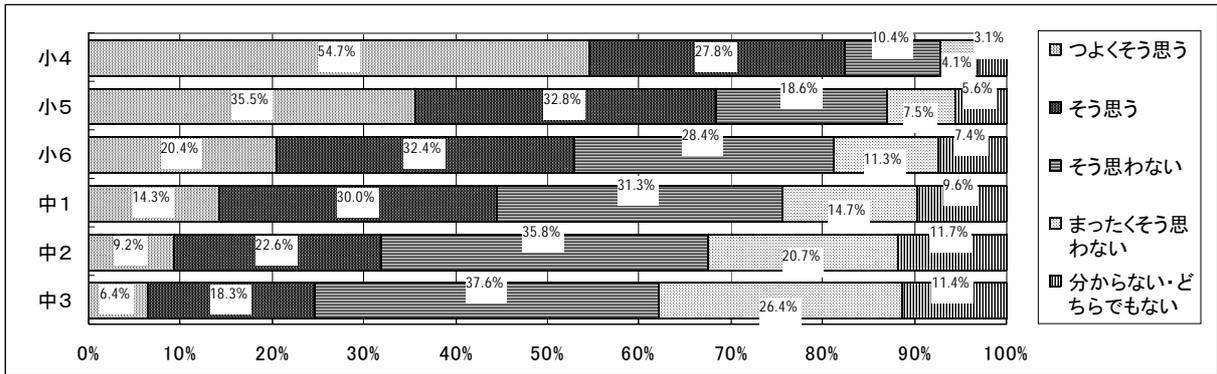
1-10 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい



「ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい」と答えた児童生徒の割合は、小4～中1で85%以上であるが、中2・3では75%程度である。

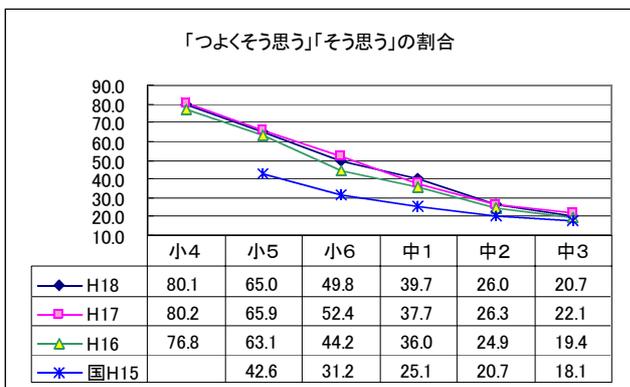
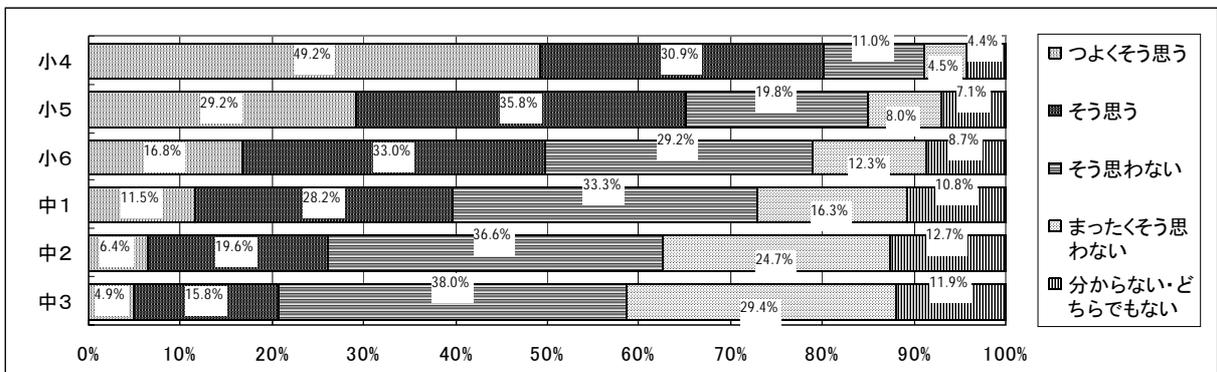
中2・3においては、経年比較から、数値が少しずつ増加していることが分かるものの、一層生活や社会に出て役立つという実感をもたせるための指導改善に工夫が必要である。

1-11 お父さんやお母さんにほめられるよう、勉強したい



「お父さんやお母さんにほめられるよう、勉強したい」と答えている児童生徒の割合は、小4の82.5%から学年が上がるにつれてどんどん減少する。国の調査結果でも、小学生の数値は多少違うが、同じ傾向がみられる。成長とともに、学習の目的意識が自分を中心としたものになっていくことがうかがえる。

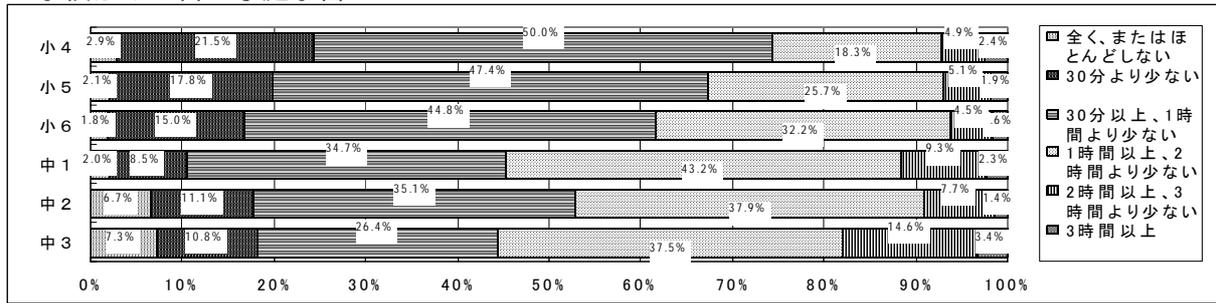
1-12 先生にほめられるよう、勉強したい



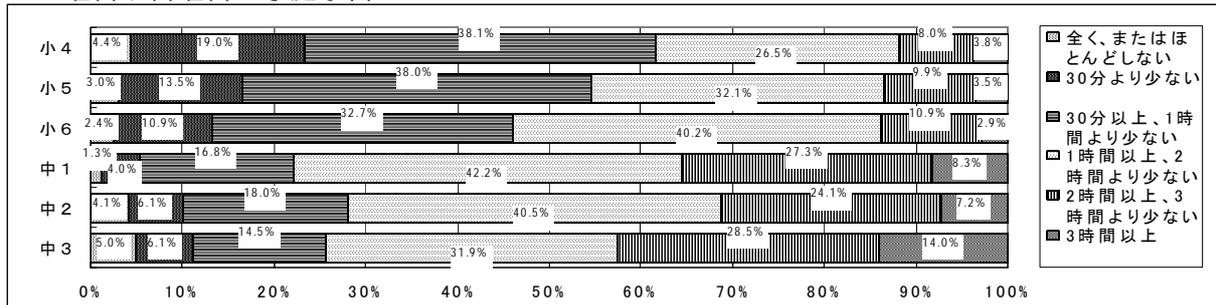
「先生にほめられるよう、勉強したい」と答えている児童生徒の割合は、1-11の項目と同様に学年が上がるにつれて減少している。1-11の項目と合わせて、児童生徒の勉強する目的意識の変容が分かる結果である。

家庭学習について

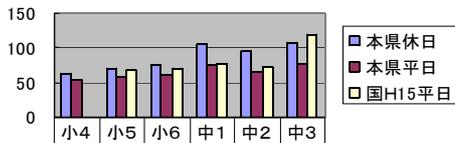
学校がある日の家庭学習



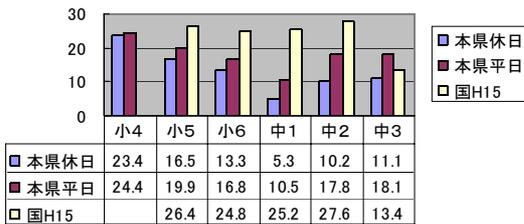
土曜日や日曜日の家庭学習



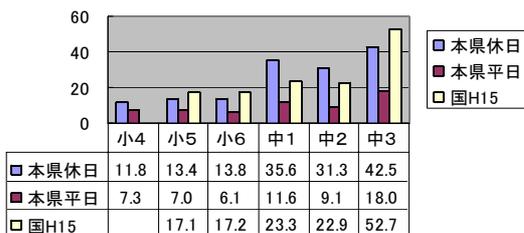
家庭学習の平均(分)



全くしない、または30分未満の割合



2時間以上の割合



〔注〕左のグラフには国のデータを付しているが調査時期が異なることに注意が必要である。

(県) 平成18年7月

(国) 平成16年2月(中3のみ1月)

家庭学習時間の平均

・休日、平日ともに、学年が上がるにつれて家庭学習時間が増える傾向にある。

(中2は例外)

・本県の家庭学習の平均時間は国の調査結果よりも短いですが、これは調査時期の影響が考えられる。本県の調査時期が7月であるのに対し、国の調査時期は1・2月で部活動がオフシーズンであり、かつ中3は受験勉強に取り組んでいる時期である。

全くしない、または30分未満の割合

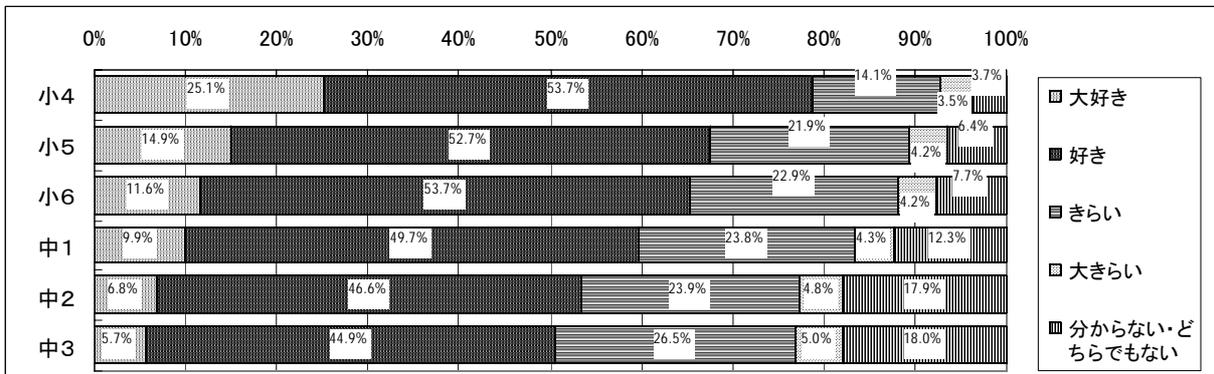
・この割合は中1が最も小さく、中学生となって学習意欲が向上している状況がうかがえる。(中3の割合が国の結果より大きいのは、調査時期の影響が考えられる。)

2時間以上の割合

・中学生になると2時間以上学習する割合が大きくなっている。休日に2時間以上学習する生徒は3割以上である。

教科の好き嫌いについて

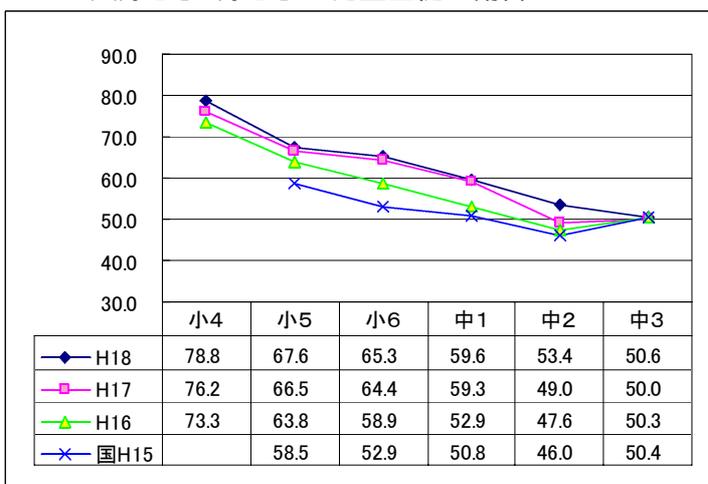
国語



好きな理由・嫌いな理由

		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	25.8%	19.0%	16.6%	18.9%	18.1%	15.4%
	わかりやすい	19.5%	15.9%	13.6%	11.5%	10.1%	9.1%
	将来のためになる	11.4%	12.1%	13.5%	10.3%	9.3%	7.8%
	生活の中で役立つ	9.8%	9.8%	11.8%	9.2%	8.7%	8.4%
	人とかかわりの中で役立つ				6.3%	5.6%	6.6%
	考えるのが好き	8.2%	8.1%	7.0%	4.0%	3.4%	4.3%
	得意	5.7%	5.2%	5.7%	5.0%	6.6%	6.5%
嫌いな理由	楽しくない	5.3%	7.3%	9.4%	9.6%	12.6%	11.6%
	わかりにくい	5.0%	6.6%	5.4%	6.2%	7.3%	9.6%
	将来のためにならない	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%
	生活の中で役立つ	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
	人とかかわりの中で役立つ				0.0%	0.1%	0.1%
	考えるのがめんどろ	1.8%	2.6%	3.4%	3.1%	3.3%	4.0%
	不得意	5.0%	9.6%	9.2%	10.4%	8.4%	9.3%
その他	2.3%	3.7%	4.0%	5.2%	6.0%	6.6%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合

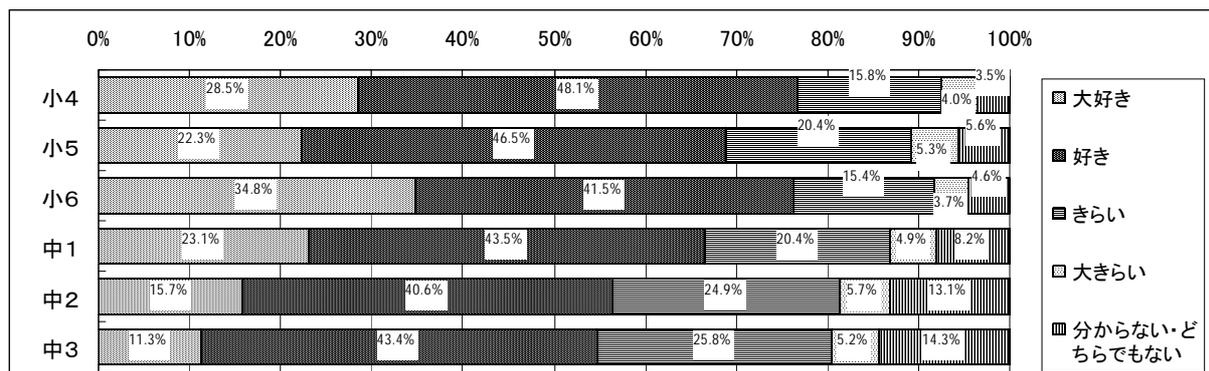


・「大好き」「好き」と答えた児童生徒の割合を昨年度と比較すると、各学年で、同程度または若干増加している。しかし、「大好き」と答えた児童生徒の割合は他教科に比べると低くなっている。

・好きな理由は、学年が上がるにつれて減少するが、「楽しい」「わかりやすい」が多い。「生活の中で役立つ」と答えた児童生徒は、どの学年でも10%程度である。

・国の調査結果と比較すると、「大好き」「好き」と答えた児童生徒の割合は、小学生では国を上回っているが、中3でほぼ等しくなる。

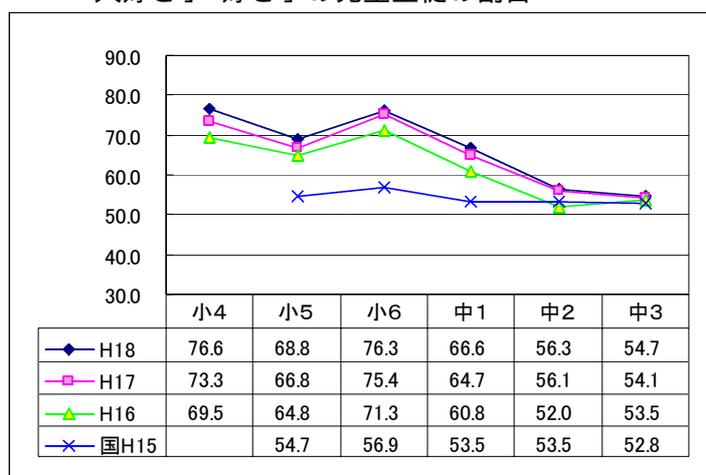
社 会



好きな理由・嫌いな理由

		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	21.2%	18.5%	35.4%	31.3%	28.7%	23.7%
	わかりやすい	13.5%	12.0%	10.5%	13.0%	11.4%	11.3%
	将来のためになる	18.9%	20.7%	13.9%	8.9%	5.6%	8.1%
	生活の中で役立つ	16.7%	11.6%	4.8%	3.8%	2.8%	5.3%
	人とかかわりの中で役立つ				1.4%	0.9%	1.4%
	考えるのが好き	4.6%	5.2%	7.8%	5.4%	4.3%	3.4%
	得意	3.7%	3.4%	6.0%	6.9%	8.4%	7.4%
嫌いな理由	楽しくない	5.4%	6.8%	4.1%	3.9%	6.1%	6.6%
	わかりにくい	6.9%	8.4%	7.2%	8.9%	10.0%	10.5%
	将来のためにならない	0.2%	0.2%	0.4%	0.8%	1.9%	1.3%
	生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.4%	0.7%	1.6%	1.1%
	人とかかわりの中で役立たない				0.1%	0.3%	0.3%
	考えるのがめんどう	1.8%	2.3%	1.5%	1.5%	1.3%	1.7%
	不得意	4.9%	7.9%	5.5%	10.1%	11.5%	12.1%
その他	2.1%	2.8%	2.5%	3.4%	5.3%	5.8%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合

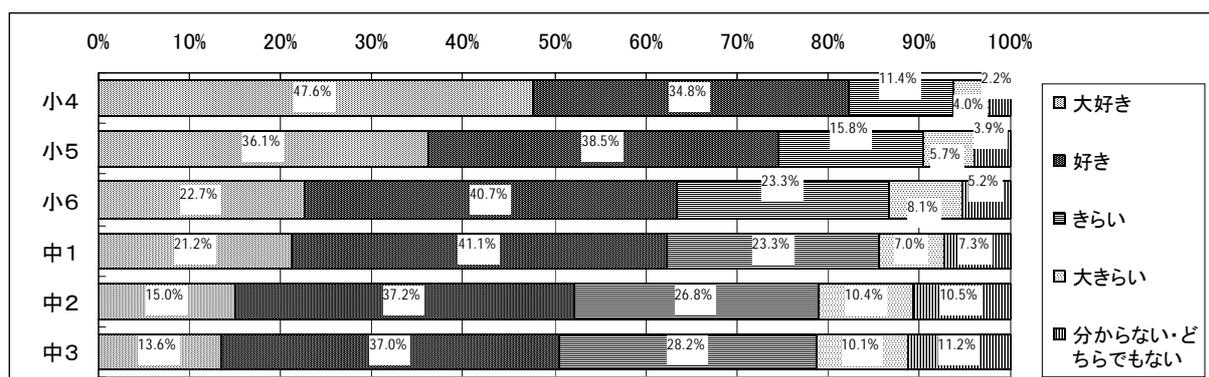


・「大好き」「好き」と答えた児童生徒の割合を昨年度と比較すると、各学年で、同程度または若干増加している。「大好き」と答えた児童生徒の割合は小6で最も大きくなっている（34.8%）が、これは小6の学習内容（歴史）と関連していると考えられる。

・好きな理由で「楽しい」と答えた児童生徒の割合が、小4・5より小6～中3で大きくなっている。嫌いな理由では、「不得意」と答えた児童生徒の割合が、学年が上がるにつれて増加している。

・国の調査結果では「大好き」「好き」の割合が小5～中3でほぼ一定であるのに対し、本県の割合は徐々に減少している。

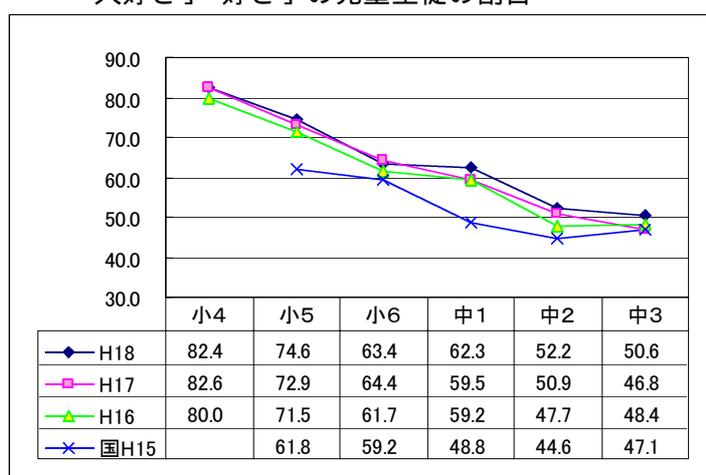
算数・数学



好きな理由・嫌いな理由

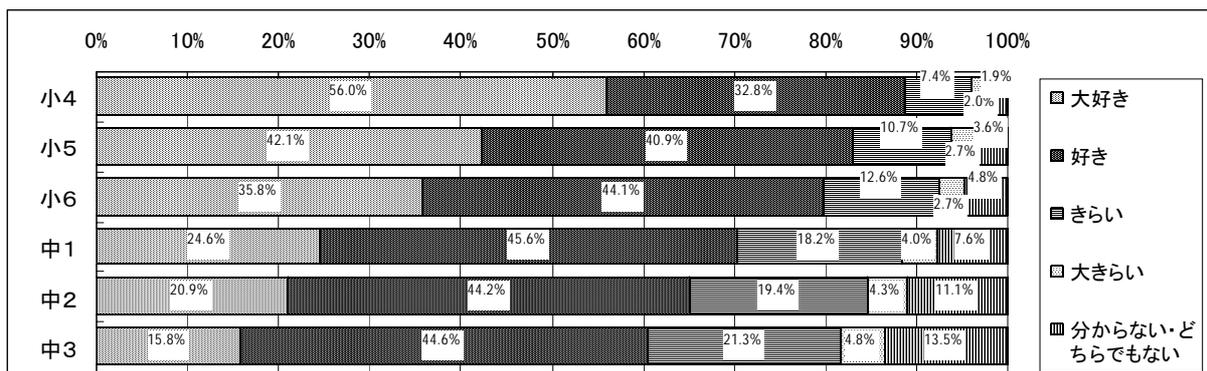
		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	21.5%	17.4%	10.7%	11.1%	10.8%	13.1%
	わかりやすい	15.4%	14.2%	10.3%	11.4%	9.7%	8.7%
	将来のためになる	9.6%	9.9%	11.0%	10.4%	6.9%	5.6%
	生活の中で役立つ	9.8%	9.1%	11.6%	9.7%	6.7%	4.3%
	人とかかわりの中で役立つ				0.2%	0.2%	0.2%
	考えるのが好き	9.8%	9.1%	11.6%	12.5%	13.3%	15.1%
	得意	13.6%	13.5%	12.6%	10.6%	9.1%	8.0%
嫌いな理由	楽しくない	13.9%	12.8%	9.5%	4.8%	5.3%	4.5%
	わかりにくい	3.3%	4.9%	6.1%	8.8%	10.5%	10.6%
	将来のためにならない	4.6%	5.9%	8.7%	0.3%	0.8%	0.7%
	生活の中で役立つ	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.7%	1.3%
	人とかかわりの中で役立つ				0.2%	0.4%	0.5%
	考えるのがめんどう	2.6%	3.4%	6.7%	5.4%	7.1%	6.6%
	不得意	4.2%	7.0%	10.1%	11.1%	14.4%	16.4%
その他	1.5%	2.0%	2.4%	3.2%	4.1%	4.3%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合



- ・昨年度との比較から、中1～中3で「大好き」「好き」の割合が増加し、「大嫌い」「嫌い」の割合が若干減少している。
- ・好きな理由は「楽しい」「わかりやすい」「得意」が多い。嫌いな理由で「わかりにくい」と答えた児童生徒が、どの学年でも昨年度よりわずかながら減少している。
- ・「大好き」「好き」の割合を国の調査結果と比較すると、すべての学年で国の数値を上回っている。特に小5、中1では10%以上の差がある。

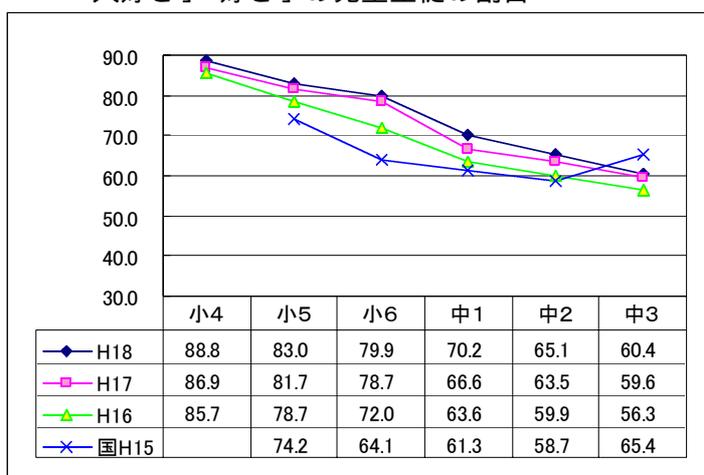
理科



好きな理由・嫌いな理由

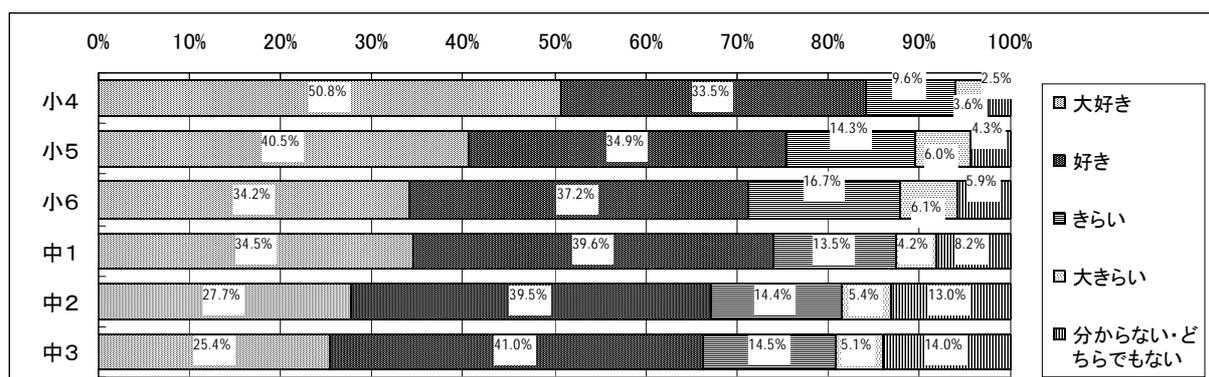
		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	45.7%	42.7%	42.9%	36.6%	36.5%	33.0%
	わかりやすい	13.5%	13.8%	12.4%	12.7%	10.9%	10.9%
	将来のためになる	5.1%	5.3%	4.9%	3.4%	3.0%	2.5%
	生活の中で役立つ	6.7%	6.2%	5.4%	4.8%	4.4%	3.5%
	人とかかわりの中で役立つ				0.4%	0.4%	0.3%
	考えるのが好き	10.0%	9.8%	10.0%	8.9%	7.2%	7.2%
嫌いな理由	得意	8.6%	6.8%	6.6%	6.8%	8.1%	8.9%
	楽しくない	2.1%	3.0%	3.7%	4.0%	4.8%	5.5%
	わかりにくい	3.1%	4.1%	4.2%	7.0%	7.5%	8.3%
	将来のためにならない	0.3%	0.4%	0.8%	1.3%	1.8%	1.8%
	生活の中で役立つ	0.1%	0.2%	0.6%	0.9%	1.2%	1.4%
	人とかかわりの中で役立つ				0.4%	0.6%	0.7%
考えるのがめんどう	0.8%	1.2%	1.3%	1.8%	1.9%	2.2%	
不得意	2.5%	4.2%	4.6%	7.5%	7.4%	8.0%	
その他	1.5%	2.3%	2.5%	3.5%	4.5%	5.8%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合



- ・経年比較から、「大好き」「好き」と答えた児童生徒の割合が増加している。小4の90%近い数値を最高に、中3でも60%である。
- ・好きな理由はすべての学年で「楽しい」が圧倒的に多い。嫌いな理由は「わかりにくい」「不得意」が多く、学年ごとに徐々に増加している。
- ・国の調査結果と比較すると、「大好き」「好き」の割合は、中2までは国の数値を上回っているが、中3だけが毎年下回っており、課題である。

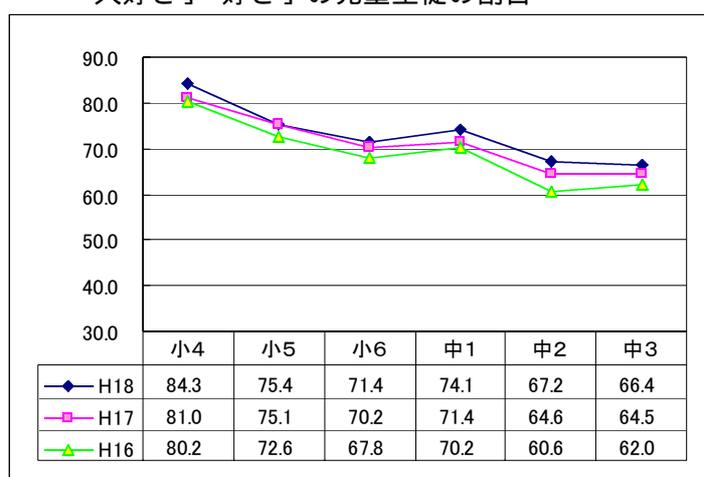
音楽



好きな理由・嫌いな理由

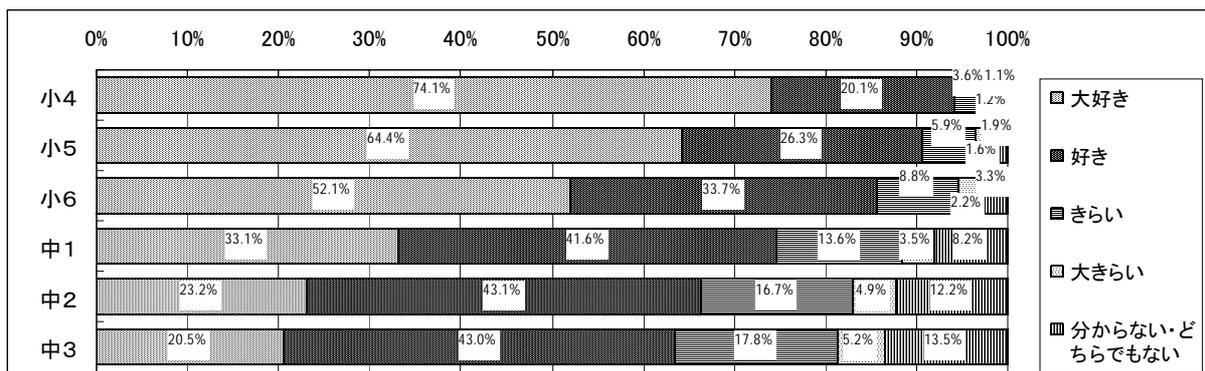
		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	54.3%	52.7%	51.8%	60.4%	59.9%	62.0%
	わかりやすい	10.9%	7.4%	5.7%	4.5%	2.7%	2.1%
	将来のためになる	3.1%	2.4%	1.8%	1.3%	1.3%	1.2%
	生活の中で役立つ	1.8%	1.3%	1.2%	1.1%	0.9%	1.1%
	人とかかわりの中で役立つ				1.2%	1.1%	1.1%
	考えるのが好き	2.5%	1.5%	0.8%	0.4%	0.3%	0.5%
嫌いな理由	得意	12.7%	11.5%	12.0%	8.9%	7.3%	5.7%
	楽しくない	3.4%	4.7%	5.2%	4.4%	6.4%	7.5%
	わかりにくい	2.8%	3.3%	2.8%	1.3%	1.2%	1.0%
	将来のためにならない	0.6%	1.5%	2.6%	3.2%	3.7%	4.0%
	生活の中で役立つ	0.4%	1.1%	1.4%	1.3%	2.3%	1.8%
	人とかかわりの中で役立つ				0.2%	0.5%	0.5%
	考えるのがめんどう	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%
	不得意	5.1%	9.0%	10.5%	7.0%	6.4%	4.8%
	その他	2.0%	3.2%	3.8%	4.6%	5.9%	6.4%

「大好き」「好き」の児童生徒の割合



- ・ 経年比較から、「大好き」「好き」と答える児童生徒の割合が、わずかではあるが毎年増加している。
- ・ 好きな理由は「楽しい」が圧倒的に多く、小学生より中学生でその割合は大きい。また、「生活の中で役立つ」と答えた児童生徒の割合が最も少ない教科である。
- ・ 嫌いな理由は「不得意」がどの学年でも多くなっている。

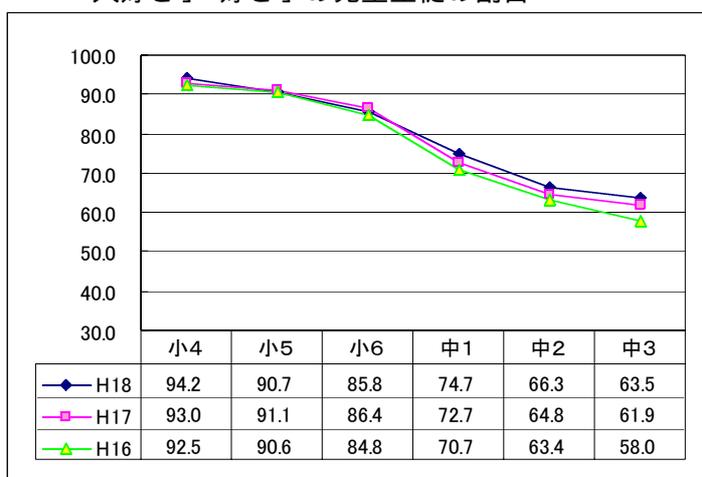
図画工作・美術



好きな理由・嫌いな理由

		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	63.7%	65.6%	64.3%	58.8%	56.6%	56.1%
	わかりやすい	4.5%	2.8%	2.5%	3.3%	2.5%	2.1%
	将来のためになる	3.0%	2.3%	2.1%	2.0%	1.5%	1.1%
	生活の中で役立つ	2.8%	2.9%	3.1%	2.2%	1.4%	1.6%
	人とかかわりの中で役立つ				0.6%	0.4%	0.4%
嫌いな理由	考えのが好き	6.5%	5.7%	4.8%	3.4%	3.1%	2.9%
	得意	13.7%	12.0%	10.4%	8.2%	6.9%	5.8%
	楽しくない	1.2%	1.5%	2.3%	3.8%	5.4%	6.8%
	わかりにくい	0.4%	0.4%	0.4%	0.7%	0.7%	0.6%
	将来のためにならない	0.3%	0.4%	0.9%	2.4%	3.9%	3.4%
その他	生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.5%	1.2%	1.8%	2.3%
	人とかかわりの中で役立たない				0.3%	0.4%	0.5%
	考えのがめんどう	0.2%	0.7%	0.8%	0.6%	1.0%	1.4%
	不得意	2.1%	3.9%	5.7%	8.2%	8.8%	9.6%
	その他	1.2%	1.5%	2.2%	4.3%	5.7%	5.3%

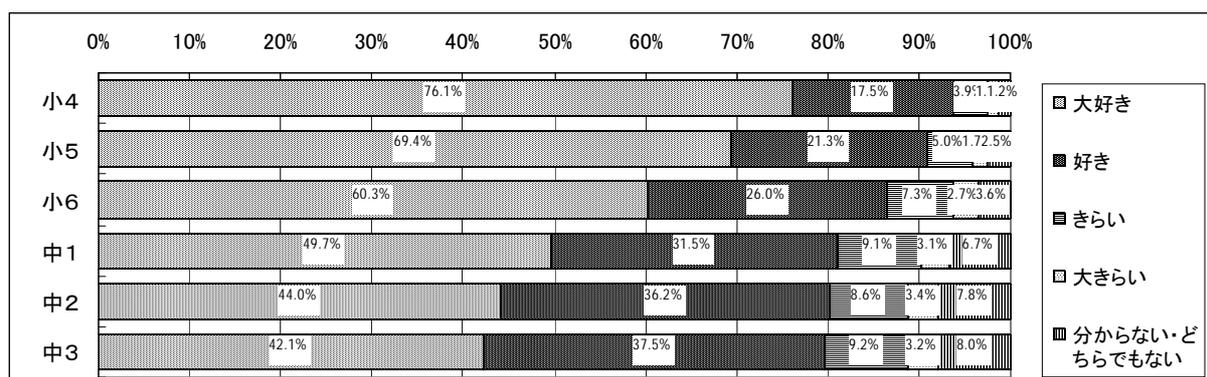
「大好き」「好き」の児童生徒の割合



- ・経年比較から、「大好き」「好き」と答える児童生徒の割合は、中学生で若干増加傾向にある。
- ・「大好き」の割合だけをみると、小4の74.1%から中3の20.5%まで、50%以上減少している。
- ・好きな理由は「楽しい」が圧倒的に多い。ただ、「得意」は、小4の13.7%から中3の5.8%へと減少している。

- ・嫌いな理由は「楽しくない」「不得意」が学年が上がるごとに増加し、「不得意」は小4の2.1%から中3の9.6%へと増加している。

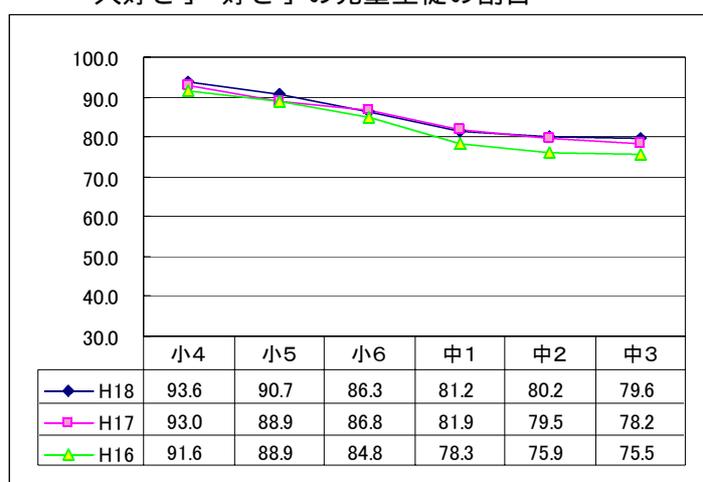
体育、保健体育



好きな理由・嫌いな理由

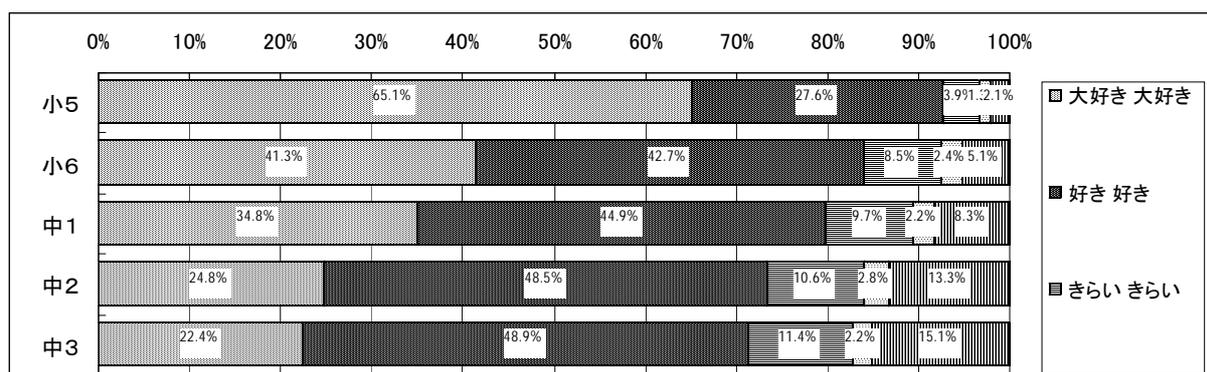
		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	60.0%	60.1%	59.3%	57.7%	63.8%	66.4%
	わかりやすい	2.9%	1.7%	1.6%	1.5%	1.1%	1.0%
	将来のためになる	6.0%	5.9%	4.6%	4.3%	3.0%	2.1%
	生活の中で役立つ	3.8%	3.1%	2.3%	3.6%	3.1%	2.6%
	人とかかわりの中で役立つ				1.1%	0.7%	0.6%
	考えるのが好き	0.8%	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
嫌いな理由	得意	20.3%	20.3%	19.6%	16.4%	12.6%	11.5%
	楽しくない	1.1%	1.1%	1.7%	2.5%	2.8%	3.1%
	わかりにくい	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%
	将来のためにならない	0.1%	0.2%	0.4%	0.7%	0.6%	0.5%
	生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
	人とかかわりの中で役立たない				0.2%	0.2%	0.2%
	考えるのがめんどう	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
	不得意	3.1%	5.0%	7.2%	7.7%	7.4%	7.8%
	その他	1.6%	1.9%	2.7%	3.7%	3.7%	3.6%

「大好き」「好き」の児童生徒の割合



- ・「大好き」「好き」の割合が、小4の93.6%を最高に、最も低い中3でも79.6%と、全教科の中でその割合が最も大きい教科である。
- ・好きな理由は「楽しい」が圧倒的に多い。次に多いのが「得意」で、これは学年が上がるにつれて減少するものの、中3でも10%を超えている。
- ・嫌いな理由の「楽しくない」は、中3でも3%程度で、この割合は全教科で最も小さい。

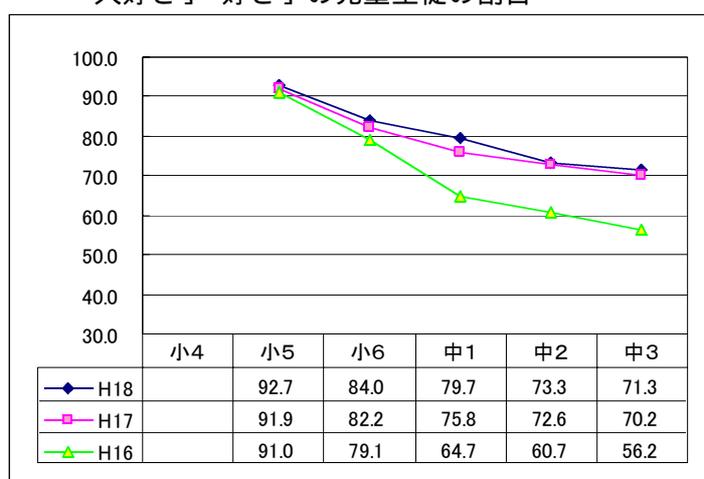
家庭、技術・家庭



好きな理由・嫌いな理由

		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい		35.1%	24.4%	34.1%	35.2%	35.9%
	わかりやすい		4.0%	3.4%	4.3%	2.7%	2.7%
	将来のためになる		17.9%	20.2%	15.2%	14.4%	14.6%
	生活の中で役立つ		28.9%	32.9%	23.7%	21.4%	20.9%
	人とかかわりの中で役立つ				0.9%	0.8%	0.9%
	考えるのが好き		0.9%	0.8%	1.6%	0.8%	0.9%
嫌いな理由	得意		7.2%	5.8%	5.2%	5.2%	4.8%
	楽しくない		1.0%	3.3%	3.8%	5.6%	5.7%
	わかりにくい		1.0%	1.5%	1.9%	2.1%	1.8%
	将来のためにならない		0.2%	0.2%	0.5%	0.7%	0.7%
	生活の中で役立つ		0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.3%
	人とかかわりの中で役立つ				0.1%	0.3%	0.4%
考えるのがめんどう		0.2%	0.5%	0.7%	1.0%	1.3%	
不得意		2.5%	4.9%	4.4%	4.6%	3.8%	
その他		1.0%	2.1%	3.3%	4.8%	5.3%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合

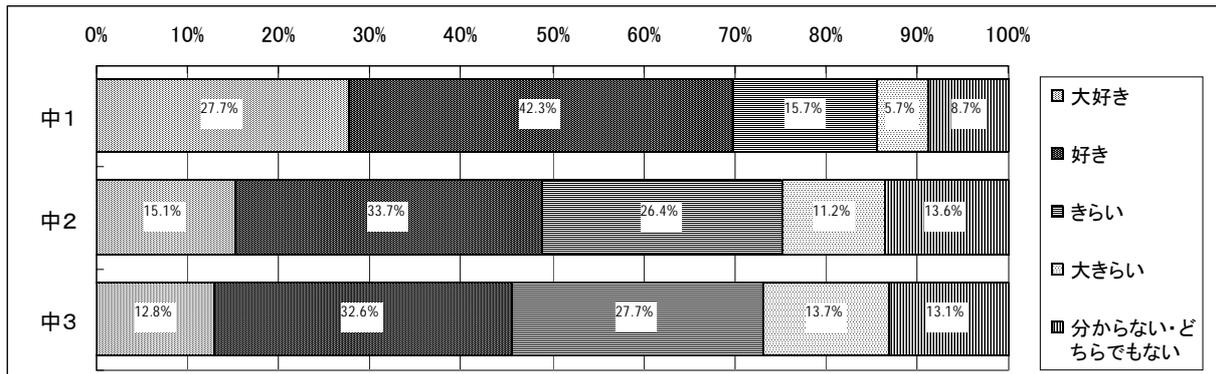


・昨年度との比較では、「大好き」「好き」と答えた児童生徒の割合は、同程度あるいは若干の増加であるが、H16年度以降は、中学生の割合が大きく好転している。

・好きな理由は「楽しい」が最も多い。次に「将来のためになる」、「生活の中で役立つ」が続いており、児童生徒が実生活と直接関連する教科だと考えていることがうかがえる。

・嫌いな理由の「不得意」の割合が、最大でも小5の4.9%であり、全教科でこの割合が最も小さい。

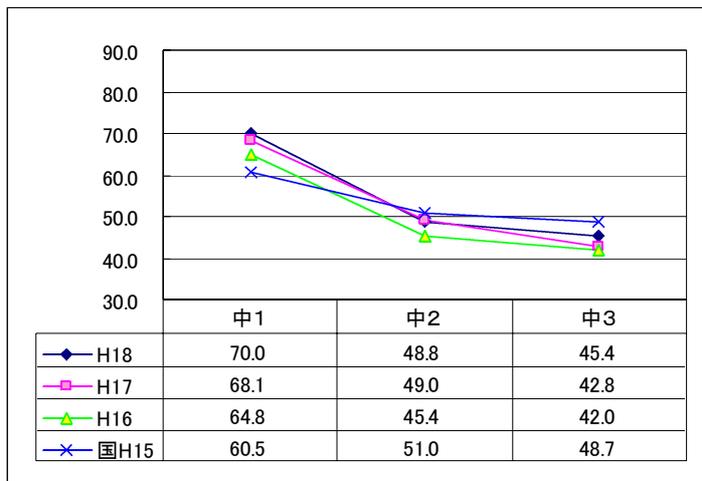
英 語



好きな理由・嫌いな理由

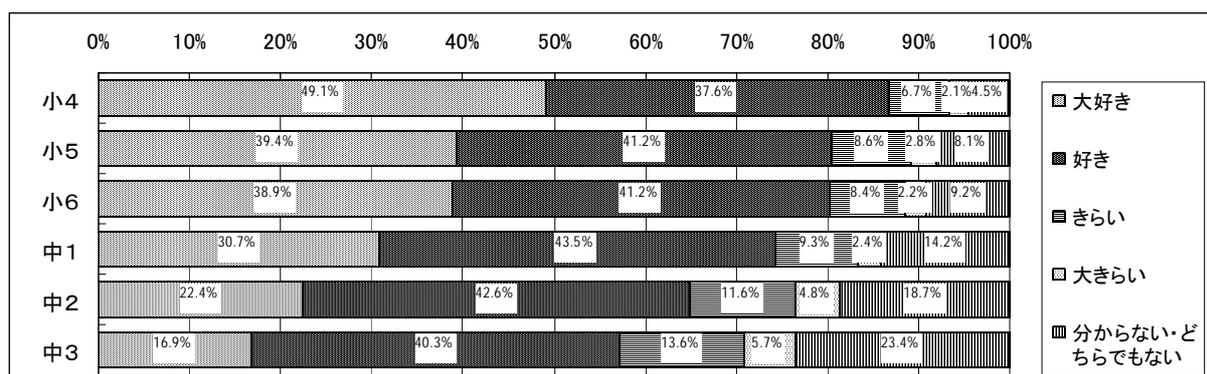
		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい				20.1%	12.9%	12.3%
	わかりやすい				5.9%	4.9%	4.3%
	将来のためになる				27.1%	20.6%	18.5%
	生活の中で役立つ				4.9%	3.5%	2.8%
	人とかかわりの中で役立つ				9.3%	6.4%	5.4%
	考えるのが好き				1.2%	1.2%	1.4%
嫌いな理由	得意				6.0%	5.9%	5.5%
	楽しくない				2.8%	5.6%	6.2%
	わかりにくい				7.8%	13.8%	13.9%
	将来のためにならない				0.6%	1.5%	1.7%
	生活の中で役立たない				0.7%	1.8%	1.6%
	人とかかわりの中で役立たない				0.2%	0.3%	0.3%
考えるのがめんどろ				0.9%	2.2%	2.2%	
不得意				8.9%	14.8%	18.9%	
その他				3.5%	4.8%	5.1%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合



- ・毎年、「大好き」「好き」と答える児童生徒の割合が、中1から中3にかけて最も減少する教科である。今年度も中1の70.0%から中3の45.4%へと24.6%減少した。特に中1から中2への減少が大きい。
- ・好きな理由では、「将来のためになる」、「楽しい」が多い。「わかりやすい」の割合は5%程度と五教科(国・社・数・理・英)の中では最も割合が小さい。

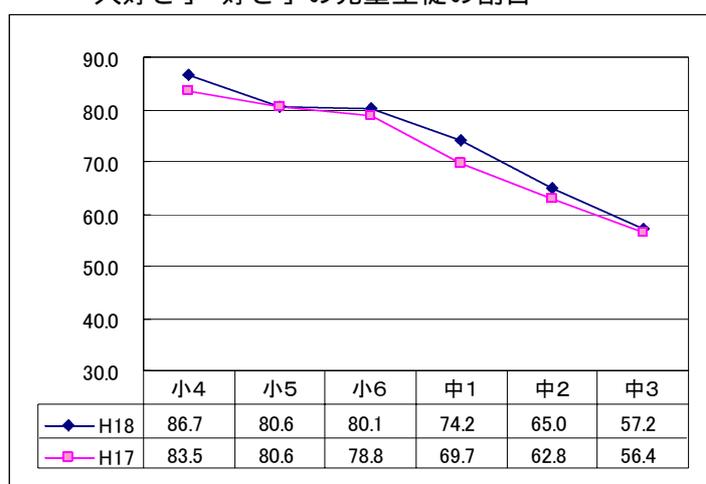
総合的な学習の時間



好きな理由・嫌いな理由

		小4	小5	小6	中1	中2	中3
好きな理由	楽しい	38.7%	38.4%	43.5%	35.8%	34.5%	32.2%
	わかりやすい	12.0%	9.7%	6.7%	3.0%	1.4%	1.3%
	将来のためになる	12.4%	11.8%	13.4%	11.7%	15.3%	15.2%
	生活の中で役立つ	10.5%	9.6%	8.0%	7.4%	5.0%	4.9%
	人とかかわりの中で役立つ				17.5%	14.7%	11.9%
	考えるのが好き	10.0%	10.8%	9.2%	5.2%	3.0%	3.0%
嫌いな理由	得意	5.1%	3.9%	3.3%	1.3%	0.9%	0.7%
	楽しくない	3.0%	3.7%	3.9%	4.3%	7.0%	8.7%
	わかりにくい	1.8%	2.1%	1.3%	0.9%	0.9%	0.7%
	将来のためにならない	0.3%	0.3%	0.4%	0.6%	1.0%	1.6%
	生活の中で役立たない	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	1.0%	1.2%
	人とかかわりの中で役立たない				0.2%	0.5%	0.4%
考えるのがめんどう	1.2%	1.9%	2.0%	3.1%	4.7%	6.1%	
不得意	1.9%	2.8%	2.0%	2.3%	1.9%	1.4%	
その他	2.9%	4.7%	5.9%	6.2%	8.1%	10.6%	

「大好き」「好き」の児童生徒の割合



・「大好き」「好き」と答えた児童生徒の割合は、昨年度と比較すると、同程度か若干増加している。学年が上がるにつれて「大好き」「好き」の割合は減少するが、減少分はほとんど「大好き」であり、数値的にはその分が「分からない・どちらでもない」に移っていて、「きらい」「大きらい」は大きく変化していない。

・好きな理由は「楽しい」が最も多く、次いで「将来のためになる」「人とかかわりの中で役立つ」となっている。

平成 1 8 年度学習状況調査

各教科の考察

小学校 第4学年
国語

小学校4年 国語 評価規準と評価の観点

領域	指導事項	評価規準	通し番号	観点		
				書くこと	読むこと	言語事項
書くこと	ア	・相手や目的を意識して、集会でスピーチする原稿を適切に書いている。	10)			
	エ	・書こうとすることの中心を明確にして分かりやすく書いている。				
読むこと	ウ	・叙述に注意して文章を読み、想像豊かに内容や情景をとらえている。	6)			
			9)			
	オ	・物語の展開をとらえるために、細部に注意して細かく検討しながら読んでいる。	7)			
		・細部に注意して文章を読み、物語の展開上、大切なところをとらえている。	8)			
言語事項	(1)イ(ア)	・第3学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			
			2)			
	(1)オ(ア)	・第3学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。	3)			
			4)			
		・修飾語と被修飾語の関係について正しく理解している。	5)			

小学校4年 国語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 73.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	漢字の読み(物-ぶつ)	87.0%	85.0%	
2	漢字の読み(相談-そうだん)	96.8%	85.0%	
3	漢字の書き(短い)	80.9%	80.0%	
4	漢字の書き(歯医者)	77.7%	70.0%	
5	修飾と被修飾の関係(選択肢)	79.5%	70.0%	
6	内容理解(情景)	69.2%	70.0%	
7	内容理解(表現の意味)(選択肢)	43.3%	60.0%	
8	内容理解(細部の読み)(抜き出し)	40.7%	65.0%	
9	内容理解(心情)(選択肢)	75.3%	70.0%	
10	スピーチのための原稿を書くこと	83.6%	80.0%	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

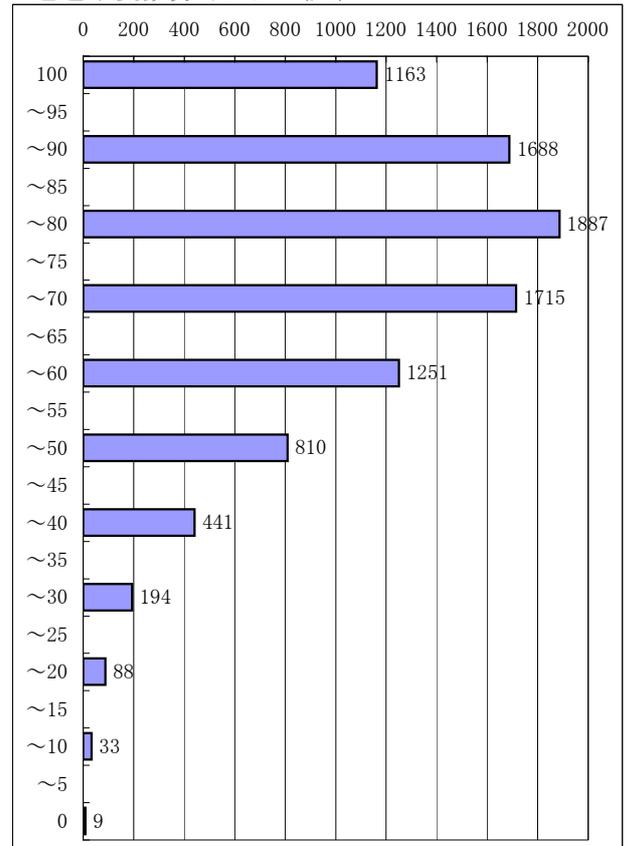
小学校4年 国語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)	
一	1 (1)	87.0%	12.8%	0.1%	0.0%	
	2 (2)	96.8%	2.5%	0.7%	0.0%	
	3 (3)		80.9%	17.5%	1.6%	0.0%
		(4)	77.7%	20.9%	1.4%	0.0%
	4 (5)	79.5%	20.3%	0.1%	0.0%	
二	1 (6)	69.2%	30.5%	0.2%	0.0%	
	2 (7)	43.3%	56.5%	0.2%	0.0%	
	3 (8)	40.7%	54.6%	4.7%	0.0%	
	4 (9)	75.3%	24.4%	0.3%	0.0%	
三	(10)	83.6%	15.7%	0.7%	0.0%	

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	一-1	一-2	一-3		一-4	二-1	二-2	二-3	二-4	三	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	
100%	9	57	3	3	5	1	0	0	0	20	0
95～100%	18	72	16	5	17	1	0	0	3	18	0
90～95%	36	33	15	20	24	3	2	0	16	31	1
85～90%	39	2	27	20	19	8	1	0	14	27	3
80～85%	36	1	37	33	28	20	1	0	22	16	34
75～80%	14	0	24	25	23	23	2	0	37	17	30
70～75%	9	0	22	16	16	22	4	4	25	8	42
65～70%	1	0	8	18	9	30	6	8	25	6	40
60～65%	3	0	4	9	8	26	10	6	16	6	12
55～60%	0	0	3	8	6	16	7	11	4	7	1
50～55%	0	0	4	3	6	8	11	17	3	5	1
45～50%	0	0	2	2	2	5	20	10	0	1	1
40～45%	0	0	0	2	0	2	28	18	0	1	0
35～40%	0	0	0	0	1	0	29	25	0	1	0
30～35%	0	0	0	1	0	0	18	27	0	0	0
25～30%	0	0	0	0	1	0	10	16	0	1	0
20～25%	0	0	0	0	0	0	9	12	0	0	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校4年 国語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観点別		
		書くこと	読むこと	言語事項
問題数	10	1	4	5
+10%以上	1	0	0	1
±10%内	7	1	2	4
-10%以下	2	0	2	0

(2) 考察

全体について

- ア 小学校4年生の学習の実現状況はおおむね良好である。
 - ・設定通過率73.5%に対して通過率が73.4%である。
 - ・特に「言語事項」の通過率は、設定通過率より6.4ポイント高くなっている。
 - ・「読むこと」の通過率が、設定通過率より9.2ポイント低い。
- イ 学習の意欲等に関して、小学校4年生の国語への関心は他教科と比べて低い。
 - ・「大好き」「好き」の割合は78.8%で、8教科中7番目であった。

成果

- ア 「書くこと」では、目的意識を明確にもって理由を添えて書くことが良好である。
 - ・目的を明確にした学習活動を日常的に取り入れた指導の成果がうかがえる。
- イ 「読むこと」では、叙述に即して想像しながら読み、情景をとらえることについてはおおむね良好である。
 - ・9)は選択肢の問題であったが、通過率は75.3%と良好であった。
- ウ 「言語事項」では、漢字の読み・書き、修飾と被修飾の関係の理解が良好である。
 - ・各設問とも設定通過率を上回っている。
 - ・3字の書き取りの4)は、通過率77.7%とおおむね良好であった。

課題

- ア 「読むこと」では、細部に注意して読み、物語の展開上大切なところをとらえる力が十分ではない。
 - ・語句の意味を物語の展開から考える7)は、設定通過率60%に対して通過率は43.3%であった。また、主題にかかわる内容をまとめた文章の空欄を本文中の中心語句で補充する8)は、設定通過率65.0%に対して通過率は40.7%であった。

(3) 今後の指導

- ア 「書くこと」では、多様な機会をとらえ、書くことに慣れさせる指導の充実を図りたい。
 - ・学習指導要領の言語活動例を参考に、手紙文、説明文、記録文など、多様な形式に書き慣れるように指導したい。その際、自分の考えを明確にするために、かかわりのある具体例や考えの理由などとの段落相互の関係に注意して記述するように配慮したい。
- イ 「読むこと」では、言葉に着目しながら確かに読む力を育てたい。
 - ・どうしてそう読み取ったのかについて、文中から根拠を見つけて説明し合う学習の質を高めていきたい。また、様々な文章を読む機会を増やし、声に出して読むことを通して言葉による理解を深める学習指導や、文章に読み慣れる日常的な読書指導の充実を図りたい。
- ウ 「言語事項」では、漢字や語句を活用できる力をはぐくみたい。
 - ・実際の文章の中で使い慣れ、活用できるように、次のことに配慮して指導したい。
 - 誤りやすい漢字、使用頻度の低い漢字について繰り返し練習を行うこと。
 - 文章の中で取り上げたり、似ている形の漢字と比べたりして、漢字・語句への関心を高める指導に力を入れること。
 - 新たな語句を獲得するための手段として、辞書を活用する指導を継続すること。

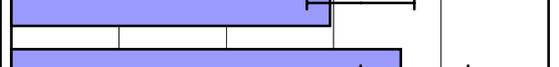
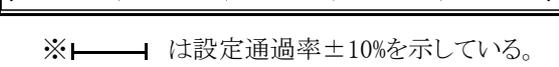
小学校 第5学年
国語

小学校5年 国語 評価規準と評価の観点

領域	指導事項	評価規準	通し番号	観 点		
				書くこと	読むこと	言語事項
書くこと	ア	・相手や目的を意識して適切に書いている。	10)			
	イ	・書く必要のある事柄を収集したり選択したりして書いている。				
読むこと	イ	・文末表現の効果を押さえながら内容をとらえている。	6)			
		・段落相互の関係を正しくとらえている。	8)			
		・中心となる語を押さえ、置き換えて説明されている部分を正しくとらえている。	9)			
	オ	・目的に応じて中心を押さえ、大切なところの細部に注意しながら読んでいる。	7)			
言語事項	(1)イ(ア)	・第4学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。	1)			
		・第4学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく読んでいる。	3)			
	(1)エ(イ)	・国語辞典を利用して調べる方法を理解している。	4)			
	(1)オ(ウ)	・文と文との意味のつながりを適切にとらえるとともに、接続語の使い方を理解している。	5)			

小学校5年 国語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 76.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
				0% 100%
1	漢字の書き(取材)	73.7%	70.0%	
2	漢字の書き(飛び)	90.2%	70.0%	
3	漢字の読み(行-こう)(選択肢)	85.1%	85.0%	
4	辞書の活用(記述)	73.5%	70.0%	
5	接続語(選択肢)	95.7%	80.0%	
6	内容理解(文末表現の意図)(記述)	59.3%	65.0%	
7	内容理解(細部の読み)(選択肢)	72.5%	75.0%	
8	内容理解(段落相互の関係)(選択肢)	84.8%	80.0%	
9	内容理解(中心語句)(抜き出し)	53.9%	65.0%	
10	紹介文を書くこと	73.3%	70.0%	

※  は設定通過率±10%を示している。

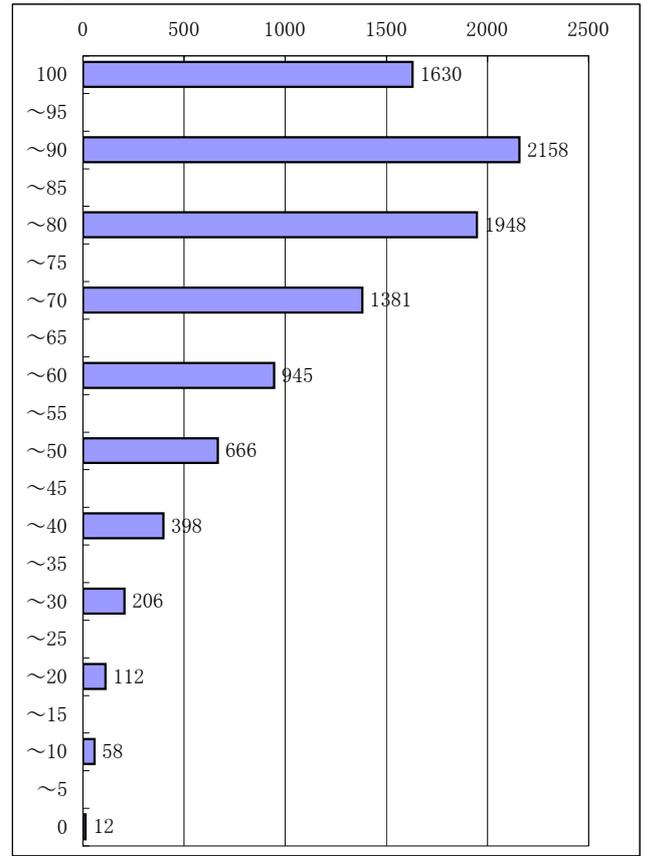
小学校5年 国語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
一	1 (1)	73.7%	21.9%	4.4%	0.0%
	2 (2)	90.2%	7.6%	2.2%	0.0%
	3 (3)	85.1%	14.8%	0.1%	0.0%
	4 (4)	73.5%	24.2%	2.3%	0.0%
	5 (5)	95.7%	4.2%	0.1%	0.0%
二	1 (6)	59.3%	35.9%	4.8%	0.0%
	2 (7)	72.5%	27.4%	0.1%	0.0%
	3 (8)	84.8%	15.0%	0.2%	0.0%
	4 (9)	53.9%	40.9%	5.2%	0.0%
三	(10)	73.3%	24.8%	1.9%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	一-1	一-2	一-3	一-4	一-5	二-1	二-2	二-3	二-4	三	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	
100%	9	21	4	11	30	0	0	6	0	8	0
95～100%	4	38	11	14	68	0	4	13	1	15	0
90～95%	13	47	31	19	58	1	10	29	2	7	5
85～90%	16	26	49	12	7	3	7	45	3	15	8
80～85%	19	19	34	18	2	3	24	34	13	18	48
75～80%	24	7	18	16	0	5	27	19	13	21	37
70～75%	17	3	14	12	0	13	31	11	23	15	39
65～70%	24	4	3	11	0	23	19	5	20	18	20
60～65%	14	0	0	11	0	35	19	1	19	15	6
55～60%	14	0	1	12	0	28	10	1	19	11	2
50～55%	6	0	0	13	0	25	9	1	5	12	0
45～50%	3	0	0	4	0	5	4	0	6	1	0
40～45%	0	0	0	6	0	17	0	0	5	4	0
35～40%	2	0	0	0	0	5	1	0	2	1	0
30～35%	0	0	0	4	0	1	0	0	2	1	0
25～30%	0	0	0	2	0	0	0	0	4	1	0
20～25%	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
計	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校5年 国語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		書くこと	読むこと	言語事項
問題数	10	1	4	5
+10%以上	2	0	0	2
±10%内	7	1	3	3
-10%以下	1	0	1	0

(2) 考察

全体について

- ア 小学校5年生の学習の実現状況はおおむね良好である。
- ・設定通過率73.0%に対して通過率が76.2%である。
 - ・設定通過率を10ポイント以上上回った問題が2問、同程度が7問、10ポイント以上下回った問題が1問である。
- イ 学習の意欲等に関して、小学校5年生の国語への関心は他教科と比べて低い。
- ・「大好き」「好き」の割合は67.6%で、8教科中で最も低かった。

成果

- ア 「書くこと」では、事柄を収集し選択して表現することがおおむね良好である。
- ・通過率は設定通過率よりも3.3ポイント上回った。行事等と関連させて、折に触れて「書くこと」の学習を実践していることがうかがえる。
- イ 「読むこと」では、段落相互の関係をとらえることがおおむね良好である。
- ・8)は接続語や文章の内容から段落の関係をとらえる問題であり、通過率は設定通過率よりも4.8ポイント上回った。改行段落の意味、段落ごとの関係のとらえ方の指導は適切に行われていると考えられる。
- ウ 「言語事項」では、漢字の読み・書き、辞書の活用、接続語の理解はおおむね良好である。
- ・5問すべてが設定通過率を超えており、適切な指導が行われていると考えられる。

課題

- ア 「読むこと」では、文末表現の意図をとらえたり、中心語句を適切に把握したりする力が十分ではない。
- ・6)は文末表現から筆者の意図をとらえる問題であったが、通過率は59.3%で設定通過率の±10%内であった。「文末表現の意図の違い」について答えとして考えたことを、正しく伝える記述の力を身に付けさせたい。
 - ・9)は中心語句を正しくとらえる問題であったが、通過率が53.9%であり、設定通過率よりも11.1ポイント下回った。本文の内容について、本文とは異なる文体の文章と照合し、適切に対応する力を養いたい。

(3) 今後の指導

- ア 「書くこと」では、記述力の向上を図りたい。
- ・情報収集の力はおおむね身に付いている。必要な情報を適切に選択する指導はもちろん、自分の考えなど、書こうとすることの中心となる部分が明確になるように叙述する能力を育成する必要がある。
- イ 「読むこと」では、情報の取り出しから、解釈や評価を経て、目的に応じて表現する学習活動を充実させたい。
- ・内容を確実にとらえるために、接続語、文末表現などの言語事項と関連付けて、繰り返し使われている語句や同じ内容の表現などを押さえ、目的に応じて表現する言語活動を児童が必然性をもって取り組めるよう工夫したい。
- ウ 「言語事項」では、漢字の構成についての理解を図る指導を行いたい。
- ・漢字の読み・書き、国語辞典の語句配列については、おおむね良好ではあるが、漢和辞典を利用して漢字のもつ意味や構成についても確実に理解させたい。

小学校 第6学年

国語

小学校 6 年国語 評価規準と評価の観点

領域	指導事項	評価規準	通し番号	観点		
				書くこと	読むこと	言語事項
書くこと	ア	・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書いている。	20)			
	イ	・全体を見通して、書く必要のある事柄を適切に選択している。				
	エ	・具体的事象を通して、学んだことや考えたことを記述している。				
読むこと	ウ	・登場人物の心情や場面についての描写など優れた叙述を味わって読んでいる。	13)			
		・情景描写などの表現に着目して読み味わっている。	14)			
		・表現の特徴に着目して読み味わっている。	15)			
		・登場人物の心情や場面についての描写など優れた叙述を味わって読んでいる。	16)			
		・登場人物や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら自分の考えをまとめている。	17)			
言語事項	(1)ア(ア)	・第5学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく読んでいる。	18)			
			19)			
			20)			
	(1)ア(ア)	・第5学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。	1)			
			2)			
			3)			
	(1)カ(ア)	・日常よく使われる敬語を使っている。	4)			
			5)			
(1)ウ(イ)	・語句の構成について理解している。	6)				
		7)				
(1)ウ(ウ)	・必要な語句について辞書を利用して調べている。	8)				
(1)イ(ア)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	9)				
(1)ア(イ)	・漢字の由来について理解している。	10)				

小学校6年 国語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 75.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	漢字の読み(日程-にってい)	96.2%	85.0%	
2	漢字の読み(慣れない-なれない)	96.6%	85.0%	
3	漢字の書き(判断)	75.1%	65.0%	
4	漢字の書き(借りた)	85.0%	75.0%	
5	敬語(うかがった)(選択肢)	93.5%	75.0%	
6	同音異字の語(<u>適</u> 当)(選択肢)	93.8%	80.0%	
7	辞書の活用(選択肢)	76.4%	70.0%	
8	漢字の送り仮名(<u>確</u> かめ)(選択肢)	87.7%	75.0%	
9	漢字の成り立ち(会意文字)(選択肢)	53.1%	65.0%	
10	漢字の音訓読み(効く)(選択肢)	89.6%	80.0%	
11	対義語(積極←→)(選択肢)	74.5%	70.0%	
12	対義語(結果←→)(選択肢)	81.2%	70.0%	
13	内容理解(心情)(選択肢)	63.3%	75.0%	
14	内容理解(表現描写)(選択肢)	60.4%	70.0%	
15	内容理解(表現描写)(抜き出し)	66.4%	65.0%	
16	内容理解(表現の意図)(選択肢)	51.5%	65.0%	
17	内容理解(心情)(選択肢)	56.3%	70.0%	
18	内容理解(心情)(選択肢)	71.2%	70.0%	
19	内容理解(表現の特徴)(記述)	58.6%	60.0%	
20	報告文を書くこと	81.2%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

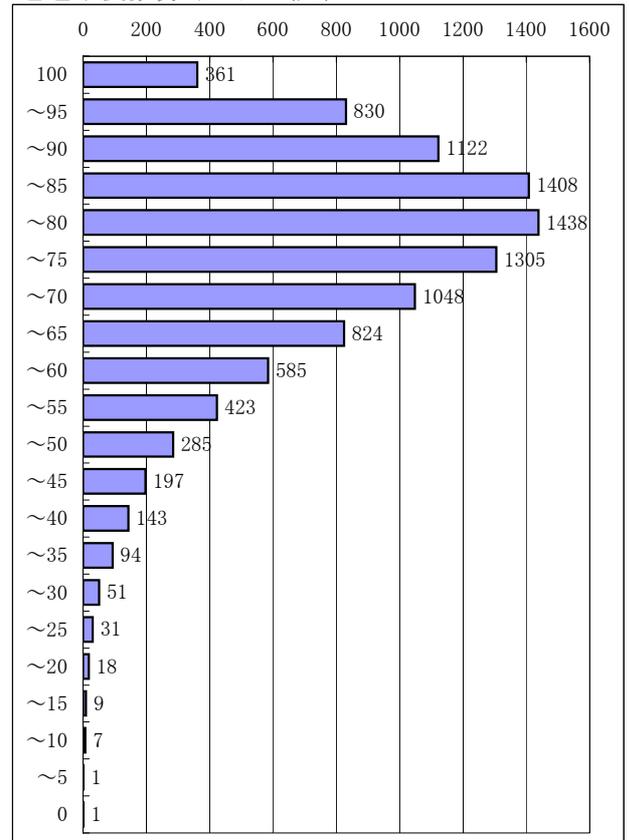
小学校6年 国語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)	
一	1	(1)	96.2%	2.9%	0.9%	0.0%
		(2)	96.6%	2.6%	0.8%	0.0%
	2	(3)	75.1%	21.5%	3.4%	0.0%
		(4)	85.0%	13.8%	1.2%	0.0%
	3	(5)	93.5%	6.4%	0.1%	0.0%
	4	(6)	93.8%	6.1%	0.0%	0.0%
	5	(7)	76.4%	23.5%	0.1%	0.0%
	6	(8)	87.7%	12.3%	0.0%	0.0%
	7	(9)	53.1%	46.7%	0.2%	0.0%
	8	(10)	89.6%	10.2%	0.1%	0.0%
9	(11)	74.5%	24.6%	1.0%	0.0%	
	(12)	81.2%	18.1%	0.7%	0.0%	
二	1	(13)	63.3%	36.6%	0.1%	0.0%
	2	(14)	60.4%	39.4%	0.2%	0.0%
	3	(15)	66.4%	28.9%	4.7%	0.0%
	4	(16)	51.5%	48.2%	0.2%	0.0%
	5	(17)	56.3%	43.6%	0.2%	0.0%
		(18)	71.2%	28.6%	0.3%	0.0%
6	(19)	58.6%	36.6%	4.8%	0.0%	
三	(20)	81.2%	16.9%	1.9%	0.0%	

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	一-1		一-2		一-3		一-4		一-5		一-6		一-7		一-8		一-9		二-1	二-2	二-3	二-4	二-5	二-6	三	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)						
100%	50	56	0	4	17	28	3	8	0	7	0	2	1	0	1	0	0	0	2	10	0					
95~100%	78	75	5	22	52	54	4	34	0	31	4	11	3	0	1	0	0	0	0	17	0					
90~95%	34	37	14	45	83	63	9	39	2	53	10	22	6	4	3	3	0	0	4	28	0					
85~90%	9	7	22	36	19	21	14	42	4	51	15	33	6	6	5	1	1	13	10	26	7					
80~85%	3	0	27	25	4	7	30	22	1	17	27	38	10	7	16	5	4	12	13	27	29					
75~80%	0	0	27	17	0	1	39	14	4	9	34	22	12	8	19	1	6	41	13	13	59					
70~75%	1	0	22	7	0	1	24	6	8	4	23	18	18	12	23	4	8	33	16	17	51					
65~70%	0	0	24	9	0	0	25	5	13	2	34	15	19	19	30	4	11	39	18	13	25					
60~65%	0	0	16	4	0	0	10	4	25	1	14	7	24	29	29	16	30	20	15	14	4					
55~60%	0	0	4	0	0	0	5	1	25	0	8	2	21	32	13	24	36	9	10	5	0					
50~55%	0	0	6	2	0	0	4	0	29	0	3	3	20	34	15	32	35	5	20	2	0					
45~50%	0	0	2	2	0	0	7	0	16	0	2	0	16	10	10	36	19	2	10	1	0					
40~45%	0	0	6	2	0	0	1	0	17	0	1	2	9	10	8	28	13	1	9	2	0					
35~40%	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	7	3	0	13	5	0	7	0	0					
30~35%	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	1	2	5	0	9	0	0					
25~30%	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	3	0	1	4	2	0	5	0	0					
20~25%	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0					
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0					
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0					
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0					
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					
計	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175		

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校6年 国語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		書くこと	読むこと	言語事項
問題数	20	1	7	12
+10%以上	9	1	0	8
±10%内	7	0	4	3
-10%以下	4	0	3	1

(2) 考察

全体について

- ア 小学校6年生の学習の実現状況はおおむね良好である。
- ・20問中16問が、設定通過率を上回っているか同程度である。
 - ・「読むこと」に関しては課題が残るが、「書くこと」は11.2ポイント、「言語事項」は平均すると9ポイントそれぞれ設定通過率より上回っている。
- イ 学習の意欲等に関して、小学校6年生の国語への関心は他教科と比べて低い。
- ・「大好き」「好き」の割合は65.8%で、8教科中7番目であった。

成果

- ア 「書くこと」では、具体的な事柄を通して自分の考えを書くことが良好である。
- ・相手意識、目的意識を明確にもち、題材に沿って書く必要のある事柄を適切に選んで自分の考えを書く学習活動が、適切な指導の下で定着しつつあるといえる。
- イ 「言語事項」では、漢字の読み・書き、敬語、同音異義語、対義語の理解は良好である。
- ・12問中11問が、設定通過率を上回っているか同程度であり、特に漢字の読み1)2)、敬語5)、同音異義語6)に関しては通過率90%を超えている。各領域の学習を深める言語事項の指導が適切に行われていることがうかがえる。

課題

- ア 「読むこと」では、文学的な文章の表現のよさや特徴に着目し、その効果などを感じ取って自分の言葉で説明する力が不足している。
- ・16)は、文章全体の内容を理解した上で別の表現に置き換える問題であったが、通過率は51.5%と最も低く、設定通過率を13.5ポイント下回った。
 - ・19)は、表現の特徴について目的に応じて自分の言葉で説明する力が問われたが、通過率は58.6%で、通過率度数分布は最も開きが大きかった。
- イ 学習の意欲等に関して、日常生活に結び付けようとする意識は高いものの、じっくり読み込んだりまとめたりする活動に慣れていない。
- ・「読むこと」の問題7問中2問が、選択肢でなく記述によって答える問題であったが、2問ともに未記入率が高いことから、「考えるのがめんどろ」という意識調査の結果が浮き彫りになっている。

(3) 今後の指導

- ア 「読むこと」では、思考力と自己表現力をはぐくむ指導に力を入れたい。
- ・読みの目的を明確にもち、読み取ったことを基に話し合うなど、児童が主体的に読みを深める学習活動が求められている。情報を適切に取り出し、表現の特徴に着目してその効果や意図を考えたり、自分とのかかわりで読み深めたりし、理解したことや考えたことを目的に応じて書いたり話し合ったりするなかで、確かな読みの力を育成したい。
 - ・文学的文章に限らず、様々な文章や資料を読む機会を設定し、目的に応じて表現する活動を意図的に組み込むことによって、目的的な読むことの力を養い、思考力と自己表現力をはぐくむ指導につなげたい。
- イ 「言語事項」では、語句の構成・変化等についての理解を深めたい。
- ・語句の構成や変化は、意味とのかかわりを大切にしながら理解させるとともに、各領域の学習の中で活用できるように授業を工夫したい。また、語句の由来に関して、語源を調べたり、和語・漢語等を区別したりするために、辞書を活用する力を育てたい。

中学校 第1学年
国語

中学校 1 年 国語 評価規準と評価の観点

領域	指導事項	評価規準	通し番号	観 点		
				書くこと	読むこと	言語事項
書くこと	ア	・ 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書いている。	20)			
	エ	・ 作品に対する感想や考えを目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。				
読むこと	イ	・ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえている。	17)			
		・ 中心語句に着目して文章構成を押さえ、内容をとらえている。	14)			
	エ	・ 書かれている内容について、事象と感想、意見、考えの関係を押さえている。	16)			
	オ	・ 中心語句に気を付けながら内容の中心を押さえて読み取っている。	15)			
		・ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫している。	18)			
			19)			
言語事項	(1)ア(ア)	・ 第 6 学年までに配当されている漢字について、文脈に即して正しく読んでいる。	1)			
			2)			
			5)			
		・ 第 5 学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使うとともに、第 6 学年に配当されている漢字を漸次書いている。	3)			
			4)			
			7)			
	・ 文脈に沿って表意文字としての漢字を適切に使っている。	6)				
	(1)ウ(ア)	・ 語句に関する類別（助詞を使った表現）を理解している。	8)			
			11)			
	(1)ウ(イ)	・ 二字の熟語の構成（組み立て）を理解している。	9)			
			10)			
	(1)ウ(エ)	・ ことわざのもつ意味を理解している。	12)			
13)						
		・ 四字熟語の意味を理解している。				

中学校1年 国語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 68.1%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	漢字の読み(先日ーせんじつ)	97.1%	85.0%	
2	漢字の読み(改善ーかいぜん)	95.3%	85.0%	
3	漢字の書き(地域)	84.2%	80.0%	
4	漢字の書き(呼び)	82.5%	80.0%	
5	漢字の読み(図書館の図:と)(選択肢)	86.5%	75.0%	
6	同訓異字の語(オサめた)(選択肢)	40.6%	60.0%	
7	漢字の書き(務め)(選択肢)	60.8%	65.0%	
8	助詞の働き(選択肢)	65.0%	65.0%	
9	熟語の成り立ち(成功)(選択肢)	18.6%	60.0%	
10	語句の構成(〇〇化)(選択肢)	32.6%	60.0%	
11	副詞の働き(選択肢)	95.8%	80.0%	
12	言葉の使い方(ことわざ)(選択肢)	79.1%	65.0%	
13	言葉の使い方(四字熟語)(選択肢)	44.6%	65.0%	
14	段落構成(選択肢)	50.8%	70.0%	
15	内容理解(中心語句)(記述)	70.8%	75.0%	
16	事象・考えの区別(選択肢)	65.2%	75.0%	
17	内容理解(抜き出し)	82.7%	70.0%	
18	表現の意図読み取り(記述)	58.3%	65.0%	
19	表現の意図の読み取り(選択肢)	75.3%	70.0%	
20	キャッチコピーの紹介文を書くこと	75.7%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

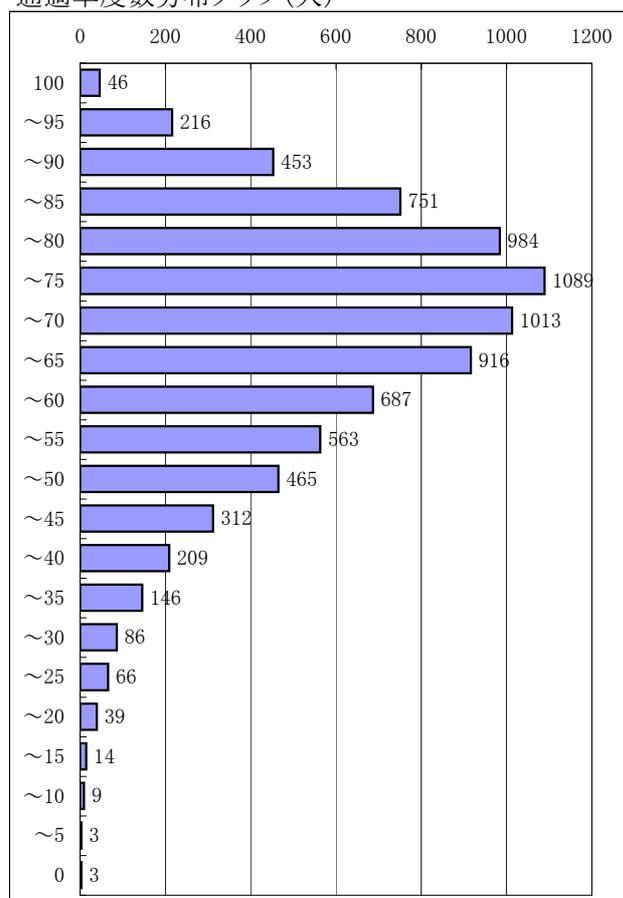
中学校1年 国語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)	
一	1	(1)	97.1%	2.4%	0.5%	0.0%
		(2)	95.3%	3.4%	1.3%	0.0%
	2	(3)	84.2%	13.6%	2.3%	0.0%
		(4)	82.5%	12.8%	4.8%	0.0%
	3	(5)	86.5%	13.3%	0.2%	0.0%
	4	(6)	40.6%	59.3%	0.2%	0.0%
	5	(7)	60.8%	39.2%	0.0%	0.0%
	6	(8)	65.0%	34.9%	0.1%	0.0%
	7	(9)	18.6%	81.2%	0.2%	0.0%
	8	(10)	32.6%	67.2%	0.2%	0.0%
9	(11)	95.8%	4.1%	0.1%	0.0%	
二	1	(12)	79.1%	20.7%	0.1%	0.0%
	2	(13)	44.6%	55.1%	0.3%	0.0%
三	1	(14)	50.8%	48.8%	0.3%	0.0%
	2	(15)	70.8%	24.9%	4.3%	0.0%
	3	(16)	65.2%	33.7%	1.1%	0.0%
	4	(17)	82.7%	15.1%	2.2%	0.0%
	5	(18)	58.3%	31.9%	9.8%	0.0%
	6	(19)	75.3%	24.0%	0.6%	0.0%
四	(20)	75.7%	19.8%	4.5%	0.0%	

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	一-1		一-2		一-3		一-4		一-5		一-6		一-7		一-8		一-9		二-1		二-2		三-1		三-2		三-3		三-4		三-5		三-6		四		平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	
100%	27	19	4	0	2	0	0	0	0	0	18	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95~100%	74	54	7	5	8	0	0	0	0	0	66	0	0	0	0	0	4	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90~95%	21	38	25	16	36	0	0	0	0	0	31	10	0	0	2	0	8	2	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85~90%	2	13	37	23	31	1	0	0	0	0	9	18	0	0	3	2	31	4	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80~85%	0	0	24	40	22	1	2	4	0	0	0	31	0	0	12	5	41	6	22	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
75~80%	0	0	7	27	13	1	5	8	0	0	0	31	1	2	19	8	27	9	34	17	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
70~75%	0	0	12	6	8	3	12	26	0	0	0	19	1	1	39	20	9	8	25	19	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
65~70%	0	0	4	4	2	5	22	26	0	0	0	10	1	3	20	29	2	16	23	10	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
60~65%	0	0	2	3	2	2	24	22	0	2	0	2	3	12	14	18	1	17	6	8	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
55~60%	0	0	1	0	0	9	28	22	0	0	0	2	7	23	9	24	1	14	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
50~55%	0	0	1	0	0	10	19	11	1	1	0	0	16	28	3	13	0	16	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~50%	0	0	0	0	0	12	5	3	1	11	0	0	30	21	1	5	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40~45%	0	0	0	0	0	13	5	1	1	8	0	0	31	20	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35~40%	0	0	0	0	0	16	1	1	2	21	0	0	15	12	0	0	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30~35%	0	0	0	0	0	23	1	0	3	30	0	0	12	1	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25~30%	0	0	0	0	0	17	0	0	14	25	0	1	7	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~25%	0	0	0	0	0	5	0	0	20	19	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	5	0	0	40	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	27	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校1年 国語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		書くこと	読むこと	言語事項
問題数	20	1	6	13
+10%以上	6	0	1	5
±10%内	9	1	4	4
-10%以下	5	0	1	4

(2) 考察

全体について

- ア 中学1年生の学習の実現状況はおおむね良好である。
 ・「読むこと」に関する実現状況は、段落構成をとらえる1問が設定通過率の-10%以下で、表現の意図や内容理解等を問う4問が±10%内にある。
- イ 「書くこと」に関する実現状況はおおむね良好であるが、「言語事項」については、良好であるとはいえない。
 ・「書くこと」は設定通過率をやや上回っているが、「言語事項」については、4問が通過率を下回っており、うち3問は過去の通過率をさらに下回っている。

成果

- ア 「読むこと」では、条件に当てはまる言葉を文章中から抜き出す力が付いている。また、表現の意図を読み取る力も付いてきている。
 ・17)は要旨をまとめるために、文章中から適切な語句を抜き出す問題であるが、設定通過率を10ポイント以上上回っている。19)は、説明の仕方を読み取る問題であるが、設定通過率を5ポイント以上上回っている。
- イ 「言語事項」における漢字の読み、書きは良好である。
 ・6問中5問が設定通過率を上回っているか同程度の通過率である。7)のように同音異字の選択問題にはやや苦手な傾向がうかがわれるが、過去の類似問題と比較すると5問が上回っている。

課題

- ア 「読むこと」では、段落構成をとらえる力や事象や考えを区別する力が十分ではない。
 ・14)は文章構成を押さえて内容をとらえる問題であるが、設定通過率を15ポイント以上下回っている。16)は事実と考えを読み分ける問題であるが、設定通過率よりも10ポイント近く下回っている。
- イ 「言語事項」では、熟語の成り立ちや語句の構成、四字熟語についての理解が十分ではない。
 ・9)は、熟語の成り立ちについての過去の類似問題であるが、通過率は18.6%と依然として低い。また、10)は、語句の構成や変化についての問題で、通過率が32.6%と低い。語句の意味を踏まえて日常的に活用する力が身に付いていないことが示された。

(3) 今後の指導

- ア 「書くこと」では、目的や意図に応じた表現を工夫したり、自分の考えを深めたりする学習に力を入れたい。
 ・自分の考えや感想をまとめ、交流し合う活動を通して考えを深めるような学習経験を、生徒に多く蓄積したい。
- イ 「読むこと」では、文章全体の内容や構成及び事実と筆者の考えを区別して読み取ることに加えて、読み取ったことを目的に応じて表現することの力を育成したい。
 ・表現の効果を読み取るなど文章を評価しながら読むことも大切にしたい。
- ウ 「言語事項」では、語句に対する関心を高め、文や文章の中で活用できるよう指導の充実を図りたい。
 ・語句を集めたり、語句の意味を探ったりすることを必要に応じて取り立てて行うこと、獲得した語句を表現活動に生かすような場を工夫することなどに留意したい。日常から、語句に対する関心を高めるような環境整備も心がけたい。

中学校 第2学年
国語

中学校 2 年国語 評価規準と評価の観点

領域	指導事項	評価規準	通し番号	観 点		
				書くこと	読むこと	言語事項
書くこと	ア	・身近な生活や学習の中から課題を見付け、材料を集め自分の考えや思いをまとめて書いている。	20)			
	ウ	・自分の考えや思いを的確に表すために、グラフから適切な材料を選択して書いている。				
読むこと	ア	・文語体の文章の特徴を理解し、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して正しく読んでいる。	13)			
		・文脈の中における語句の意味を正確にとらえている。	15)			
	イ	・文章の展開に即して内容をとらえている。	14)			
			16)			
			17)			
	ウ	・文章の構成や展開を正確にとらえている。	18)			
エ	・文章の展開を確かめながら主題を考えている。	19)				
言語事項	(1)イ	・語句の辞書的な意味を理解し、文脈に応じて適切に使っている。	8)			
	(1)ウ	・事象や行為などを表す多様な語句について理解している。	9)			
	(1)エ	・文と文の接続の関係や接続語の働きを理解している。	12)			
	(1)オ	・単語の類別について理解している。	10)			
		・文の成分における文節と文節の関係を理解している。	11)			
	(2)ア	・学年別配当表に示されている漢字について文脈に即して正しく読んでいる。	4)			
5)						
7)						
(2)イ	・学年別配当表に示されている漢字のうち900字程度について、文脈の中でその意味を考えて正しく書き、文や文章の中で正しく使っている。	1)				
		2)				
		3)				
		6)				

中学校2年 国語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 75.0%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
1	漢字の書き(責める)	68.9%	70.0%	
2	漢字の書き(適切)	59.4%	65.0%	
3	漢字の書き(環境)	81.8%	80.0%	
4	漢字の読み(難しいーむずかしい)	95.3%	80.0%	
5	漢字の読み(習慣ーしゅうかん)	98.0%	85.0%	
6	同音異義語(キカイ)(選択肢)	96.7%	75.0%	
7	漢字の読み(驚ーきょう)(選択肢)	68.3%	75.0%	
8	語句の意味(比重)(選択肢)	69.8%	70.0%	
9	接頭語(不～)(選択肢)	86.2%	85.0%	
10	単語の類別(名詞)(選択肢)	33.2%	60.0%	
11	文節と文節の関係(補助の関係)(選択肢)	65.1%	60.0%	
12	接続語のはたらき(逆接)(選択肢)	87.6%	85.0%	
13	歴史的仮名遣い(問へば)(記述)	80.8%	75.0%	
14	古文の内容理解(選択肢)	77.1%	70.0%	
15	文脈中の語句の意味(選択肢)	87.4%	80.0%	
16	内容理解(抜き出し)	68.0%	65.0%	
17	内容理解(記述)	61.8%	60.0%	
18	場面構成の理解(選択肢)	66.1%	60.0%	
19	内容理解(記述)	60.1%	60.0%	
20	グラフを見て意見文を書くこと	86.5%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

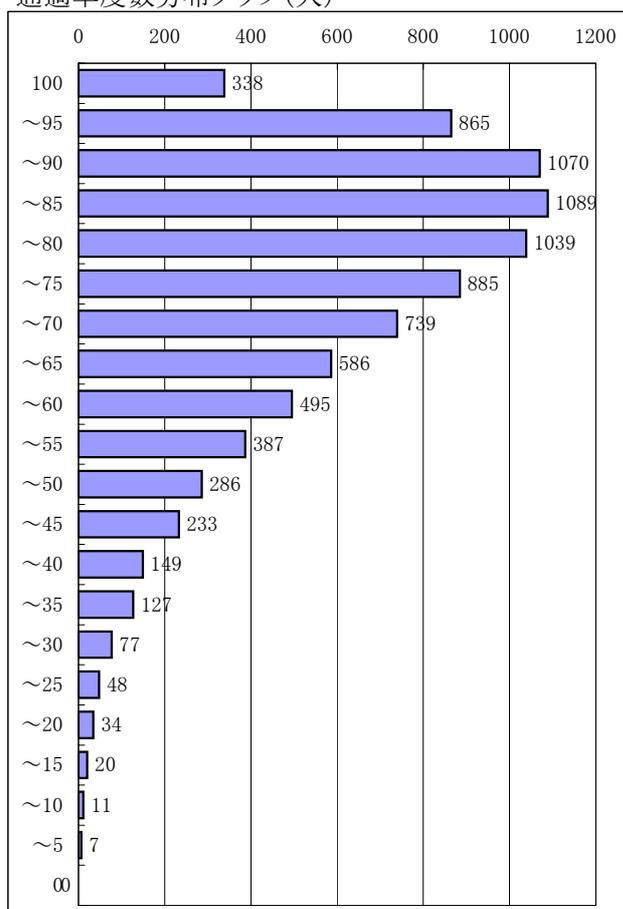
中学校2年 国語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)	
一	1	(1)	68.9%	19.7%	11.4%	0.0%
		(2)	59.4%	30.0%	10.7%	0.0%
		(3)	81.8%	13.0%	5.2%	0.0%
	2	(4)	95.3%	4.7%	0.1%	0.0%
		(5)	98.0%	1.4%	0.6%	0.0%
		(6)	96.7%	3.2%	0.0%	0.0%
	3	(7)	68.3%	31.2%	0.5%	0.0%
		(8)	69.8%	30.1%	0.2%	0.0%
		(9)	86.2%	13.7%	0.0%	0.0%
二	(10)	33.2%	66.0%	0.8%	5.9%	
	(11)	65.1%	34.7%	0.2%	0.0%	
	(12)	87.6%	12.3%	0.1%	0.0%	
三	(13)	80.8%	17.1%	2.1%	0.0%	
	(14)	77.1%	22.8%	0.2%	0.0%	
四	(15)	87.4%	12.5%	0.1%	0.0%	
	(16)	68.0%	27.3%	4.7%	0.0%	
	(17)	61.8%	33.9%	4.3%	0.0%	
	(18)	66.1%	33.0%	0.8%	0.0%	
	(19)	60.1%	33.6%	6.3%	0.0%	
五	(20)	86.5%	10.1%	3.5%	0.0%	

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	--1			--2		--3	--4	--5	--6	二-1	二-2	二-3	三-1	三-2	四-1	四-2	四-3	四-4	四-5	五	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	0	0	1	20	37	18	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0
95~100%	0	0	3	43	74	74	0	0	11	0	0	9	5	0	7	0	1	0	1	25	0
90~95%	4	1	19	46	10	27	1	0	27	0	1	31	18	4	27	1	2	2	1	32	0
85~90%	3	4	24	11	1	3	12	4	33	0	5	45	18	12	55	3	4	1	1	19	3
80~85%	15	6	35	2	0	0	13	7	31	0	9	25	33	29	27	7	6	3	2	15	12
75~80%	19	9	16	0	0	0	18	18	13	0	9	9	19	30	3	11	5	9	5	12	46
70~75%	17	14	11	0	0	0	13	46	5	0	8	3	14	27	1	28	8	20	7	4	46
65~70%	20	14	4	0	0	0	12	13	0	0	29	0	7	11	1	28	20	28	13	5	14
60~65%	18	16	8	0	0	0	12	19	1	1	25	0	4	6	0	21	17	34	30	5	0
55~60%	10	12	1	0	0	0	10	9	0	1	16	0	2	1	0	17	16	12	28	1	1
50~55%	10	10	0	0	0	0	17	2	1	3	11	0	1	2	0	4	26	10	15	0	0
45~50%	1	14	0	0	0	0	10	3	0	8	7	0	0	0	0	0	5	2	7	0	0
40~45%	4	10	0	0	0	0	3	0	0	11	1	0	0	0	0	2	6	1	11	0	0
35~40%	1	5	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
30~35%	0	4	0	0	0	0	0	0	0	26	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0
25~30%	0	1	0	0	0	0	0	1	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~25%	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校2年 国語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		書くこと	読むこと	言語事項
問題数	20	1	7	12
+10%以上	4	1	0	3
±10%内	15	0	7	8
-10%以下	1	0	0	1

(2) 考察

全体について

- ア 中学校2年生の学習の実現状況はおおむね良好といえる。
 - ・設定通過率71.5%に対して通過率が75.0%である。
- イ 特に、「書くこと」の学習の実現状況は良好である。
 - ・設定通過率と比較して、「読むこと」は4.5ポイント、「言語事項」は1.3ポイント通過率が上回っているのに対して、「書くこと」は16.5ポイント上回っている。

成果

- ア 「書くこと」では、グラフの結果からと自分の生活に関連させた課題をとらえ、自分の考えや思いをまとめることが良好である。
 - ・20)は、設定通過率よりも通過率が16.5ポイント上回っており、多様な書く機会を設定して、学習を積み重ねていることがうかがえる。
- イ 「読むこと」における国の類似問題の通過率は国の調査結果を上回っている。
 - ・7問中、4問が国の教育課程実施状況調査と類似する問題であるが、4問すべての通過率が上回っており、平均では7.7ポイント上回っている。
- ウ 「言語事項」では、生活場面でよく使用される漢字の読み、同音異義語の理解は良好である。
 - ・漢字の読みに関しては、3問中2問が設定通過率を13ポイント以上、同音異義語に関しては21.7ポイント上回っており、ほとんどの学校で適切な指導が行われていると考えられる。

課題

- ア 「読むこと」では、読み取ったことを目的や条件に応じて表現する力が十分ではない。
 - ・16) 17) 19)は読み取ったことを目的や条件に応じて抜き出したり、文章中の言葉を使って書いたりする設問であるが、設定通過率は上回ったものの未記入率が平均5.1%と高かった。
- イ 「言語事項」の漢字の「書き」については、文章の中で正しく書けるよう指導に力を入れたい。
 - ・2)は、一昨年度と同様の漢字であるが、設定通過率を5.6ポイント下回っている。また、1) 2) 3)の「書き」は未記入率がそれぞれ11.4%、10.7%、5.2%と高く、文章を書く中で使い慣れるように指導する必要がある。
- ウ 「言語事項」では、単語の類別についての理解が不十分である。
 - ・10)は単語の類別を問う設問であるが、通過率が33.2%(昨年度類題は22.9%)と著しく低かった。設定通過率を26.8ポイント下回っており、文中の単語を類別する力が十分には身に付いていない。

(3) 今後の指導

- ア 「読むこと」では、表現に生きる読みの指導に力を入れる必要がある。
 - ・「読むこと」では、読み取ったことや考えたことを場面や目的に応じて工夫して表現し合い、そのことによって理解や考えが一層深まるよう、学習活動に多様な言語活動を取り入れる必要がある。
- イ 学習指導要領の指導事項を再度確認したい。
 - ・言語事項の「単語の類別」は中学校1年生の指導事項であるとともに、小学校中学年、高学年の「語句に関する類別」の指導事項を踏まえたものであるにもかかわらず、「未履修」と判断した学校があった。語句に限らず、小学校の指導内容を踏まえて、中学校の学習内容の充実を図ることが大切である。
- ウ 楽しく分かりやすい授業の構築に努めたい。
 - ・学習の意欲等に関して、国語が嫌いな理由に「楽しくない」を挙げた割合が12.6%(昨年度の1年生は9.2%)と他学年に比べて高いことから、一層魅力的で楽しく、分かりやすい授業づくりを心がけたい。

中学校 第3学年
国語

中学校 3 年国語 評価規準と評価の観点

領域	指導事項	評価規準	通し番号	観 点		
				書くこと	読むこと	言語事項
書くこと	イ	・課題に対して、自分の考えや伝えたい事柄や根拠となる事実を明確にしている。	20)			
	エ	・自分の考えが相手に効果的に伝わるように論理の展開を工夫している。				
読むこと	ア	・文脈の中における語句の使い方について理解し、自分の言葉の使い方に生かしている。	11)			
	イ	・筆者の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を読み取っている。	12)			
			13)			
			14)			
	ウ	・表現の仕方や文章の特徴に注意して読み、自分の表現に役立てる。 ・歴史的仮名遣いや助詞の用法など文語文の特徴に注意して読み、内容を理解している。	15)			
			16)			
17)						
			18)			
			19)			
言語事項	(1)イ	・文脈に即して同音異義語の意味の違いについて理解している。	7)			
		・ことわざの使い方について理解している。	9)			
		・文脈に即して慣用句の使い方について理解している。	10)			
	(1)単語 (1年才)	・単語の類別について理解し、その働きに注意して使っている。	6)			
		(1)キ	・相手や場面に応じて敬語を適切に使い分けている。	8)		
	(2)ア	・学年別配当表に示されている漢字および第2学年までに学習した常用漢字について、文脈に即して正しく読んでいる。	1)			
			2)			
・熟語の意味を踏まえて、漢字の音訓を正しく理解している。		5)				
		(2)イ	・学年別配当表に示されている漢字のうち950字程度について、文脈の中でその意味を考えて正しく書いている。	3)		
4)						

中学校3年 国語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 75.1%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	漢字の読み(経てーへて)	89.1%	80.0%	
2	漢字の読み(好奇心ーこうきしん)	98.7%	85.0%	
3	漢字の書き(成績)	80.2%	70.0%	
4	漢字の書き(簡単)	90.9%	80.0%	
5	熟語の音訓の組み合わせ(選択肢)	65.7%	65.0%	
6	単語の類別(形容詞)(選択肢)	62.2%	65.0%	
7	語句の使い方(同音異義語)(選択肢)	85.2%	75.0%	
8	語句の使い方(敬語)(選択肢)	91.1%	85.0%	
9	語句の使い方(ことわざ)(選択肢)	58.3%	70.0%	
10	語句の使い方(慣用句)(選択肢)	71.6%	65.0%	
11	語句の意味(選択肢)	86.9%	75.0%	
12	内容の理解(選択肢)	78.3%	70.0%	
13	文章の構成や展開(段落選択)	57.2%	65.0%	
14	内容の理解(要旨)(選択肢)	46.3%	60.0%	
15	表現の意図の読み取り(記述)	61.4%	65.0%	
16	歴史的仮名遣い(あひぬ)(記述)	71.4%	70.0%	
17	助詞の働き(選択肢)	81.4%	70.0%	
18	内容の理解(選択肢)	56.0%	65.0%	
19	内容の理解(抜き出し)	84.2%	70.0%	
20	言語の課題についての意見文を書くこと	85.5%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

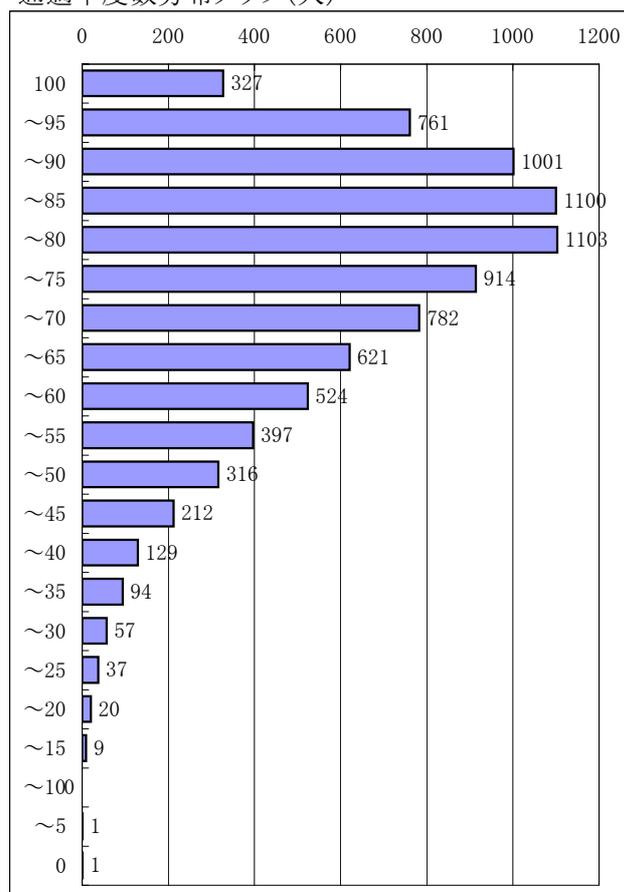
中学校3年 国語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)	
一	1	(1)	89.1%	10.2%	0.7%	0.0%
		(2)	98.7%	1.0%	0.3%	0.0%
	2	(3)	80.2%	18.2%	1.6%	0.0%
		(4)	90.9%	6.2%	3.0%	0.0%
	3	(5)	65.7%	34.2%	0.1%	0.0%
		(6)	62.2%	37.4%	0.4%	0.0%
二	1(1)	(7)	85.2%	14.8%	0.0%	0.0%
	1(2)	(8)	91.1%	8.9%	0.1%	0.0%
	2(1)	(9)	58.3%	41.6%	0.1%	0.0%
	2(2)	(10)	71.6%	28.4%	0.1%	0.0%
三	1	(11)	86.9%	13.0%	0.1%	0.0%
	2	(12)	78.3%	21.4%	0.2%	0.0%
	3	(13)	57.2%	42.2%	0.6%	0.0%
	4	(14)	46.3%	53.4%	0.3%	0.0%
	5	(15)	61.4%	25.6%	13.1%	0.0%
四	1	(16)	71.4%	25.0%	3.6%	0.0%
	2	(17)	81.4%	18.4%	0.3%	0.0%
	3	(18)	56.0%	43.7%	0.2%	0.0%
	4	(19)	84.2%	13.2%	2.6%	0.0%
五	(20)	85.5%	10.6%	3.9%	0.0%	

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	一-1		一-2		一-3	一-4	二		二		三-1	三-2	三-3	三-4	三-5	四-1	四-2	四-3	四-4	五	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	-1-1	-1-2	-2-1	-2-2	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	12	66	5	6	0	0	2	4	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	7	0
95~100%	27	59	13	27	2	0	4	35	1	1	5	1	0	0	1	0	3	0	9	19	0
90~95%	27	4	20	42	6	1	20	46	5	1	29	5	0	0	0	5	13	1	14	29	0
85~90%	27	0	15	30	2	1	40	29	2	5	49	16	0	0	7	8	23	0	40	25	5
80~85%	15	0	23	17	7	3	41	14	7	21	34	34	2	0	10	20	41	3	44	23	11
75~80%	9	0	13	6	16	8	20	1	6	21	6	36	0	1	13	20	25	3	18	11	51
70~75%	5	0	14	1	18	13	2	0	11	32	1	23	9	1	15	23	17	2	3	8	49
65~70%	6	0	9	0	20	22	0	0	13	26	2	7	10	3	12	17	4	10	0	4	13
60~65%	1	0	6	0	18	32	0	0	16	17	0	5	28	8	13	14	3	23	0	2	0
55~60%	0	0	3	0	13	20	0	0	13	5	0	1	29	8	15	8	0	25	0	0	0
50~55%	0	0	2	0	11	16	0	0	14	0	0	1	28	23	17	7	0	33	0	0	0
45~50%	0	0	2	0	11	6	0	0	12	0	0	0	15	23	9	4	0	20	0	0	0
40~45%	0	0	3	0	2	5	0	0	13	0	0	0	6	31	5	1	0	8	0	0	0
35~40%	0	0	1	0	1	1	0	0	7	0	0	0	1	25	6	0	0	0	0	0	0
30~35%	0	0	0	0	2	0	0	0	6	0	0	0	1	5	3	0	0	1	0	1	0
25~30%	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0
20~25%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校3年 国語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		書くこと	読むこと	言語事項
問題数	20	1	9	10
+10%以上	8	1	3	4
±10%内	10	0	5	5
-10%以下	2	0	1	1

(2) 考察

全体について

- ア 中学校3年生の学習の実現状況はおおむね良好といえる。
- ・設定通過率71.0%に対して通過率が75.1%である。
 - ・「読むこと」については、昨年度、設定通過率を10ポイント以上下回ったものが9問中5問であったが、今年度は9問中1問だけであり、改善が認められる。
- イ 「書くこと」「言語事項」についての学習の実現状況は、おおむね良好である。
- ・「書くこと」においては、設定通過率よりも、15.5ポイント上回っている。
 - ・「言語事項」についても、10問中8問が設定通過率よりも高く、7問中5問が県や国の過去の通過率よりも高い。

成果

- ア 「書くこと」では、事実や体験をもとに自分の考えを書く力が良好である。
- ・20)は、日常生活における言語の課題について、自分の体験や事実を踏まえて、考えを書くものであったが、昨年同様85.8%と高い通過率であり、事実と意見を書き分ける指導が定着してきていると考える。
- イ 「読むこと」では、語句の意味理解や情報の取り出しの力は良好である。
- ・語句の文脈上における意味理解や情報の抜き書き、選択肢の設問においては、それぞれ設定通過率よりも10ポイント以上上回っている。
- ウ 「言語事項」では、漢字の読み書きが良好である。
- ・漢字の読み書きはいずれも通過率が高く、過去に通過率が低かった漢字についても改善が見られる。

課題

- ア 「読むこと」では、文章の構成や展開の読み取り、要旨をまとめる力が不足している。
- ・内容の理解や要旨のまとめ、構成や表現の意図を読み取る設問4問において、設定通過率よりも低く、内2問は国の過去の類似問題の通過率よりも10ポイント以上下回っている。国際的な学力調査の結果とも似た傾向が見られる。
 - ・内容理解については、古文の読みにおいても同様の結果で、設定通過率を下回っている。
- イ 「言語事項」では、単語の類別やことわざの理解が不十分である。
- ・昨年も課題とされた単語の類別については、今年度も設定通過率を下回っており、ことわざについても、10ポイント以上下回っている。

(3) 今後の指導

- ア 「書くこと」では、根拠を明確にして論理的に自分の考えを書く力を付けたい。
- ・事実や意見を書き分ける力は身に付いてきているので、自分の考えの根拠を明確にするとともに、効果的に主張するために必要な情報を精選したり適切に組み立てたりして書く力を身に付けさせたい。
- イ 「読むこと」では、説明的文章を読んで筆者の意図を読み取ったり、理解・解釈したりする力を付けたい。
- ・内容理解において、段落構成や文章の展開をとらえ、筆者の主張をまとめる力、表現の意図を読み取る力の育成が求められる。『読解力向上プログラム』の中で、学校に求められている取組の三つの重点目標の実践を推進したい。
- ウ 古典や故事成語、ことわざ、慣用句などに触れる機会を充実させたい。
- ・文化としての言葉という認識をもって、多くの古典や故事成語、ことわざ、慣用句にふれる機会を多くしたい。また、それらが日常生活に生きている場면을意識的に取り上げて指導するようにしたい。学校によって通過率の差が見られることから、指導者の意識が大事である。
 - ・学習の意欲等に関して、学年が進むにつれて「国語を好き」の割合が減り、「嫌い」が増えている。理由は「分かりにくい」であり、授業改善が急務の課題である。

小学校 第6学年
社 会

小学校 6 年 社会 評価規準と評価の観点

内容	評 価 規 準	通し番号	観 点		
			思考 ・ 判断	技能 ・ 表現	知識 ・ 理解
(1) ア	・野菜の生産地を調べる適切な方法を考えている。	(4)			
(1) イ	・我が国の食料生産や土地利用の特色を、基礎的資料を活用して具体的に調べている。	(7)			
(1) ウ	・米づくりのさかんな地域の自然条件について考えている。	(6)			
(1) ウ	・米づくりにかかる時間の变化について、基礎的資料を活用して具体的に調べている。	(5)			
(1) ウ	・生産地と消費地を結ぶ運輸の働きを理解している。	(8)			
(2) ア	・工業製品の意味が分かり、様々な工業製品が国民生活を支えていることを理解している。	(9)			
(2) ア	・工業製品と国民生活のかかわりについての図表を、目的に応じた方法で表現している。	(10)			
(2) イ	・工業地帯・工業地域の立地状況から、我が国の工業の特色を考えている。	(13)			
(2) イ	・我が国の工業における、工場の規模の違いによる特色について、基礎的資料を活用して具体的に調べている。	(11)			
(2) ウ	・調べたり見学したりしたことをもとに、自動車工場働く人々の工夫や努力について考えている。	(12)			
(3) ア	・調べたことをもとに、情報が日常の生活や産業活動の中で積極的に活用されていることを考えている。	(15)			
(3) ア	・情報産業と国民生活とのかかわりについて、基礎的資料を活用して具体的に調べている。	(14)			
(3) イ	・情報産業に従事している人々の工夫や努力について理解している。	(16)			
(3) イ	・調べたことをもとに、情報の有効な活用が大切であることを考えている。	(17)			
(4) ア	・国土の位置、近隣諸国の国名と位置関係、地形や気候の概要を、地図を活用して具体的に調べている。	(1) (2) (3)			
(4) イ	・公害から生活環境を守るために必要なことを、自分の生活とのかかわりから考えている。	(19)			
(4) イ	・公害を防ぐ努力について理解している。	(18)			
(4) ウ	・国土の保全や水資源の涵養のための森林資源の働きについて理解している。	(20)			

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	近隣諸国の国名と位置(地図の活用)	86.6%	75.0%	
2	那覇市のおよその緯度(地図の活用)	77.5%	60.0%	
3	日本周辺の海流(地図の活用)	82.7%	70.0%	
4	野菜の生産地の調べ方	85.8%	75.0%	
5	農作業時間の移り変わり	83.5%	75.0%	
6	米づくりに適した条件	82.0%	70.0%	
7	土地利用の特色と米の生産量	79.7%	70.0%	
8	生産地と消費地を結ぶ運輸の働き	81.0%	75.0%	
9	工業製品の利用と日常生活	54.8%	70.0%	
10	工業製品普及率の棒グラフの作成	91.0%	80.0%	
11	工業における中小工場と大工場の特徴	78.2%	70.0%	
12	関連工場とのつながり	75.4%	70.0%	
13	工業地帯の立地条件	68.4%	65.0%	
14	通信などの産業の状況	71.9%	65.0%	
15	産業活動での情報活用	87.4%	80.0%	
16	情報産業に従事する人々の工夫	86.2%	75.0%	
17	情報の有効な活用	81.3%	70.0%	
18	公害の原因	89.6%	80.0%	
19	環境保全への努力	77.6%	65.0%	
20	森林資源の働き	91.8%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

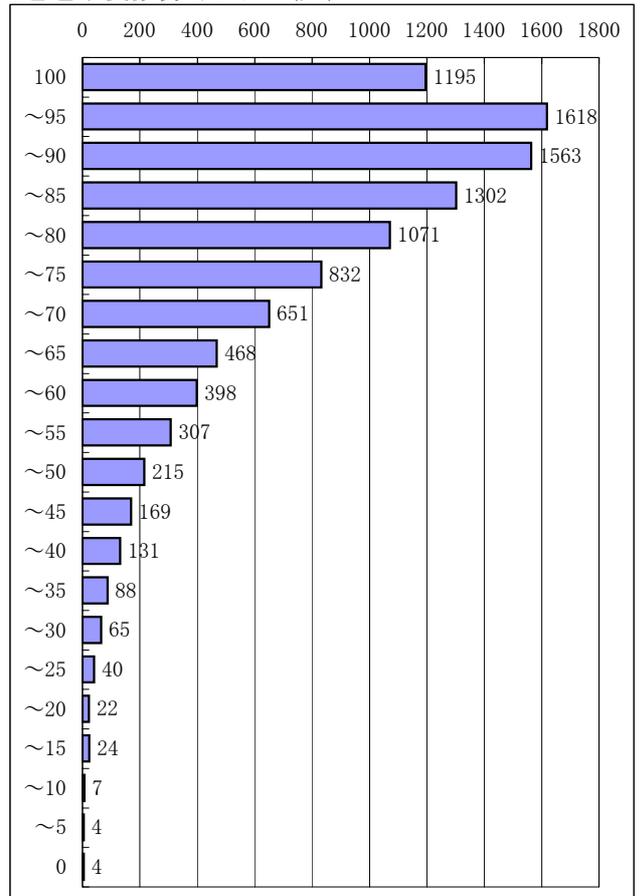
小学校6年 社会

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	86.6%	13.2%	0.1%	0.1%
	2 (2)	77.5%	21.9%	0.6%	0.1%
	3 (3)	82.7%	15.5%	1.8%	0.1%
2	1 (4)	85.8%	14.0%	0.2%	0.1%
	2 (5)	83.5%	16.4%	0.1%	0.1%
	3 (6)	82.0%	17.8%	0.2%	0.1%
	4 (7)	79.7%	20.1%	0.2%	0.1%
	5 (8)	81.0%	18.9%	0.1%	0.1%
3	1 (9)	54.8%	44.8%	0.5%	0.1%
	2 (10)	91.0%	4.0%	5.0%	0.1%
	3 (11)	78.2%	21.5%	0.3%	0.1%
	4 (12)	75.4%	24.4%	0.2%	0.1%
	5 (13)	68.4%	25.5%	6.0%	0.1%
4	1 (14)	71.9%	27.7%	0.4%	0.1%
	2 (15)	87.4%	12.2%	0.4%	0.1%
5	1 (16)	86.2%	13.3%	0.5%	0.1%
	2 (17)	81.3%	18.3%	0.4%	0.1%
6	1 (18)	89.6%	10.1%	0.3%	0.1%
	2 (19)	77.6%	19.6%	2.8%	0.1%
	3 (20)	91.8%	7.2%	1.0%	0.1%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	6-3	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	11	3	7	1	1	1	0	0	0	23	0	1	0	0	3	6	0	12	9	21	0
95~100%	18	8	13	8	15	6	2	3	4	35	5	5	5	3	14	9	7	34	17	48	0
90~95%	33	16	26	45	18	24	16	23	7	53	12	9	8	7	42	42	16	51	15	49	6
85~90%	40	25	38	53	50	40	33	35	2	36	24	21	21	7	58	44	38	36	22	36	32
80~85%	39	28	38	38	34	42	32	47	12	17	33	21	16	11	34	48	37	26	25	14	55
75~80%	21	21	18	19	33	28	45	34	11	6	46	29	19	33	14	20	32	8	18	5	51
70~75%	8	25	15	9	11	16	24	20	6	4	22	36	19	33	3	5	22	5	19	1	26
65~70%	1	28	12	0	7	8	14	6	7	0	20	25	23	40	4	0	11	3	13	0	3
60~65%	2	10	2	2	4	3	5	6	15	0	10	13	17	26	1	1	9	0	12	0	2
55~60%	1	3	2	0	1	2	2	1	20	0	2	8	11	6	0	0	0	0	8	1	0
50~55%	0	5	3	0	1	4	2	0	19	0	1	4	9	6	1	0	2	0	11	0	0
45~50%	1	1	1	0	0	1	0	0	16	0	0	2	8	1	0	0	0	0	3	0	0
40~45%	0	2	0	0	0	0	0	0	19	1	0	1	8	1	0	0	0	0	2	0	0
35~40%	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0
30~35%	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
25~30%	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
20~25%	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校6年社会 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			内 容 別			
		思考・ 判断	技能・ 表現	知識・ 理解	農業や 水産業	工業生 産	通信等 の産業	国土の 自然
問題数	20	7	8	5	5	5	4	6
+10%以上	10	4	4	2	2	1	2	5
±10%内	9	3	4	2	3	3	2	1
-10%以下	1	0	0	1	0	1	0	0

(2) 考察

全体について

ア 基礎的な力の定着状況は良好である。

- ・全20問中19問が設定通過率を上回っており、そのうちの10問は設定通過率より10ポイント以上上回っている。観点別では、どの観点とも+10%以上が半分、±10%内が半分となっており、偏りなくどの観点の力も身に付いていることがわかる。全体の傾向としては良好な状況といえる。

イ 教科の好き嫌いの傾向が良好に推移している。

- ・「大好き」「好き」の割合は76.3%だった。平成16年度が71.3%、平成17年度が75.4%となっており、「大好き」「好き」の全体に占める割合が年々高くなっている。意欲の面でも良好に推移しているといえる。

成果

ア 文章で自分の考えを書いたり数値をグラフ化するなどの表現力が付いてきている。

- ・13) 19) の文章記述の問題が設定通過率よりそれぞれ3.4、12.6ポイント、10) のグラフ化の問題が設定通過率より11.0ポイント上回っている。日常の授業において、作業的な学習を意図的に取り入れている成果と考えられる。

イ 複数の資料を組み合わせて思考し判断する力が付いてきている。

- ・昨年度、設定通過率より低かった4問を類似問題として出題したが、そのすべてで設定通過率をクリアした。特に10ポイント以上低かった7)「土地利用の特色と米の生産量」の通過率が57.0から79.7に、12)「関連工場とのつながり」が56.1から75.4にとそれぞれ大きく向上した。複数の資料を提示する学習活動が増えてきている成果である。

課題

ア 工業生産に関する内容の定着状況に課題が見られる。

- ・工業生産に関しては5問中4問が設定通過率を上回っているのに、身に付いてはいない。しかし誤答率が20%以上の問題が9) 11) 12) 13) と4問あり、他の内容と比べ比率が高い。工業についてより実感的に学ぶ工夫が求められる。

(3) 今後の指導

ア 学習のねらいを明確にし、指導過程を構想する。

- ・指導要領解説を熟読し、「学習の対象」「学習の方法」「考えさせること」等を明確にした上で、それらが確実に実現する指導構想を立てることが必要である。

イ 比較や関連の視点を大切に学習活動を展開する。

- ・普段の学習の中で、複数の資料から読み取った情報を基に、比較から共通点や相違点を見出したり、関連付けから社会的事象の意味を考えたりすることが大切である。

ウ 社会科が好きな子どもを育成する。

- ・今後も意欲面を重視した指導を大切にしたい。課題解決的な学習、体験的な学習を重視し、ゴールに到達する達成感を味わわせる実践を積み重ねていくことが基礎・基本の定着につながる。

中学校 第1学年
社 会

中学校1年 社会 評価規準と評価の観点

内 容	評 価 規 準	通し番号	観 点		
			思考 ・ 判断	技能 ・ 表現	知識 ・ 理解
(1) ア	・遺跡や遺物について調べたことを通して、我が国において農耕が始まったころの人々の生活の様子を理解している。	(1)			
(1) ア	・大和朝廷による国土の統一の様子を理解している。	(2)			
(1) イ	・聖武天皇が我が国の国家、社会の発展に果たした役割を考え、適切に判断している。	(3)			
(1) イ	・奈良に大仏がつけられたころの様子について、適切な資料を選択・活用して調べている。	(4)			
(1) ウ	・源頼朝が武士による政治の基礎づくりに果たした役割を考え、適切に判断している。	(5)			
(1) ウ	・京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について、写真など基礎的資料を活用し調べている。	(6)			
(1) エ	・織田信長が戦国の世の統一に果たした役割を考え、適切に判断している。	(8)			
(1) エ	・豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことを、絵巻物などの基礎的資料を活用して調べている。	(7)			
(1) オ	・大名行列を調べ、徳川家光の時代に確立された参勤交代について、その意図を適切に判断している。	(9)			
(1) オ	・武士による政治体制が安定したことを、鎖国の様子と結び付けて理解している。	(10)			
(1) カ	・福沢諭吉が『西洋事情』を著し、欧米から新しい文化や考え方を取り入れたことを理解している。	(11)			
(1) カ	・文明開化について調べ、欧米の文化を取り入れたことにより人々の生活が大きく変化したことを理解している。	(12)			
(1) キ	・調べたことをもとに、大日本帝国憲法の発布が近代国家の確立に果たした役割を考え、適切に判断している。	(13)			
(1) キ	・条約改正の内容（治外法権の撤廃）について、具体的に表現している。	(14)			
(1) ク	・満州事変から太平洋戦争に至るまでのできごとを年表と関連付けて考えている。	(15)			
(1) ク	・オリンピックが開催されたころの社会の様子について、写真などの基礎的資料を活用して調べている。	(16)			
(2) ア	・国民生活の向上に、税金が使われていることを理解している。	(18)			
(2) イ	・日本国憲法は、国家や国民生活の基本を定めていることを理解している。	(17)			
(3) イ	・我が国の国際交流や国際協力に関する資料から、事実を具体的に読み取っている。	(19)			
(3) イ	・平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを理解している。	(20)			

中学校1年 社会 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 76.0%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	農耕の始まりと農具	96.3%	80.0%	
2	大和朝廷による国土の統一	80.6%	75.0%	
3	大仏建立のねらい	74.2%	75.0%	
4	大仏造営の様子	90.6%	80.0%	
5	鎌倉幕府の始まり	66.7%	65.0%	
6	室町文化の建造物と絵画	89.2%	80.0%	
7	豊臣秀吉の働きと検地	86.3%	75.0%	
8	織田信長の働き	90.1%	80.0%	
9	参勤交代のねらい	68.8%	70.0%	
10	鎖国の様子	71.3%	65.0%	
11	福沢諭吉と『学問のすゝめ』	89.3%	75.0%	
12	文明開化による人々の生活の変化	50.4%	70.0%	
13	大日本帝国憲法発布の意味	61.8%	60.0%	
14	条約改正の内容	50.9%	60.0%	
15	我が国にかかわる第二次世界大戦	59.5%	65.0%	
16	東京オリンピック開催のころの様子	76.6%	75.0%	
17	日本国憲法の基本的な原則	76.3%	75.0%	
18	租税の役割	86.2%	75.0%	
19	我が国の国際交流や国際協力の様子	70.9%	60.0%	
20	ユニセフの働き	85.2%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

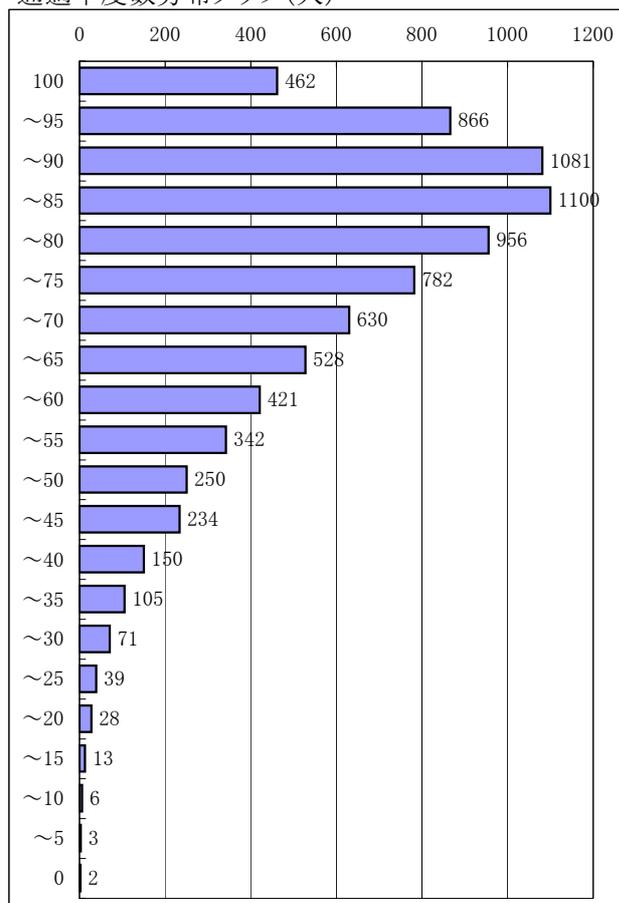
中学校1年 社会

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%
	2 (2)	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%
2	1 (3)	74.2%	25.7%	0.1%	0.0%
	2 (4)	90.6%	9.3%	0.1%	0.0%
3	1 (5)	66.7%	33.1%	0.2%	0.0%
	2 (6)	89.2%	10.6%	0.2%	0.0%
4	1 (7)	86.3%	13.6%	0.1%	0.0%
	2 (8)	90.1%	9.7%	0.2%	0.0%
5	1 (9)	68.8%	31.0%	0.2%	0.0%
	2 (10)	71.3%	25.8%	2.9%	0.0%
6	1 (11)	89.3%	10.6%	0.1%	0.0%
	2 (12)	50.4%	49.4%	0.2%	0.0%
7	1 (13)	61.8%	37.6%	0.5%	0.0%
	2 (14)	50.9%	42.1%	7.0%	0.0%
8	1 (15)	59.5%	40.2%	0.3%	0.0%
	2 (16)	76.6%	23.2%	0.2%	0.0%
	3 (17)	76.3%	21.1%	2.7%	0.0%
9	(18)	86.2%	10.2%	3.7%	0.0%
10	1 (19)	70.9%	28.7%	0.4%	0.0%
	2 (20)	85.2%	14.6%	0.2%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	8-1	8-2	8-3	9	10-1	10-2	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	21	0	0	4	0	4	2	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0
95~100%	68	6	1	23	0	19	12	20	1	5	14	0	0	0	0	2	0	11	0	4	0
90~95%	32	13	2	46	0	33	28	44	5	10	40	0	1	0	0	3	11	21	2	18	0
85~90%	3	21	11	34	1	36	30	38	10	13	39	0	2	0	3	18	17	43	1	43	2
80~85%	0	29	21	11	7	22	28	16	17	15	10	0	3	0	2	28	26	18	6	30	22
75~80%	0	21	24	4	13	9	14	3	8	20	10	1	8	2	5	22	25	16	20	16	48
70~75%	0	18	26	2	24	1	9	1	18	11	3	2	12	3	7	20	15	7	36	4	37
65~70%	0	7	18	0	21	0	0	0	14	8	0	10	22	4	15	20	9	3	36	1	14
60~65%	0	6	15	0	23	0	1	0	17	14	1	15	24	18	26	9	6	1	17	2	1
55~60%	0	3	1	0	17	0	0	0	13	9	0	10	22	17	24	1	10	0	4	2	0
50~55%	0	0	1	0	13	0	0	0	10	4	0	30	14	23	23	0	4	0	2	0	0
45~50%	0	0	3	0	3	0	0	0	3	1	0	20	8	23	8	0	0	0	0	0	0
40~45%	0	0	1	0	1	0	0	0	5	3	0	18	7	15	5	1	1	0	0	0	0
35~40%	0	0	0	0	1	0	0	0	2	6	0	14	1	11	5	0	0	0	0	0	0
30~35%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0
25~30%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
20~25%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校1年 社会 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			内 容 別		
		思考・判断	技能・表現	知識・理解	歴史	政治	国際社会
問題数	20	6	6	8	16	2	2
+10%以上	8	1	3	4	5	1	2
±10%内	11	5	3	3	10	1	0
-10%以下	1	0	0	1	1	0	0

(2) 考察

全体について

- ア ほぼ全問が設定通過率を上回っているか同程度であり、良好な状況にあるといえる。
 ・昨年度の平均通過率67.9%と比べると、今回は76.0%と昨年度を上回り、県類似問題及び国類似問題ともほとんどが上回っている。
- イ 観点別では「知識・理解」と「技能・表現」についてはおおむね良好な状況であるが、「思考・判断」についてはより一層の向上が期待できる。

成果

- ア 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に資料などを活用して調べ、事実を読み取ることはできている。
 ・4) 6) 7) 8) 11) など人物の働きや文化遺産にかかわる内容を直接的に問う問題の通過率は、85%を超えている。
- イ 我が国の政治の働きや世界の中の日本の役割について調べ、事実を読み取ることはできている
 ・18) 20) の「知識・理解」に関する問題の通過率は85%を超えており、各校で知識の定着を意識した指導がなされていると思われる。

課題

- ア 複数の資料を関連付けて考えるなど、資料を活用して思考を深める力が不十分である。
 ・15) は設定通過率を下回った。資料の会話文からキーワードを読み取り、年表中から関連する出来事を選択する力が不十分である。
- イ 調べてわかったことを自分の言葉で表現する力が不十分である。
 ・14) の通過率は50.9%であった。条約改正に関する記述問題であったが、歴史上の主な事象について調べて考えたことを自分の言葉で表現する学習が不十分である。

(3) 今後の指導

- ア 単元の導入段階では、子どもたちの課題意識を高めるような工夫をする。
 ・意欲を高める資料を活用するとともに、発問によって意外性や驚きを引き出し、課題意識を高める。
- イ 調べる過程では、複数の資料を関連付けたり、一つの資料を多角的に読み取ったりするなどの学習を繰り返し行う。
 ・資料を提示する際に、調べる目的、内容を明確にする。
 ・さまざまな見方や考え方があることに気付くとともに、集団で高め合う場を単元計画に位置付ける。
- ウ 学習過程に、調べたことをもとに考える学習の場を意図的に位置付ける。
 ・自分の考えの根拠を資料と結び付けて説明する活動を繰り返し行う。
 ・自分の考えや学習のまとめを自分の言葉で書くなどの表現する活動を位置付ける。

中学校 第2学年
社 会

中学校2年 社会 評価規準と評価の観点

内 容	評 価 規 準	通し番号	観 点		
			思考 ・ 判断	技能 ・ 表現	知識 ・ 理解
(1)ア	・主な国々の名称と位置、世界の地域区分を理解し、その知識を身に付けている。	(3 (4			
(1)イ	・日本の国土の領域の特色を理解し、その知識を身に付けている。	(1			
(1)イ	・都道府県の位置と名称を理解し、その知識を身に付けている。	(2			
(2)ア	・身近な地域の特色をとらえるために、地図などから情報を適切に読み取っている。	(5 (6			
(2)ア	・身近な地域の地理的事象を基にして設定した課題を、地域の環境条件や人間の営みなどから多面的・多角的に考察している。	(7			
(2)イ	・都道府県の地域的特色をとらえるために、地図の読み取り、統計のグラフ化などを通して、学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。	(8			
(2)イ	・都道府県規模の地域的特色をとらえる課題を追究するための視点や方法を考察し、適切に選択している。	(9			
(2)イ	・都道府県の地理的事象を基にして設定した課題を、地域の環境条件や人間の営みなどから多面的・多角的に考察している。	(10			
(1)ア	・時代の大きな移り変わりに気付いている。	(11 (12			
(2)エ	・国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことに関する画像や文献などの様々な資料を収集し、適切に活用している。	(13			
(2)エ	・古代の文化の特色を代表的な事例を取り上げて多面的・多角的に考察している。	(14			
(3)イ	・中世の諸産業の発達と社会の変化、新たな文化の特色を理解し、その知識を身に付けている。	(15			
(3)イ	・応仁の乱後の社会的な変動を通して、歴史の流れと時代の特色を多面的に考察している。	(16			
(4)ア	・戦国の動乱時期のヨーロッパ人の来航に関する絵画を収集し、考察した結果を説明している。	(17			
(4)イ	・豊臣による統一事業のあらましを通して、歴史の流れと時代の特色を多面的に考察している。	(18			
(4)オ	・江戸幕府の政治改革に関するグラフを収集し、考察した結果を説明している。	(19			
(4)エ	・江戸時代を通じた産業の特色を代表的な事例を取り上げて多面的・多角的に考察している。	(20			

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
1	我が国の領域	92.3%	85.0%	
2	都道府県の位置と名称	77.1%	80.0%	
3	世界の地域区分	75.3%	85.0%	
4	主な国の位置	25.3%	60.0%	
5	身近な地域における地図の読み取り	93.5%	80.0%	
6	身近な地域の成立過程	44.8%	65.0%	
7	身近な地域の他の地域とのつながり	40.6%	60.0%	
8	農業産出額の帯グラフの作成	76.8%	75.0%	
9	工業生産と原材料のかかわり	68.9%	70.0%	
10	都道府県規模地域の調査のまとめ方	49.1%	65.0%	
11	時代区分の表し方	69.9%	80.0%	
12	年号と世紀の表し方	61.5%	85.0%	
13	古代の文化と国際関係	73.7%	70.0%	
14	古代の文化の変化	55.2%	65.0%	
15	室町時代の社会の様子	30.8%	70.0%	
16	戦国時代の特色と分国法	53.2%	65.0%	
17	戦国時代のヨーロッパ文化の影響	59.8%	65.0%	
18	太閤検地の内容	32.3%	60.0%	
19	江戸幕府の政治改革の内容	30.5%	60.0%	
20	江戸時代の産業の特色	59.0%	65.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

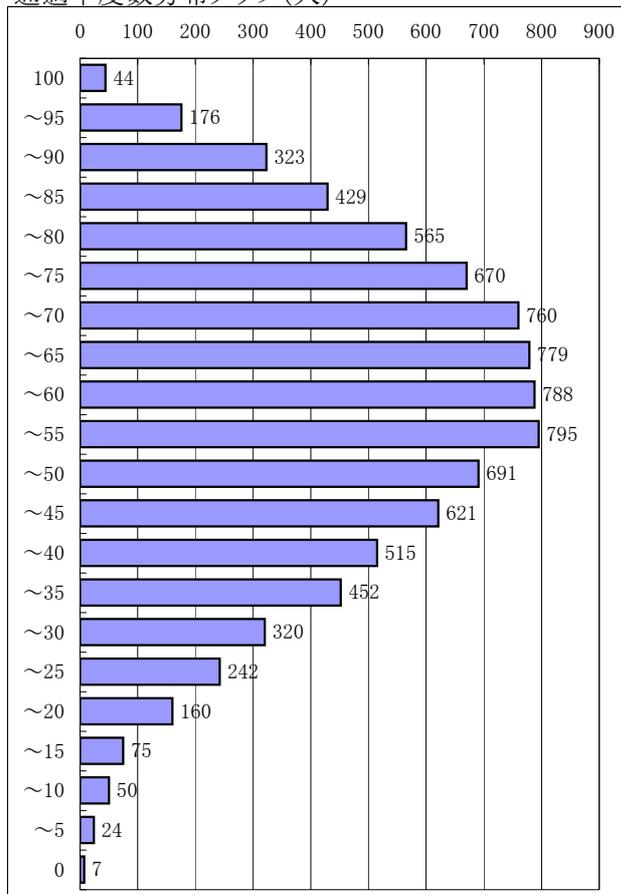
中学校2年 社会

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	92.3%	4.3%	3.4%	0.0%
2	2 (2)	77.1%	18.7%	4.2%	0.0%
3	1 (3)	75.3%	24.3%	0.4%	0.0%
	2 (4)	25.3%	73.7%	0.9%	0.0%
4	1 (5)	93.5%	6.2%	0.2%	0.0%
	2 (6)	44.8%	54.6%	0.6%	0.0%
	3 (7)	40.6%	58.4%	1.0%	0.0%
5	1 (8)	76.8%	17.2%	6.0%	0.0%
	2 (9)	68.9%	30.0%	1.0%	0.0%
	3 (10)	49.1%	36.9%	14.1%	0.0%
6	1 (11)	69.9%	29.8%	0.3%	0.0%
	2 (12)	61.5%	35.7%	2.8%	0.0%
7	1 (13)	73.7%	25.7%	0.6%	0.0%
	2 (14)	55.2%	43.2%	1.5%	0.0%
8	1 (15)	30.8%	43.6%	25.5%	0.3%
	2 (16)	53.2%	44.6%	2.2%	0.3%
9	1 (17)	59.8%	30.0%	10.3%	0.3%
	2 (18)	32.3%	38.6%	29.1%	0.3%
10	1 (19)	30.5%	67.2%	2.3%	0.3%
	2 (20)	59.0%	40.0%	1.0%	0.3%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	5-1	5-2	5-3	6-1	6-2	7-1	7-2	8-1	8-2	9-1	9-2	10-1	10-2	平均
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	通過率
100%	13	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95～100%	39	1	3	0	51	0	0	7	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
90～95%	43	12	12	0	48	0	0	12	0	1	3	5	4	0	0	0	4	0	0	0	0
85～90%	12	9	20	1	11	0	0	13	5	1	3	7	7	0	2	2	9	1	0	1	0
80～85%	7	26	17	0	2	0	1	24	5	2	10	8	16	2	1	2	7	0	0	0	1
75～80%	5	31	15	1	0	0	0	15	15	3	22	7	32	3	0	7	12	0	0	6	2
70～75%	1	21	16	0	0	1	0	16	28	4	28	11	30	3	2	4	8	3	0	15	3
65～70%	2	14	20	2	0	2	1	11	23	4	23	7	15	9	1	10	8	4	0	9	17
60～65%	0	6	9	4	0	5	2	8	32	9	17	11	10	23	2	11	20	6	2	28	29
55～60%	0	1	4	0	2	4	1	8	9	17	13	18	6	24	2	17	11	4	0	23	38
50～55%	0	1	2	3	0	17	9	3	4	17	3	14	1	24	10	20	13	6	4	17	21
45～50%	0	0	2	3	0	20	26	2	1	21	0	9	0	15	8	12	5	4	4	7	11
40～45%	0	0	2	9	0	43	27	0	0	21	0	13	0	11	13	21	6	9	15	12	0
35～40%	0	0	0	9	0	19	27	2	0	9	0	8	0	3	10	6	2	15	14	2	0
30～35%	0	0	0	12	0	9	19	0	0	8	0	0	1	2	13	5	5	19	20	1	0
25～30%	0	0	0	13	0	2	7	0	0	2	0	2	0	3	6	2	4	11	21	0	0
20～25%	0	0	0	15	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	13	1	4	10	21	0	0
15～20%	0	0	0	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16	1	1	8	16	0	0
10～15%	0	0	0	17	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	0	1	12	3	0	0
5～10%	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	6	1	0	0
0～5%	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	4	1	1	0
計	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校 2 年 社会 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			内 容 別	
		思考・判断	技能・表現	知識・理解	地理的分野	歴史的分野
問題数	20	7	6	7	10	10
+10%以上	1	0	1	0	1	0
±10%内	9	3	3	3	5	4
-10%以下	10	4	2	4	4	6

(2) 考察

全体について

- ア 全体では2分の1の問題が設定通過率を下回り、改善すべき状況にあるといえる。
 ・20問中、10問が設定通過率を10%以上下回っている。特に歴史的分野において6問が設定通過率を10%以上下回っている。
- イ 観点別では「知識・理解」と「思考・判断」について課題が見られる。
 ・「技能・表現」では、6問中4問が設定通過率を上回っているか同程度、「思考・判断」「知識・理解」では、7問中4問が設定通過率を10%以上下回っている。

成果

- ア 一つの資料を読み取ったり資料を作成するなど力が付いてきている。
 ・設定通過率を10%以上上回った5)や設定通過率に近い8)の問題は一つの資料を読み取ったり、資料を作成したりする「技能・表現」の問題である。地図やグラフなどを中心に、一つの資料をじっくり扱う学習が展開されていると思われる。

課題

- ア 二つ以上の資料を比較したり関連付けたりする力や関連する資料を選択する力など複数の資料を活用し思考する力が不足している。
 ・6)7)は地図と文章資料等から読み取ったことを活用し、思考する問題、18)は写真資料と文章資料を関連付けて考える問題である。いずれも複数資料を分析して答える問題である。特に18)は未記入率29.1%となっていて、課題がある。
- イ 地理的分野の学習を進める上での座標軸となる基礎的知識が定着していない。
 ・4)は世界の主な国の位置を赤道との関連で理解しているかどうかをみる問題であるが、昨年度の通過率39.6%からさらに25.3%に落ち込んでいる。
- ウ 歴史の大きな流れをとらえることに課題がある。
 ・11)12)は時代の大きな流れをとらえるための基礎となる時代区分についての問題であるが、設定通過率を10%以上下回っている。

(3) 今後の指導

- ア 情報を自分のものにしていく学習を進める。
 ・社会科の学習では資料を読み取って考察、解釈し表現する学習が大切となる。その入り口が、必要感や切実感のある学習問題である。このような学習問題は、自分としての意見をもととする意欲を高める。さらに、資料の意味を解釈し自分のものにしていく学習過程と、自分の考えや意見が認められたり評価される場が必要である。どうしても追究したい、伝えたいという意欲があってこそ資料を活用する力が付く。
- イ 地理的分野の座標軸となる知識を有用感をもたせながら身に付け定着させる。
 ・地理的分野では地図帳などの資料を活用して、生徒が作業的学習を通して知識を獲得していくことができるよう工夫する必要がある。例えば、地理的分野の学習を進める上での座標軸となる赤道、本初子午線などを含めた大まかな世界地図や日本地図を、各国の位置や都道府県の位置を確認しながら描く学習などが重要である。また、身に付けた知識が様々な学習の場面で活用できることを体験させることで、有用感を感じさせることが肝要である。
- ウ 年表を活用して時代の特色と流れをとらえるための学習を進める。
 ・時代の特色をとらえるために年表を活用した指導を工夫する。例えば、年表上に記された出来事について、関連資料を調べ歴史的事象としての基本的な内容を理解する。次に、年表を活用し比較できる以前の出来事を見つけ、何がどう変わったのか変化を読みとる。さらに、原因や背景を調べ、結果や影響にも目を向ける。最後に、全体として何が分かるのかをまとめる。年表をこのように活用することが、時代の流れをとらえさせることになる。

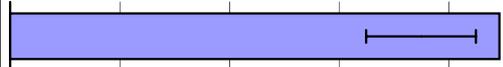
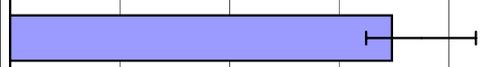
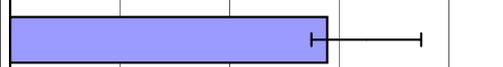
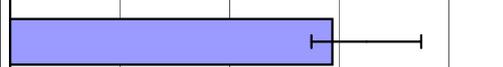
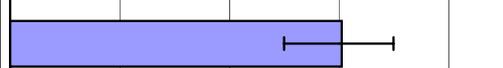
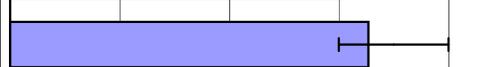
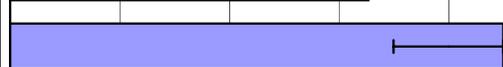
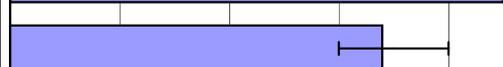
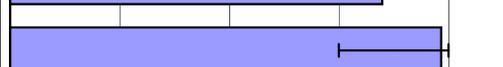
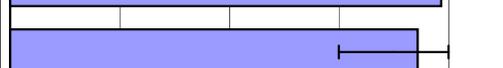
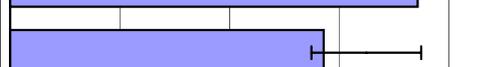
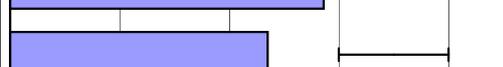
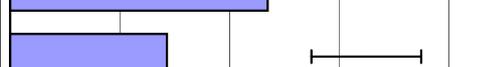
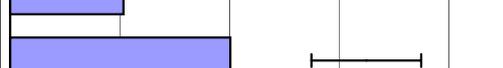
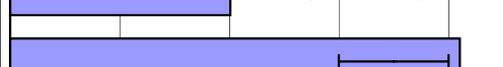
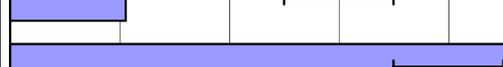
中学校 第3学年
社 会

中学校3年 社会 評価規準と評価の観点

内 容	評 価 規 準	通し番号	観 点		
			思考 ・ 判断	技能 ・ 表現	知識 ・ 理解
(2)ウ	・世界の国々の地理的事象を基にして設定した課題を、地域の環境条件と人間の営みとのかかわりに着目して多面的・多角的に考察している。	(2)			
(2)ウ	・国家規模の地域的特色をとらえる課題を追究するための視点や方法を考察し、適切に選択している。	(3)			
(2)ウ	地 理	・世界の国々の地域的特色をとらえるために、地図の読み取り、統計のグラフ化や地図化などを通して、学習に役立つ情報を適切に活用している。	(1)		
(2)ウ		(6)			
(2)ウ	地 理 的	・世界の国々の地域的特色を追究し考察した過程や結果を地図化したり、報告書などにまとめたりしている。	(5)		
(2)ウ		・国家規模の地域的特色を地図や統計、その他の資料を用いてとらえる視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。	(4)		
(3)ア	野	・世界と日本を比較し関連付けて、地域的特色を明らかにする視点や方法を理解し、それらの知識を身に付けている。	(8)		
(3)イ		・世界的視野からみた日本の地域的特色を、人口の観点から多面的・多角的に考察している。	(7)		
(3)イ		・日本の国土に関して設定した課題を考察するための資料や情報を適切に選択し、相互に関連付けて活用している。	(10)		
(3)イ		・自然環境や生活・文化の観点から、世界と比較し関連付けてとらえた日本の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	(9)		
(5)イ	歴 史 的 分 野	・明治政府の方針を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	(11)		
(5)イ		・明治維新の経緯のあらましを理解するとともに、近代国家の基礎が整えられたことに気付き、その知識を身に付けている。	(12)		
(5)イ		・明治維新の経緯のあらましに関する資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、考察した結果を説明している。	(13)		
(5)イ		・明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	(14)		
(5)オ		・我が国の近代産業の発展の変化を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	(15)		
(5)エ		・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の歴史のあらましに関する写真や新聞記事などの基礎的資料を収集し、活用するとともに、考察した結果を説明している。	(16)		
(5)キ		・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の歴史の大きな流れを理解している。	(17)		
(5)キ		・昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の歴史の大きな流れを理解している。	(18)		
(1)イ	・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域の歴史に関する様々な資料を収集し、活用している。	(19)			
(1)イ	・身近な地域の具体的な事柄とかかわらせて、我が国の歴史を理解している。	(20)			

中学校3年 社会 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 60.6%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	多民族国家と人種	89.3%	75.0%	
2	米国で日本車が多い理由と調べ方	69.7%	75.0%	
3	貿易黒字の意味	57.9%	65.0%	
4	我が国の国土面積と人口	58.8%	65.0%	
5	国民所得と自動車保有台数との関係	60.5%	60.0%	
6	南半球の都市の雨温図	65.4%	70.0%	
7	我が国の年齢別人口構成の推移	90.0%	80.0%	
8	世界の人口と人口爆発の意味	67.9%	70.0%	
9	我が国の地理的特色	78.7%	70.0%	
10	主題図(地形・人口)の組合せ	74.4%	70.0%	
11	明治政府の政策	57.2%	65.0%	
12	地租改正の内容	47.0%	70.0%	
13	内閣総理大臣の出身藩	28.6%	65.0%	
14	藩閥政治と倒幕の関係	20.7%	60.0%	
15	世界恐慌の影響	40.2%	65.0%	
16	我が国の近代工業の発展	82.1%	70.0%	
17	昭和初期からの主の出来事と資料	78.8%	70.0%	
18	軍部の台頭と第二次世界大戦までの経緯	21.1%	60.0%	
19	身近な地域の歴史の調査方法	91.1%	80.0%	
20	秋田県における戊辰戦争	33.3%	70.0%	

※  は設定通過率±10%を示している。

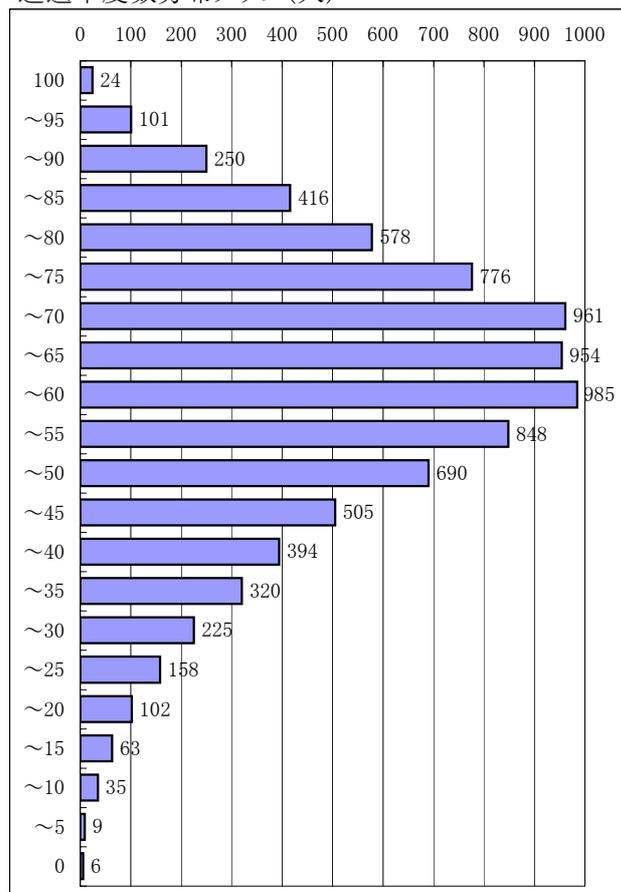
中学校3年 社会

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	89.3%	10.6%	0.2%	0.0%
	2 (2)	69.7%	30.0%	0.2%	0.0%
	3 (3)	57.9%	41.1%	1.1%	0.0%
2	1 (4)	58.8%	40.3%	0.9%	0.0%
	2 (5)	60.5%	14.7%	24.8%	0.0%
	3 (6)	65.4%	33.9%	0.7%	0.0%
3	1 (7)	90.0%	9.7%	0.3%	0.0%
	2 (8)	67.9%	31.4%	0.7%	0.0%
4	1 (9)	78.7%	20.6%	0.7%	0.0%
	2 (10)	74.4%	25.2%	0.4%	0.0%
5	1 (11)	57.2%	42.5%	0.3%	0.0%
	2 (12)	47.0%	52.7%	0.3%	0.0%
	3① (13)	28.6%	68.0%	3.4%	0.0%
	3② (14)	20.7%	65.8%	13.5%	0.0%
6	(15)	40.2%	58.9%	0.9%	0.0%
	(16)	82.1%	17.2%	0.7%	0.0%
7	1 (17)	78.8%	20.8%	0.4%	0.0%
	2 (18)	21.1%	78.4%	0.5%	0.0%
8	1 (19)	91.1%	8.5%	0.4%	0.0%
	2 (20)	33.3%	45.5%	21.2%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3-1	5-3-2	6		7-1	7-2	8-1	8-2	平均
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	通過率
100%	4	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	11	0	0
95～100%	13	0	3	0	1	0	30	5	3	0	0	0	1	0	0	4	2	0	20	0	0
90～95%	51	1	1	1	1	0	54	9	10	2	2	0	3	0	0	12	6	0	62	0	0
85～90%	40	3	7	1	1	2	24	11	23	9	0	1	3	0	0	28	24	0	30	1	0
80～85%	14	16	3	4	2	6	10	18	33	19	1	1	1	0	0	41	27	0	3	0	1
75～80%	5	18	4	2	11	12	5	13	26	35	9	1	1	1	0	26	35	0	2	1	1
70～75%	1	28	9	13	17	19	1	13	18	33	8	2	0	0	0	14	20	0	0	0	8
65～70%	0	27	15	10	25	33	1	4	11	20	11	5	0	1	2	0	8	0	0	0	11
60～65%	1	22	17	27	18	22	0	13	4	7	16	6	3	1	2	2	3	0	1	4	54
55～60%	0	9	17	24	19	17	0	7	1	3	25	12	1	5	2	0	1	1	0	9	37
50～55%	0	2	15	29	15	10	0	11	0	1	25	22	2	2	17	1	0	2	0	5	15
45～50%	0	2	13	10	3	6	1	5	0	0	14	22	2	3	15	0	1	0	0	8	2
40～45%	0	1	10	6	5	1	0	13	0	0	10	22	6	5	26	0	0	2	0	11	0
35～40%	0	0	5	1	4	0	0	3	0	0	6	13	12	3	23	0	0	1	0	10	0
30～35%	0	0	6	0	3	0	0	2	0	0	1	16	7	4	32	0	0	7	0	18	0
25～30%	0	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	4	11	8	9	0	0	17	0	11	0
20～25%	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	19	12	1	0	0	34	0	18	0
15～20%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	22	20	0	0	0	39	0	12	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	35	0	0	0	16	0	12	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	21	0	0	0	8	0	8	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	0	0	0	2	0	1	0
計	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129

※1学年20人以上データを提出した学校

中学校3年 社会 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			内 容 別	
		思考・判断	技能・表現	知識・理解	地理的分野	歴史的分野
問題数	20	7	7	6	10	10
+10%以上	4	2	2	0	2	2
±10%内	10	3	4	3	8	2
-10%以下	6	2	1	3	0	6

(2) 考察

全体について

- ア 全体では3割の問題が設定通過率を下回り、改善すべき状況にあるといえる。
 ・20問中、6問が設定通過率を10%以上下回っている。それらはすべて歴史的分野である。
- イ 観点別では「思考・判断」と「技能・表現」についてはおおむね良好な状況であるが、「知識・理解」については課題が見られる。
 ・「技能・表現」では、7問中6問が上回っているか同程度、「思考・判断」では、7問中6問が上回っているか同程度、「知識・理解」では、6問中3問が設定通過率を10%以上下回っている。

成果

- ア 資料の読み取りなど資料を活用する力や調べる計画を立てる力が付いてきている。
 ・設定通過率を10%以上上回った1)19)や10%近く上回った17)の問題は「技能・表現」の問題である。地図や史料などを中心に資料の読み取りや活用する学習及び見学調査などの学習が普段から実践され、力を付けてきていると思われる。

課題

- ア 二つ以上の資料を関連付けたり条件に合わせて読み取ったりするなど、複数の資料を活用して思考する力が不足している。
 ・5)は条件に従って資料を読み取る問題であり、ほぼ設定通過率に近いが、誤答の他に未記入率が24.8%と多かった。13)14)も条件に従って資料を読み取り、推論する問題であり設定通過率を10%以上下回っている。
- イ 歴史の流れを理解することや歴史的事象を関連させて考える力が不足している。
 ・18)は昭和初期から第二次世界大戦までの歴史の流れを問う問題であるが、設定通過率を10%以上下回っている。15)は世界恐慌と輸出入の推移との関連がつかめず、設定通過率を10%以上下回っている。

(3) 今後の指導

- ア 情報を自分のものにし、根拠を示す学習を進める。
 ・社会科の学習では、資料を読み取って考察、解釈し表現する学習が大切となる。その入り口が、必要感や切実感のある学習問題である。このような学習問題は、自分としての意見をもととする意欲を高める。さらに、資料の意味を解釈し自分のものにしていく学習過程と、自分の考えや意見が認められたり評価される場が必要である。どうしても追究したい、伝えたいという意欲があってこそ資料を活用する力が付く。
- イ 年表を活用しながら近現代史の学習の一層の充実を図る。
 ・近現代史の学習の一層の充実が求められる。用語を網羅的に扱うのではなく、年表を活用した指導の工夫が必要である。例えば、比較できる出来事を年表から見つけて調べ、何がどう変わったのか変化を読み取るなどして関連させる。原因や背景、結果や影響を調べ、全体として分かったことをまとめる学習を展開する。
- ウ 地理的分野の複数データで構成された資料の読み取りを鍛える。
 ・普段の学習で資料の読み取り方法を指導する。第一に表題や、縦軸横軸の項目、単位等を読んで資料の輪郭を押さえ、次に増減など全体を読む。さらに、部分を比較しながら分析的に読み取り、問いを出しながら批判的に読んでいく。最後に総合的に読み取って何がいえるか自分の言葉でまとめる。このような学習を繰り返すことで、複数のデータで構成されているグラフなどを読み取る力を付ける。

小学校 第4学年
算 数

小学校4年 算数 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し 番号	観 点		
				考 え 方	表 現 ・ 処 理	知 識 ・ 理 解
A 数と計算	(1)アイウ 数の表し 方	・ 万の単位までの数の大きさをよんだり表したりすることができる。	(4)			
		・ 一つの数を10で割った大きさをつくることができる。	(5)			
	(2)アイウ 加法と減 法	・ 加法の暗算をする際の計算の仕方を考える。	(6)			
		・ 3位数の減法の計算が確実にできる。	(1)			
	(3)アイウ 乗法	・ 整数の乗法の意味について理解し、乗法の計算が、どのような 場面で用いられるのかを理解している。	(8)			
		・ 2位数に2位数をかける計算が確実にできる。	(3)			
		・ 整数の乗法に関して成り立つ性質について理解している。	(7)			
	(4)アイウ 除法	・ 整数の除法の計算の仕方について、整数の乗法の計算の仕方を 基にして考える。	(11)			
		・ 除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできる。	(2)			
		・ 整数の除法の意味について理解し、除法の計算が、どのような 場面で用いられるのかを理解している。	(9)			
B 量と測 定	(1)アイウ 工 長さ、か さ、重さ の単位と 測定	・ かさの比較や測定の方法について、任意単位による比較を用い て考える。	(13)			
		・ 重さの単位を用いて測定することができる。	(12)			
		・ かさの大きさについて豊かな感覚をもっている。	(14)			
	(3)アイ 時間	・ 必要な時刻や時間を求めることができる。	(10)			
C 図 形	(1)アイ 基本的な 図形	・ 長方形を貼り合わせ、箱の形を構成することができる。	(18)			
		・ 箱の形をしたものの頂点、辺、面という構成要素やそれらの個 数や形について理解している。	(17)			
		・ 四角形を直角や辺の長さに着目して分類したり、紙を折って正 方形、長方形を作ったりすることができる。	(16)			
		・ 直角三角形の意味を理解している。	(15)			
D 数 量 関 係	(1)アイ 資料の整 理、表と グラフ	・ 資料をよみとり、棒グラフに表すことができる。	(20)			
		・ 簡単な二次元の表の見方を理解している。	(19)			

小学校4年 算数 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 79.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	3位数の減法	87.3%	90.0%	
2	除数と商が共に1位数である除法	95.5%	90.0%	
3	2位数×2位数の計算	75.6%	80.0%	
4	十進位取り記数法	93.3%	90.0%	
5	一つの数を10で割った大きさ	98.5%	90.0%	
6	加法の暗算	65.1%	80.0%	
7	かけ算のきまり	93.0%	90.0%	
8	整数の乗法の適用場面	84.0%	80.0%	
9	整数の除法の立式	74.5%	80.0%	
10	時刻と時間	75.9%	80.0%	
11	整数の除法の計算の仕方	79.3%	80.0%	
12	重さの測定	83.5%	80.0%	
13	任意単位によるかさの比較	65.0%	70.0%	
14	かさの大きさの単位	54.4%	70.0%	
15	直角三角形の弁別	60.5%	70.0%	
16	正方形の意味	86.6%	80.0%	
17	箱の形の特徴	65.7%	70.0%	
18	箱の形の構成	96.2%	90.0%	
19	二次元の表の見方	89.3%	80.0%	
20	棒グラフのかき方	61.5%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

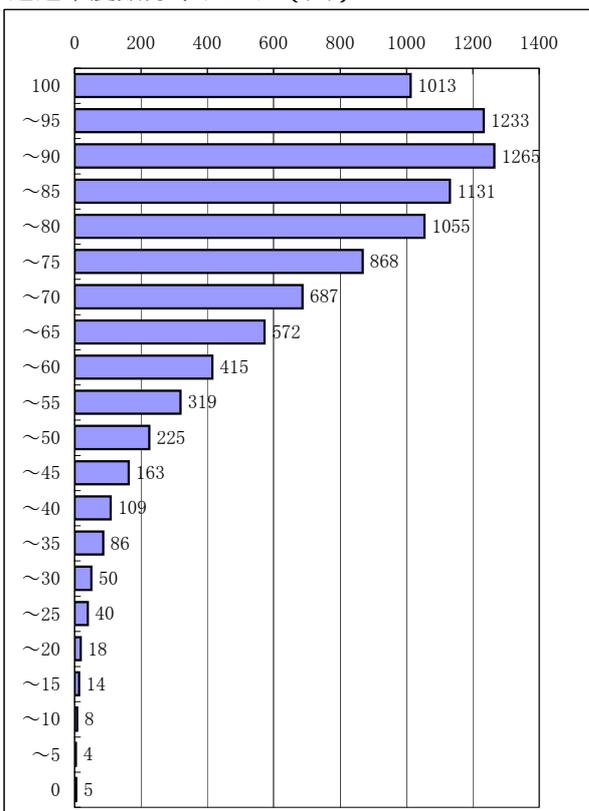
小学校4年 算数

小問別反応率

通し番号	1 (通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4 (未履修)	
1	1 (1)	87.3%	12.5%	0.2%	0.0%
	2 (2)	95.5%	4.3%	0.2%	0.0%
2	(3)	75.6%	24.0%	0.5%	0.0%
3	1 (4)	93.3%	6.5%	0.2%	0.0%
	2 (5)	98.5%	1.3%	0.1%	0.0%
4	(6)	65.1%	34.6%	0.3%	0.0%
5	(7)	93.0%	6.5%	0.5%	0.0%
6	(8)	84.0%	15.7%	0.2%	0.0%
7	(9)	74.5%	24.9%	0.6%	0.0%
8	(10)	75.9%	23.8%	0.3%	0.0%
9	(11)	79.3%	19.4%	1.3%	0.0%
10	(12)	83.5%	16.1%	0.4%	0.0%
11	(13)	65.0%	31.6%	3.4%	0.0%
12	(14)	54.4%	44.8%	0.9%	0.0%
13	(15)	60.5%	39.1%	0.4%	0.0%
14	(16)	86.6%	12.7%	0.7%	0.0%
15	(17)	65.7%	32.8%	1.5%	0.0%
16	(18)	96.2%	3.5%	0.3%	0.0%
17	(19)	89.3%	9.3%	1.4%	0.0%
18	(20)	61.5%	37.6%	0.9%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	2	3-1	3-2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	平均通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	15	51	4	23	105	0	30	5	3	2	7	15	0	0	1	16	0	56	11	0	0
95～100%	17	69	0	52	54	1	56	12	5	3	9	24	0	1	1	18	3	57	39	3	0
90～95%	36	29	15	54	4	5	41	22	6	9	21	29	7	1	4	33	10	45	35	1	6
85～90%	38	12	28	23	2	5	14	38	9	22	27	27	14	1	6	38	9	6	39	4	28
80～85%	30	4	23	11	0	10	16	44	30	22	31	22	14	6	7	26	12	0	24	10	44
75～80%	16	0	18	1	0	12	5	22	29	38	18	18	15	7	7	19	16	1	9	10	46
70～75%	11	0	27	0	0	14	3	16	27	22	17	6	12	10	20	5	21	0	4	17	29
65～70%	0	0	24	1	0	35	0	2	26	20	9	9	29	13	15	4	15	0	2	26	9
60～65%	0	0	11	0	0	32	0	3	13	15	17	4	20	16	26	5	20	0	0	18	3
55～60%	2	0	4	0	0	21	0	1	10	6	6	2	13	19	25	1	13	0	0	24	0
50～55%	0	0	2	0	0	15	0	0	4	4	3	4	13	29	23	0	20	0	1	23	0
45～50%	0	0	5	0	0	7	0	0	2	0	0	3	7	24	8	0	12	0	0	11	0
40～45%	0	0	3	0	0	5	0	0	0	1	0	0	4	12	5	0	8	0	0	10	0
35～40%	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	11	11	7	0	4	0	0	4	0
30～35%	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	9	7	0	1	0	0	3	0
25～30%	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	1	0	0	1	0
20～25%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

※1学年20人以上データを提出した学校

6 小学校4年 算数 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領 域 別			
		考え方	表現・処理	知識・理解	数と計算	量と測定	図 形	数量関係
問 題 数	20	4	9	7	10	4	4	2
+10%以上	0	0	0	0	0	0	0	0
±10%内	18	3	9	6	9	3	4	2
-10%以下	2	1	0	1	1	1	0	0

(2) 考察

全体について

- ア 一般的な学習状況はおおむね良好といえる。
 - ・平均通過率は設定通過率とほぼ同程度である。各校で学習内容の確実な定着を目指した授業づくりが行われている。また、学力向上対策のための時間が特設され、基礎的・基本的な計算等についての習熟が図られている。
- イ 量感を豊かにしたり、身に付けた知識を適用する力がやや不足している。
 - ・小問別通過率度数分布表をみると、量と測定についての設問(13)(14)で通過率の分散が大きい。量感覚と測定に関する基礎的な内容の理解については、まだ学校間で差が見られる。

成果

- ア 各領域の基礎的・基本的な内容の確実な定着が見られる。
 - ・1)～5)の平均通過率をみると、基本的な計算については確実な定着が図られている。ただし、3)の2位数どうしの乗法に関する問題については、県全体で80%の平均通過率を今後目指していきたい。
 - ・過去に出題された問題(7)12)18)等については、平均通過率を経年比較してみると、年々上昇している。

課題

- ア 「量と測定」の領域の指導の改善が必要である。
 - ・時刻と時間(10)かさの問題(13)14)直角三角形の弁別(15)棒グラフをかく(20)については平均通過率が設定通過率を下回っており、指導の改善が必要である。そのための一つとしては、実生活に結びつけた指導の工夫を行い、豊かな量感や多様な見方・考え方を育てていきたい。例えば、普段目にする牛乳パックやペットボトルに入る水のかさを基にするなど、身近な具体物と量の大きさを結び付けておき、そのことを手掛かりとして考えさせる活動も効果的である。
- イ 計算の形式的な処理だけでなく意味理解を図りたい。
 - ・加法の暗算(6)については、答えの見積もりをする活動を繰り返し設定するなどして、定着を図っていきたい。また、計算の意味理解については、算数的活動(図や絵や操作)と計算方法を関連付けた指導を大切にしたい。

(3) 今後の指導

- ア 作業的・体験的な活動を重視したい。
 - ・数量や図形に関する豊かな感覚を養うために、算数的活動の中でも特に作業的・体験的な活動を重視した取り組みを継続する必要がある。その活動を通して気付いたことや大切なことを分かりやすくまとめ、さらに、身に付けたことを活用するための練習問題を充実させることにより、学習内容の確実な定着を図ることが大切である。
- イ 個に応じた指導のさらなる充実を図りたい。
 - ・個に応じた指導は、授業の中で一人一人を活性化させる指導のことである。形態を工夫したり、個人差に応じたきめ細かな配慮で、子ども一人一人が一時間いっぱい集中して取り組む授業を工夫したい。また、定着が必要な学習内容については、学び直しや繰り返し指導を大切にしながら、学習への意欲が継続する取り組みを工夫・開発していく必要がある。

小学校 第5学年
算 数

小学校 5 年 算数 評価規準と評価の観点

領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				考 え 方	表 現 ・ 処 理	知 識 ・ 理 解
数 と 計 算	(1)ア 整数の表し 方	・ 整数が十進位取り記数法によって表されているという仕組みについて理解している。	(7)			
	(2)アイ 概数と四捨 五入	・ 数を概数(およその数)としてとらえる見方について考え、目的に応じてどの程度の概数にすればよいかを判断する。	(14)			
		・ 四捨五入を用いてある位までの概数にすることができる。	(5)			
	(3)アイ 整数の除法	・ 3位数を2位数で割る計算が確実にできる。	(2)			
		・ 整数の除法の計算で、10を単位として数の大きさをとらえ、計算の仕方考えることができる。	(8)			
	(4)イウ 小数の意味 とその計算	・ 1/10の位までの小数の減法の計算ができる。	(1)			
		・ 相対的な大きさから小数をとらえることを通して小数についての豊かな感覚をもっている。	(4)			
(5)ア 分数の意味 と表し方	・ 1より小さい大きさや等分した大きさを分数を用いて表すことができる。	(9)				
B 量 と 測 定	(1)アイ 面積	・ 単位となる大きさを基にして、面積の大きさを表す方法を考える。	(13)			
		・ 身の回りにある具体物の面積の大小をとらえるなど、面積の大きさについての豊かな感覚をもっている。	(10)			
	(2)ア 角の大きさ	・ 分度器を用いて角の大きさを測定したり必要な角の大きさを作図したりすることができる。	(16)			
C 図 形	(1)アウ 基本的な平 面図形	・ 辺の長さの相等関係に着目して、二等辺三角形を見つける。	(12)			
		・ コンパスや定規を使って、形も大きさも同じ二等辺三角形や正三角形を作図することができる。	(17)			
		・ 円について中心、直径、半径という用語を知り、円の意味を理解している。	(11)			
D 数 量 関 係	(1)ア 伴って変わ る二つの数 量	・ 二つの数量の関係について、対応する数量があることに着目し、その対応のきまりを見だし、それらの関係を考える。	(20)			
		・ 伴って変わる二つの数量の関係の調べ方について理解している。	(19)			
	(2)ア 数量の関係 の式	・ 四則の混合した式について正しく計算することができる。	(3)			
		・ 数量の関係を式で簡潔に表したり、よんだりする方法を理解している。	(6)			
	(3)アウ 資料の分類 整理とグラ フ	・ 折れ線グラフから資料の統計的な特徴や傾向をよみとったり調べたりすることができる。	(18)			
		・ 目的に応じて資料を集め、二つの観点から分類整理する方法を理解している。	(15)			

小学校5年 算数 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 80.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	1/10の位までの小数の減法	94.4%	90.0%	
2	3位数を2位数で割る計算	89.4%	80.0%	
3	四則の混合した計算	88.0%	80.0%	
4	小数の相対的な大きさ	98.2%	90.0%	
5	一万の位までの概数	90.3%	80.0%	
6	数量の関係と式	83.9%	70.0%	
7	一億の位と位取り記数法	64.3%	70.0%	
8	10を単位とした整数の除法の計算	72.8%	60.0%	
9	1ℓの4/7の量	85.4%	80.0%	
10	面積の量感	56.8%	60.0%	
11	円の直径と半径	76.1%	70.0%	
12	二等辺三角形の性質	49.6%	60.0%	
13	12cm ² の面積の図形	77.0%	70.0%	
14	目的に応じた概数	57.7%	60.0%	
15	二つの観点から表を見る	90.6%	80.0%	
16	角の大きさの測定	93.0%	80.0%	
17	二等辺三角形の作図	93.1%	80.0%	
18	折れ線グラフの読み取り	90.3%	80.0%	
19	伴って変わる二つの数量①	93.1%	80.0%	
20	伴って変わる二つの数量②	69.0%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

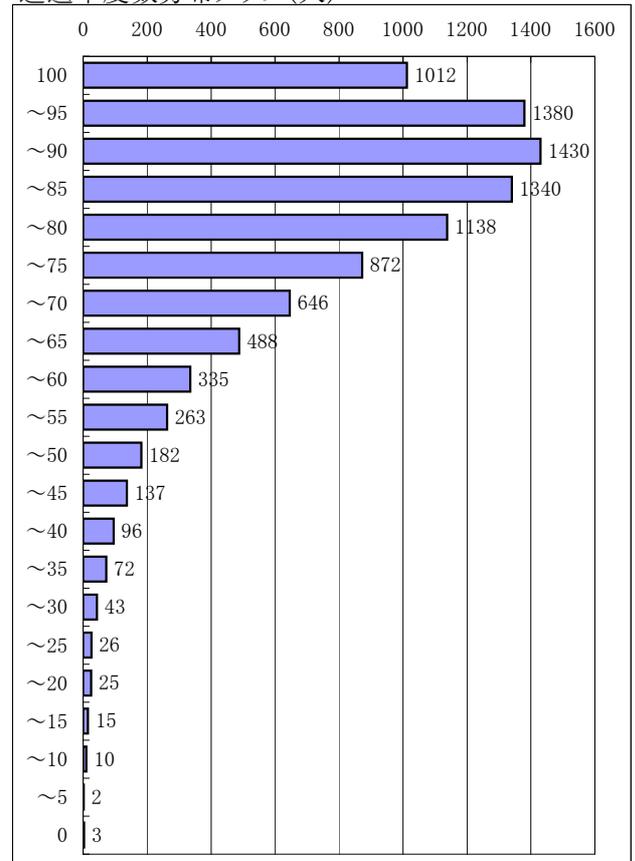
小学校5年 算数

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	94.4%	5.4%	0.1%	0.0%
	2 (2)	89.4%	9.5%	1.1%	0.0%
	3 (3)	88.0%	11.7%	0.3%	0.0%
2	1 (4)	98.2%	1.7%	0.1%	0.0%
	2 (5)	90.3%	9.3%	0.3%	0.0%
3	(6)	83.9%	15.7%	0.5%	0.0%
4	(7)	64.3%	35.2%	0.5%	0.0%
5	(8)	72.8%	24.9%	2.3%	0.0%
6	(9)	85.4%	14.3%	0.3%	0.0%
7	(10)	56.8%	42.9%	0.3%	0.0%
8	(11)	76.1%	23.0%	0.9%	0.0%
9	(12)	49.6%	47.5%	2.9%	0.0%
10	(13)	77.0%	22.1%	1.0%	0.0%
11	(14)	57.7%	40.7%	1.6%	0.0%
12	(15)	90.6%	8.3%	1.0%	0.0%
13	1 (16)	93.0%	6.8%	0.2%	0.0%
	2 (17)	93.1%	6.5%	0.5%	0.0%
14	(18)	90.3%	9.3%	0.4%	0.0%
15	1 (19)	93.1%	6.3%	0.6%	0.0%
	2 (20)	69.0%	29.6%	1.3%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13-1	13-2	14	15-1	15-2	平均
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	通過率
100%	29	17	16	90	24	5	0	2	22	1	2	0	1	0	17	28	35	9	25	5	0
95~100%	60	33	32	59	46	11	2	7	26	3	6	1	1	5	37	39	37	25	42	4	4
90~95%	51	48	37	16	38	24	7	10	31	6	13	2	18	0	48	54	58	61	63	2	7
85~90%	22	36	32	0	25	32	6	19	26	6	17	2	29	5	38	27	22	46	22	11	38
80~85%	2	20	24	0	18	39	9	23	23	6	22	6	29	11	11	12	11	16	12	12	49
75~80%	1	4	11	0	6	33	12	28	8	11	41	4	31	12	6	5	2	7	1	20	29
70~75%	0	3	7	0	4	10	19	19	5	11	23	9	16	13	4	0	0	0	0	24	31
65~70%	0	1	2	0	3	7	18	16	10	22	16	8	10	19	2	0	0	0	0	24	5
60~65%	0	2	3	0	1	2	23	17	3	13	16	15	12	20	0	0	0	0	0	25	2
55~60%	0	1	1	0	0	2	21	9	4	17	4	8	10	18	1	0	0	0	0	15	0
50~55%	0	0	0	0	0	0	17	4	3	17	2	17	5	11	0	0	0	0	0	9	0
45~50%	0	0	0	0	0	0	15	2	0	10	1	15	2	9	0	0	0	0	0	6	0
40~45%	0	0	0	0	0	0	6	4	3	8	2	28	0	9	0	0	0	0	0	5	0
35~40%	0	0	0	0	0	0	4	2	1	8	0	17	0	14	0	0	0	0	0	2	0
30~35%	0	0	0	0	0	0	3	1	0	10	0	13	0	6	1	0	0	1	0	1	0
25~30%	0	0	0	0	0	0	1	2	0	8	0	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0
20~25%	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校5年 算数 調査結果及び考察

(1) 調査結果

設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領 域 別			
		考え方	表現・処理	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係
問 題 数	20	5	8	7	8	3	3	6
+ 10 % 以上	8	1	4	3	2	1	1	4
± 10 % 内	11	3	4	4	6	2	1	2
- 10 % 以下	1	1	0	0	0	0	1	0

(2) 考察

全体について

- ア 学習の実現状況はおおむね良好で、学習内容の確実な定着が見られる。
- ・設定通過率の平均が74.0%に対して、通過率の平均が80.7%であり、6.7ポイント上回っている。全20問中16問で設定通過率より上回っている。
 - ・通過率が80%を超えたのは1)～6)、9)、15)～19)の11問、そのうち90%を超えたのは1)、4)、5)、15)、17)、18)、19)の7問である。
 - ・13)の「 12cm^2 の面積の図形をつくる」は国際調査(TIMSS2003)の類似問題であるが、平均通過率は77.0%であり、国の通過率68.0%を9ポイント上回っている。

成果

- ア 「加減乗除のきまり」を含めた計算の習熟を意識した授業の改善が進んでいる。
- ・昨年度の課題で「四則の混合した計算の通過率が76.8%で低い。」とあったが、今年度は88.0%に向上したほかに、1)の小数の減法が94.4%、2)の3位数を2位数で割る計算で89.4%と計算3問はすべて90%程度の通過率となった。昨年度の反省を踏まえた授業づくりが進められていることがうかがえる。
- イ 「表現・処理」「知識・理解」の観点で指導状況が良好である。
- ・「表現・処理」で設定通過率を10ポイント以上上回っているのが5)、16)、17)、18)の4問、「知識・理解」では6)、15)、19)の3問であり、「表現・処理」「知識・理解」の着実な定着が見られる。

課題

- ア 面積の量感を問う問題が、学校によって通過率の差が大きい。
- ・10)の通過率が56.8%と低く、設定通過率から3.2ポイント下回っている。また、通過率の分布表を見ても、10～15%から95～100%と分布の幅が広がっていて、学校によって違いが出ている問題になっている。縦×横(2位数×2位数)の計算上のまちがいも十分に予想されるが、身の回りにある図形の縦と横の長さを推測し、およその面積を求める考え方が十分身に付いていない。
- イ 図形の構成要素及び位置関係に着目して考察する力が十分身に付いていない。
- ・12)の通過率が49.7%と低く、設定通過率から10.3ポイント下回っている。平面図形(切り取る前) 空間図形(切り取って広げる過程) 再度平面図形(広げた後)と考えていくことに習熟していない。
 - ・三角形の名前を答える際に「三角形」だけで終わらず、辺の長さや角の大きさに着目して、「二等辺三角形」あるいは「正三角形」、「直角三角形」になっていないかなどと考えることが十分に身に付いていない。

(3) 今後の指導

- ア 数量や図形における体験的な活動を重視した授業
- ・数量や図形に対して豊かな感覚を養うため、面積の学習では、児童が実際に身の回りにある教科書、ノート、机、黒板等の面積を確かめるなどの体験的な活動を通し、量の大きさについての感覚を育てていく必要がある。また、図形の領域では、折り紙等を実際に切り取って広げるなどの作業的・体験的な算数的活動を通して、基本的な平面図形や立体図形についての豊かな感覚を育てていきたい。
- イ 計算の習熟を意識した授業の継続
- ・今回は小数の減法、3位数÷2位数の計算、そして、四則の混合した計算で高い通過率を示している。しかし、前年度は加減乗除のきまりを適用する計算の通過率が80%を下回っていたので、引き続き計算方法の意味理解の指導も大切にしながら、計算の習熟を意識した授業を続けていきたい。また、つまづいている子どもへの支援を行い、個に応じた指導も充実させたい。

小学校 第6学年
算 数

領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				考 え 方	表 現 ・ 処 理	知 識 ・ 理 解
A 数 と 計 算	(1)ア 偶数と奇数	・整数を2で割ったときの余りに着目して整数の集まりを二つに分類することを考える。	(7			
	(3)アイウ 小数の乗 法、 除法	・(小数×整数)の計算ができる。	(1			
		・1/10の位までの小数どうしの乗法の計算ができる。	(2			
		・1/10の位までの小数どうしの除法の計算ができる。また、余りを求めることができる。	(3			
		・小数の乗法がどのような場面でどのように用いられるかを理解している。	(8			
		・小数の除法がどのような場面でどのように用いられるかを理解している。	(11			
	(4)イウ 分数の加法 と減法	・分数の大きさについて、数直線に表すなどして考える。	(10			
・分数の意味を理解している。		(5				
B 量 と 測 定	(1)アイ 平面図形の 面積	・既習の求積可能な図形の求め方を基にして、面積の求め方や公式を考える。	(14			
		・平行四辺形的面積を公式を用いて求めることができる。	(13			
		・円の面積を公式を用いて求めることができる。	(15			
		・必要な部分の長さを測ることによって、円の面積が計算で求められることを理解している。	(20			
C 図 形	(1)イウ 基本的な平 面図形	・平行四辺形、台形、ひし形の意味について理解している。	(16			
		・平行四辺形の性質を基にして、作図をすることができる。	(17			
		・円周率を用いて、円周から直径を求める式を導くことができる。	(6			
		・多角形の角の大きさの和について調べたり、考えたりする。	(19			
D 数 量 関 係	(1)ア 四則に関し て成り立つ 性質	・計算の範囲を小数に広げて成り立つ、交換法則、結合法則、分配法則について理解している。	(9			
	(2)百分率	・百分率に関する基本的な計算ができる。	(4			
	(3)円グラフ、 帯グラフ	・帯グラフをよむことができる。	(12			
	(4)数量関係 の見方	・表をかいて二つの数量の対応や変化の様子にどんな特徴が見られるのかを調べたり、二つの数量の関係を言葉の式や、などを用いた式などで表したりして、数量の関係を考える。	(18			

小学校6年 算数 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 68.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	小数×整数	96.3%	90.0%	
2	小数×小数(小数第一位)	93.4%	80.0%	
3	小数÷小数(小数第一位, あまりあり)	72.8%	80.0%	
4	百分率の計算	78.2%	60.0%	
5	20の1/5の大きさ	75.3%	60.0%	
6	円周と直径の関係	52.8%	70.0%	
7	偶数と奇数	85.2%	80.0%	
8	小数の乗法の適用場面	52.7%	70.0%	
9	計算のきまり	79.6%	60.0%	
10	小数と分数の大きさ	77.3%	80.0%	
11	小数の除法の適用場面	91.5%	80.0%	
12	帯グラフのよみ	52.7%	70.0%	
13	平行四辺形の面積	81.4%	70.0%	
14	四角形の面積	34.4%	60.0%	
15	円の面積	66.9%	70.0%	
16	図形の合成	51.0%	60.0%	
17	平行四辺形の作図	73.9%	80.0%	
18	二つの数量の関係	58.5%	60.0%	
19	多角形の角の和	68.1%	60.0%	
20	円の面積の求め方	34.2%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

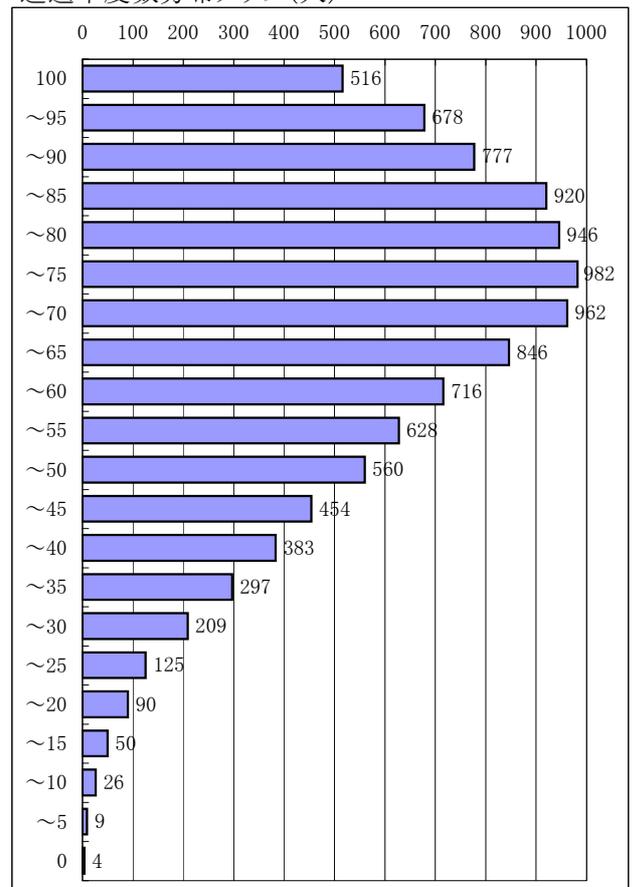
小学校6年 算数

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	96.3%	3.7%	0.1%	0.0%
	2 (2)	93.4%	6.4%	0.1%	0.0%
	3 (3)	72.8%	26.6%	0.6%	0.0%
2	(4)	78.2%	19.1%	2.7%	0.0%
3	(5)	75.3%	24.4%	0.3%	0.0%
4	1 (6)	52.8%	46.0%	1.2%	0.0%
	2 (7)	85.2%	13.4%	1.5%	0.0%
5	(8)	52.7%	46.1%	1.1%	0.0%
6	(9)	79.6%	19.9%	0.6%	0.0%
7	(10)	77.3%	22.1%	0.7%	0.0%
8	(11)	91.5%	7.6%	0.8%	0.0%
9	(12)	52.7%	47.0%	0.3%	0.0%
10	1 (13)	81.4%	17.5%	1.1%	0.0%
	2 (14)	34.4%	61.0%	4.7%	0.0%
	3 (15)	66.9%	31.2%	1.9%	0.0%
11	(16)	51.0%	48.6%	0.4%	0.0%
12	(17)	73.9%	25.2%	0.9%	0.0%
13	(18)	58.5%	41.0%	0.5%	0.0%
14	(19)	68.1%	31.3%	0.6%	0.0%
15	(20)	34.2%	65.1%	0.7%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	1-3	2	3	4-1	4-2	5	6	7	8	9	10-1	10-2	10-3	11	12	13	14	15	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	62	30	6	4	8	0	8	1	1	2	28	0	3	0	0	0	1	2	1	0	0
95~100%	63	50	13	7	18	1	31	2	3	9	39	0	10	0	1	0	2	0	3	1	0
90~95%	47	57	20	20	22	4	35	0	14	12	56	1	22	0	3	2	10	0	3	0	1
85~90%	3	32	18	28	23	4	35	5	29	27	33	1	34	0	9	3	13	6	2	1	3
80~85%	0	4	16	37	22	4	24	6	45	22	13	5	35	0	19	6	21	6	18	1	17
75~80%	0	1	16	25	15	7	15	5	36	35	3	6	39	1	18	8	38	7	19	5	21
70~75%	0	0	19	14	13	6	10	8	23	27	1	6	16	1	30	7	34	10	32	2	41
65~70%	0	1	20	15	10	11	8	13	14	21	1	12	10	3	23	9	20	25	29	1	39
60~65%	0	0	10	10	11	12	4	19	6	11	0	21	1	4	21	19	14	22	25	9	30
55~60%	0	0	8	7	10	24	0	19	1	5	0	19	1	8	17	15	13	27	15	10	14
50~55%	0	0	13	7	8	26	2	20	2	2	1	33	3	14	16	22	8	23	19	10	7
45~50%	0	0	7	0	1	16	2	16	0	0	0	23	0	18	5	17	0	18	3	8	1
40~45%	0	0	0	0	3	20	1	19	1	0	0	19	0	13	4	30	1	15	4	12	1
35~40%	0	0	6	0	2	19	0	15	0	0	0	16	1	16	3	17	0	6	0	12	0
30~35%	0	0	3	0	2	11	0	14	0	1	0	7	0	17	1	10	0	3	0	22	0
25~30%	0	0	0	0	1	4	0	8	0	1	0	2	0	27	4	7	0	0	2	22	0
20~25%	0	0	0	1	1	5	0	2	0	0	0	3	0	24	1	2	0	5	0	21	0
15~20%	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	21	0
10~15%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	8	0	1	0	0	0	12	0
5~10%	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0
0~5%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
計	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校6年 算数 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領 域 別			
		考え方	表現・処理	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係
問題数	20	5	9	6	8	4	4	4
+10%以上	6	0	3	3	3	1	0	2
±10%内	9	4	4	1	4	1	3	1
-10%以下	5	1	2	2	1	2	1	1

(2) 考察

全体について

ア 学習の実現状況はおおむね良好である。

- ・設定通過率の平均が70.5%に対して、通過率の平均が68.8%であり、設定通過率とほぼ同程度であり、おおむね満足できる学習状況である。
- ・設定通過率を上回るか同程度のものが20問中15問である。

成果

ア 過去に出題された問題にかかわる指導の改善が図られている。

- ・過去に実施した本県の学習状況調査及び国の教育課程実施状況調査の類似問題として出題した11問では、7問はその通過率が過去の通過率より高く、2問は過去の通過率より低いものの同程度である。

イ 昨年度の課題であった「分数と小数についての理解」の指導が進められている。

- ・分数や小数に関連する問題9問では、7問が設定通過率を上回るかそれと同程度である。
- ・5)は2.0の1/5の量が問われた問題であり、その通過率は75.3%である。過去2年の類似問題の通過率はそれぞれ52.8%、39.1%であり、改善の傾向が顕著である。
- ・10)は小数や分数の大小関係を数直線を基に考える問題であり、その通過率は77.3%である。昨年を7.7ポイント上回り、設定通過率と同程度になった。

課題

ア 身に付けた学習内容を活用して問題を解決する力の育成が必要である。

- ・通過率が設定通過率を下回った12)、14)は、帯グラフの読み取りの問題、四角形の面積を求める問題である。分数についての状況は改善されつつあるがその活用は課題である。また、求積の際に分割、等積変形、倍積変形等の考え方について一層の定着を図りたい。

イ 学習内容の理解を深めることが必要である。

- ・10mの円周の直径を求める式が問われた6)、割合に当たる量を求める小数の乗法の式が問われた8)、円を等積変形した長方形の縦横の長さが問われた20)も通過率は、設定通過率を下回った。数値にとらわれない乗除の理解、単なる暗記でない公式の理解が求められる。

(3) 今後の指導

ア 発展的に学習を進め広げる算数指導を進めたい。

- ・既習事項を基に進め広げる算数学習の特性を生かし、問題解決の結果だけでなく、その解決に活用した考え方を児童に意識させ、定着させることが必要である。
- ・身に付けた考え方や内容を習熟させることも大事である。同様の問題を数多く繰り返すだけでなく、視点を変えた問題に出会わせるなど、学習内容の理解をより確かに定着させたり、より深めたりするための取り組みをしていきたい。

中学校 第1学年
数 学

中学校 1 年 数学 評価規準と評価の観点

領域	内 容	評 価 規 準	通 番 号	観 点		
				考 考 考	表 表 表	知 知 知
A 数 と 計 算	(1)ア 約数、倍数	・約数の意味について理解している。	(3			
		・具体的な場面に即して、整数を倍数の観点から分類して公倍数について考える。	(4			
	(2)アイウ 異分母の分数の加法、減法	・異分母の分数の減法（真分数と真分数との減法）の計算ができる。	(1			
		(3)アイウ 分数の乗法、除法	・真分数と整数の除法の計算ができる。	(2		
			・分数の除法の計算が、どのような場面でどのように用いられるのかを理解している。	(5		
(4)ア 積、商の見積もり	・目的に応じて積の概数を見積もる問題を考える。	(6				
B 量 と 測 定	(1) 概形とおよその面積	・事物を測定するなどして、体積の大きさについての豊かな感覚をもっている。	(8			
	(2)アイウ 体積	・立方体の体積を求めることができる。	(13			
		・立体（複合図形）の体積の求め方を考える。	(14			
(3)アイ 異種の二つの割合	・速さの比べ方について理解している。	(9				
C 図 形	(1)アイウ 基本的な立体図形と空間	・展開図から立方体の面と面の関係をとらえることができる。	(11			
		・展開図を基にして、直方体について考える。	(15			
		・立方体の見取り図をかくことができる。	(12			
		・構成要素の個数や面の形、辺や面の平行、垂直の関係も含めて、立方体や直方体について理解している。	(7			
D 数 量 関 係	(1) 簡単な比の意味	・比の意味について理解している。	(16			
		・二つの数量の関係を比で表したり、調べたりすることができる。	(17			
	(2)ア 比例の表とグラフ	・比例関係にある二つの数量を、グラフに表すことができる。	(19			
		・比例関係にある二つの数量を、表に表すことができる。	(18			
		・伴って変わる二つの数量の関係について考える。	(20			
(3) 平均の意味	・平均を求めることができる。	(10				

中学校1年 数学 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 73.4%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	異分母分数の減法	90.8%	90.0%	
2	分数÷整数	90.1%	80.0%	
3	約数	91.3%	80.0%	
4	公倍数の文章題	77.1%	60.0%	
5	分数の除法の演算決定	48.3%	60.0%	
6	商の見積もり	70.0%	60.0%	
7	角柱の性質	73.4%	70.0%	
8	体積の量感	32.4%	60.0%	
9	速さの比べ方	56.5%	70.0%	
10	平均の求め方	81.0%	70.0%	
11	立方体の展開図における面と面の関係	94.7%	90.0%	
12	立方体の見取図	53.6%	90.0%	
13	立方体の体積	84.7%	80.0%	
14	複合図形の体積	73.2%	70.0%	
15	直方体の展開図と辺の長さの関係	78.3%	60.0%	
16	比の意味	77.1%	60.0%	
17	比と割合の文章題	83.7%	70.0%	
18	比例の表	94.6%	80.0%	
19	比例のグラフ	77.1%	60.0%	
20	比例の識別	40.0%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

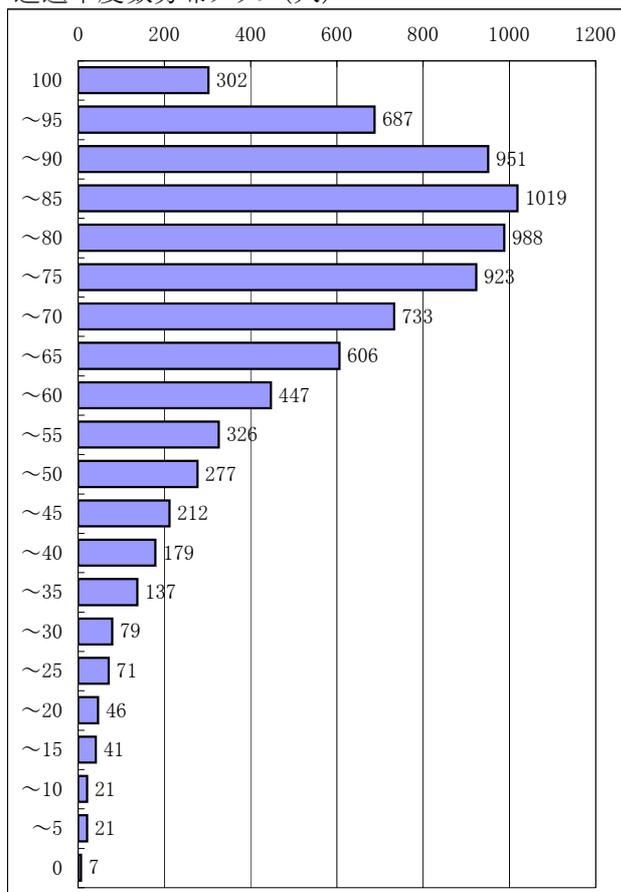
中学校1年 数学

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	90.8%	8.5%	0.7%	0.0%
	2 (2)	90.1%	9.1%	0.8%	0.0%
2	1 (3)	91.3%	7.8%	0.9%	0.0%
	2 (4)	77.1%	21.2%	1.7%	0.0%
3	1 (5)	48.3%	49.0%	2.7%	0.0%
	2 (6)	70.0%	29.3%	0.7%	0.0%
4	1 (7)	73.4%	26.4%	0.2%	0.0%
	2 (8)	32.4%	67.3%	0.3%	0.0%
5	1 (9)	56.5%	40.5%	3.1%	0.0%
	2 (10)	81.0%	17.9%	1.1%	0.0%
6	1 (11)	94.7%	5.0%	0.3%	0.0%
	2 (12)	53.6%	46.1%	0.3%	0.0%
		(13)	84.7%	14.1%	1.3%
7	(14)	73.2%	23.6%	3.1%	0.0%
8	(15)	78.3%	20.1%	1.6%	0.0%
9	1 (16)	77.1%	22.1%	0.7%	0.0%
	2 (17)	83.7%	14.0%	2.3%	0.0%
10	1 (18)	94.6%	4.2%	1.2%	0.0%
	2 (19)	77.1%	21.5%	1.4%	0.0%
	3 (20)	40.0%	59.0%	0.9%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7	8	9-1	9-2	10-1	10-2	10-3	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	
100%	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	10	7	2	0	0	0	1	9	0	0
95～100%	20	25	26	0	0	0	0	0	0	2	56	7	8	1	0	1	7	50	6	0
90～95%	58	40	51	3	0	2	3	0	0	9	48	8	24	1	7	3	15	50	10	0
85～90%	33	37	26	14	0	2	8	0	1	20	9	6	27	8	15	15	31	14	14	0
80～85%	9	15	10	20	1	5	20	0	2	35	0	1	35	16	28	24	40	1	32	0
75～80%	3	2	3	40	4	16	19	0	3	37	0	0	13	27	33	35	10	0	14	0
70～75%	0	2	2	29	3	31	33	0	4	19	0	6	9	29	22	31	18	0	14	0
65～70%	0	0	0	7	5	42	26	0	17	2	0	2	4	24	15	7	2	0	13	1
60～65%	0	0	0	9	9	15	8	2	20	0	0	2	0	13	1	6	0	0	7	3
55～60%	0	0	0	1	15	6	4	1	18	0	0	13	2	3	3	2	0	0	4	4
50～55%	0	0	0	0	20	3	2	1	22	0	1	11	0	1	0	0	0	0	3	9
45～50%	0	0	0	0	15	2	0	10	19	0	0	8	0	1	0	0	0	0	2	18
40～45%	0	0	0	1	16	0	0	17	8	0	0	9	0	0	0	0	0	0	3	21
35～40%	0	0	0	0	17	0	0	13	8	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	27
30～35%	0	0	0	0	12	0	0	30	2	0	0	17	0	0	0	0	0	0	1	25
25～30%	0	0	0	0	4	0	1	21	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1	11
20～25%	0	0	0	0	1	0	0	16	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3
15～20%	0	0	0	0	1	0	0	10	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校1年 数学 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領 域 別			
		考え方	表現・処理	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係
問題数	20	5	9	6	6	4	4	6
+10%以上	10	3	5	2	4	0	1	5
±10%内	5	1	3	1	1	2	2	0
-10%以下	5	1	1	3	1	2	1	1

(2) 考察

全体について

- ア 各領域の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が見られる。
 ・設定通過率を上回るか同程度であるものが昨年度の13問に対して今年度は15問である。そのうち10ポイント以上上回っている問題が昨年度3問に対し、今年度は10問と増えている。

成果

- ア 「数と計算」の領域についての実現状況はおおむね良好である。
 ・「数と計算」の領域の7問中6問が、設定通過率と比較して上回っている。特に、真分数と真分数の減法の計算と真分数と整数の乗法の計算の通過率は高く、確実な計算力を身に付けさせるための指導がなされている。
- イ 角柱の性質については指導の改善が見られる。
 ・角柱についての構成要素の個数や面の形、辺や面の位置関係についての問題は、通過率が73.4%と昨年度より17.7ポイント向上している。
- ウ 「数量関係」の領域についての実現状況はおおむね良好である。
 ・「数量関係」の領域の6問中5問が設定通過率と比較して上回っている。比を用いて一方の値から他方の値を求める問題や、データから平均を求める問題はよくできている。

課題

- ア 分数の除法の演算決定をする力が身に付いていない。
 ・具体的な場面から分数の除法の演算決定をする問題では、通過率が昨年度より7ポイント向上しているが、設定通過率を大きく下回っている。
- イ 身のまわりのものにの量感をとらえる力が身に付いていない。
 ・体積の量感の問題は設定通過率より27.6ポイント下回った。また、複数の選択肢の中から適当なものを選ぶということを苦手としている。

(3) 今後の指導

- ア 誤りに気付くためのストラテジーを意識させる指導を心がける。
 ・数値が分数である場合における演算決定においては、整数に置き換えて考えたり、結果を問題に当てはめて正しいのかを考察するなど、子どもが自ら解決方法を振り返り、誤りに気づき修正していけるような指導を心がける。
- イ 学習したことを活用する場面を設けることで、学習内容の確実な定着を図るよう努める。
 ・体積についての学習においては、単に体積を求めることに終始するのではなく、身の回りのものの体積を見積もったり比較したりする場面を設けるなど、学習した内容を活用する場面を授業の中に位置付け、確実な定着を図る必要がある。
 ・複数の選択肢の中から適当なものを選ぶ力を身に付けさせるために、具体的に数値を当てはめて考えたり、違うものを除いて考えたりする方法を指導する。

中学校 第2学年
数 学

中学校2年 数学 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し 番号	観 点		
				見 方 ・ 考 え 方	表 現 ・ 処 理	知 識 ・ 理 解
数 と 式	(1)アイ 正の数・負の 数	・正の数・負の数の大小関係を理解している。	(1)			
		・基準に対し反対の方向や性質を表す場面で、正の数・負の 数を用いて考えることができる。	(5)			
		・加法と乗法が混じった式の計算の規則を理解している。	(6)			
	(2)アイウ 文字と式	・簡単な一次式の減法の計算ができる。	(2)			
		・事象の中にある数量やその関係を文字式を使って表現する ことができる。	(4)			
		・文字を使って表された式から、具体的な場面や関係をよみ とることができる。	(8)			
		・事象の中にある数量やその関係・法則を文字を用いて表現 し、一般的に考えることができる。	(9)			
	(3)アイウ 一元一次方程 式	・簡単な一元一次方程式を解くことができる。	(3)			
		・一元一次方程式の解を求める方法について理解している。	(7)			
		・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、一元一次方程式 をつくることができる。	(10)			
図 形	(1)アイ 平面図形	・点対称な図形をつくったりかいたりすることができる。	(14)			
		・「作図」の方法で垂線を作図することができる。	(13)			
	(2)アイ 空間図形	・空間における平面と辺の位置関係を分類することができる。	(15)			
		・見取図を目的に応じて調べ、空間図形を平面図形に帰着さ せて考えることができる。	(11)			
(2)ウ 図形の計量	・円や扇形の弧の長さや面積、錐体の表面積を求めることが できる。	(12)				
数 量 関 係	(1)アイウエ 比例・反比例	・比例の意味や特徴を理解している。	(17)			
		・比例・反比例の関係をもとに、対応する値を求めることが できる。	(16)			
		・比例の式 $y=ax$ とそのグラフの特徴を理解している。	(18)			
		・具体的な事象の中にある二つの数量の関係を、変化や対応 の様子に着目して調べ、比例の関係になるものがあること に気付く。	(19)			
		・比例のグラフを用いて具体的な事象について考察すること ができる。	(20)			

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	正負の数の大小	69.8%	80.0%	
2	一次式の計算	81.6%	80.0%	
3	一次方程式の計算	88.5%	80.0%	
4	aリットルの5/6のかさ	60.6%	70.0%	
5	基準に対する数量の考察	65.8%	60.0%	
6	正負の数の四則計算の仕方	84.1%	70.0%	
7	一次方程式の解き方	79.5%	70.0%	
8	文字式で表された数量の意味	64.3%	60.0%	
9	文字を用いての立式	39.9%	70.0%	
10	一次方程式の立式	37.4%	60.0%	
11	円錐の展開図	26.8%	60.0%	
12	円錐の表面積	23.3%	60.0%	
13	垂線の作図	60.8%	70.0%	
14	平面図形の対称	69.1%	70.0%	
15	立体図形の面と辺の垂直	74.9%	70.0%	
16	反比例の関係にある2量	83.0%	80.0%	
17	比例の性質	47.9%	70.0%	
18	比例のグラフと式	50.1%	70.0%	
19	比例の識別	52.9%	70.0%	
20	比例の利用	47.5%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

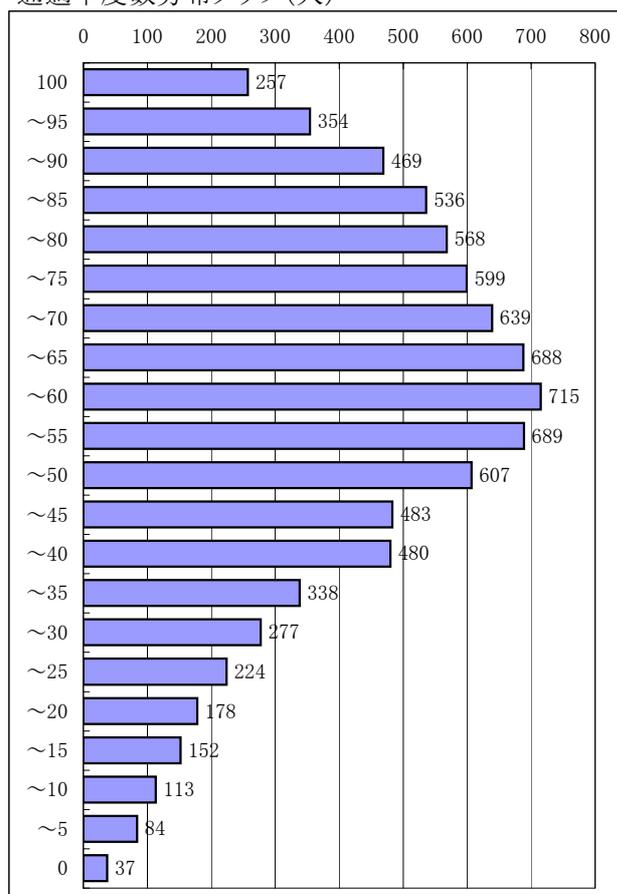
中学校2年 数学

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	69.8%	29.9%	0.3%	0.0%
	2 (2)	81.6%	17.7%	0.7%	0.0%
	3 (3)	88.5%	9.8%	1.8%	0.0%
	4 (4)	60.6%	37.3%	2.2%	0.0%
	5 (5)	65.8%	31.2%	3.0%	0.0%
2	(6)	84.1%	14.6%	1.4%	0.0%
3	(7)	79.5%	16.3%	4.2%	0.0%
4	1 (8)	64.3%	34.7%	1.0%	0.0%
	2 (9)	39.9%	48.0%	12.1%	0.0%
5	(10)	37.4%	49.8%	12.8%	0.0%
6	1 (11)	26.8%	53.5%	19.7%	0.0%
	2 (12)	23.3%	56.2%	20.5%	0.0%
7	1 (13)	60.8%	28.8%	10.4%	0.0%
	2 (14)	69.1%	29.3%	1.7%	0.0%
	3 (15)	74.9%	23.1%	2.0%	0.0%
8	1 (16)	83.0%	11.0%	6.0%	0.0%
	2 (17)	47.9%	45.2%	6.9%	0.0%
	3 (18)	50.1%	47.3%	2.6%	0.0%
9	1 (19)	52.9%	45.2%	1.9%	0.0%
	2 (20)	47.5%	47.0%	5.6%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2	3	4-1	4-2	5	6-1	6-2	7-1	7-2	7-3	8-1	8-2	8-3	9-1	9-2	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	1	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
95~100%	0	5	17	0	0	6	5	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0
90~95%	4	13	38	6	0	22	11	1	0	0	0	0	4	4	4	15	0	0	0	0	0
85~90%	2	24	37	6	2	33	21	7	0	1	0	0	4	7	14	34	1	1	1	0	1
80~85%	7	32	21	10	7	28	25	8	1	0	0	0	4	16	16	23	3	0	1	1	0
75~80%	23	28	5	6	11	18	22	12	0	1	0	0	10	17	25	24	0	2	2	1	1
70~75%	24	9	2	12	16	5	21	13	0	2	1	0	18	12	16	11	1	1	4	1	5
65~70%	24	8	1	9	26	7	10	14	3	3	1	1	9	24	23	5	6	5	6	1	29
60~65%	17	1	0	10	34	1	5	18	4	3	2	1	16	19	10	2	12	6	11	7	19
55~60%	15	0	0	12	15	0	1	15	7	6	3	0	14	9	7	0	18	22	22	19	45
50~55%	4	1	0	11	8	0	0	14	9	8	3	1	12	5	4	0	16	27	28	13	15
45~50%	1	0	0	5	1	0	1	7	13	12	4	2	12	6	0	0	11	18	29	27	4
40~45%	0	0	0	10	2	0	0	9	18	9	6	5	6	0	0	0	14	21	11	32	3
35~40%	0	0	0	7	0	0	0	2	25	20	9	15	1	0	0	0	10	5	1	9	0
30~35%	0	0	0	5	0	0	0	0	12	20	15	12	3	0	0	0	9	2	2	1	0
25~30%	0	0	0	1	0	0	0	0	8	11	19	23	2	1	0	0	3	0	0	1	0
20~25%	0	0	0	1	0	0	0	0	2	5	21	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	12	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校2年 数学 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領域別(分野別)		
		見方・考え方	表現・処理	知識・理解	数と計算	図形	数量関係
問題数	20	6	8	6	10	5	5
+10%以上	1	0	0	1	1	0	0
±10%内	10	1	7	2	6	3	1
-10%以下	9	5	1	3	3	2	4

(2) 考察

全体について

- ア 学習の実現状況は、観点や領域によって定着の差が大きい。
- ・観点別では「見方・考え方」、領域別では「数量関係」での落ち込みが目立つ。
- イ 本県の課題となる単元や領域の内容については定着状況の差が大きい。
- ・通過率度数分布状況を見ると、3)、5)、6)、15)、16)では散らばりは小さく、多くの学校でよく指導されている。一方、4)、10)、13)では散らばりが大きい。

成果

- ア 観点別では、「表現・処理」はおおむね満足できる状況にある。
- ・四則計算の意味理解や1次方程式の解き方については、設定通過率を大きく上回っている。
- イ 領域別では、「数と計算」がおおむね満足できる状況にある。
- ・8)「文字式で表された数量の意味」については過去の類似問題と比較して改善がみられる。
 - ・数量関係の中でも、対応表から関数関係を見出し、対応する値を求めることはおおむね満足できる状況にある。

課題

- ア 数量を分数を用いて表すことについては若干の改善は見られるものの、学校間の指導に開きがある単元や領域がある。
- ・比例、反比例の基本的な内容を活用して考察する問題の通過率が低い。
 - ・円錐の展開図、表面積を問う問題の通過率が低い。昨年度も出題しているが、まだ十分に改善していない。
- イ 根拠や理由を記述する問題の通過率が低い。
- ・11)、17)のように理由を答えさせる問題の通過率が低い。特に、11)では未記入の割合も高い。

(3) 今後の指導

- ア 中学校においても、体験的、操作的な活動を通して、学びを実感させながら学習の定着を図っていく必要がある。
- ・関数指導においては、身の回りの題材を取り入れるだけでなく、その事象が関数の表現とどう結び付くのかを明確にした授業改善が求められる。
 - ・図形指導においては、立体の展開図等を実際に作るなど、操作活動を充実させながら立体図形についての理解をより一層深めていく必要がある。
- イ 論理的な思考力やその表現力をより一層高めていくことが求められる。
- ・「根拠」や「理由」を考察させたり表現させたりしながら学習を進める必要がある。

中学校 第3学年
数 学

中学校3年 数学 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				見方・考え方	表現・処理	知識・理解
A 数と式	(1)アイウ式の計算	・簡単な整式の減法の計算ができる。	(1			
		・単項式の除法の計算ができる。	(2			
		・整数の性質を文字式を用いて一般的に表現したり、説明したりすることができる。	(13			
		・式をきまりに従って変形することができる。	(12			
	(2)アイ連立方程式	・二元一次方程式とその解の意味を理解している。	(3			
		・加減法や代入法を用いて、連立二元一次方程式を解くことができる。	(4			
・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、連立二元一次方程式に表すことができる。		(18				
B 図形	(1)アイ平行線と多角形	・平行線や正三角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	(6			
		・対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。	(5			
		・多角形の内角の和や既習の図形の性質などに帰着して、等しい角を見い出すことができる。	(14			
	(2)アイウ合同と図形の性質	・問題に示された条件を満たす図を適切にかくことができる。	(16			
		・三角形の合同条件について理解している。	(8			
C 数量関係	(1)アイウ一次関数	・平行四辺形になるための条件を理解している。	(15			
		・円周角と中心角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	(7			
		・既習の図形の性質に基づき、二等辺三角形になるための条件を考察することができる。	(20			
		・一次関数の関係を式で表すことができる。	(17			
	(2)アイ確率	・一次関数の式やグラフの特徴を理解している。	(10			
・一次関数の関係を式、グラフなどで表現したり、その特徴をよみとったりすることができる。		(11				
		・具体的な事象を一次関数を用いて考察することができる。	(19			
		・簡単な場合について確率を求めることができる。	(9			

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	多項式の計算	89.9%	90.0%	
2	単項式の計算	82.8%	80.0%	
3	二元一次方程式の解	84.8%	80.0%	
4	連立方程式の計算	79.2%	80.0%	
5	対頂角・同位角・錯角の意味	78.0%	80.0%	
6	平行線の性質	62.4%	70.0%	
7	円周角と中心角の関係	49.9%	70.0%	
8	三角形の合同条件	18.9%	70.0%	
9	確率の計算	60.8%	70.0%	
10	一次関数のグラフの特徴	57.0%	80.0%	
11	一次関数のグラフと式	44.6%	70.0%	
12	等式の変形	47.9%	70.0%	
13	文字式による説明	58.6%	60.0%	
14	正多角形の内角の大きさ	33.7%	60.0%	
15	平行四辺形になるための条件	16.1%	60.0%	
16	三角形の合同の証明	60.7%	70.0%	
17	一次関数の関係と式	42.9%	60.0%	
18	連立方程式の応用	61.4%	60.0%	
19	一次関数の識別	30.9%	60.0%	
20	二等辺三角形になることの証明	42.6%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

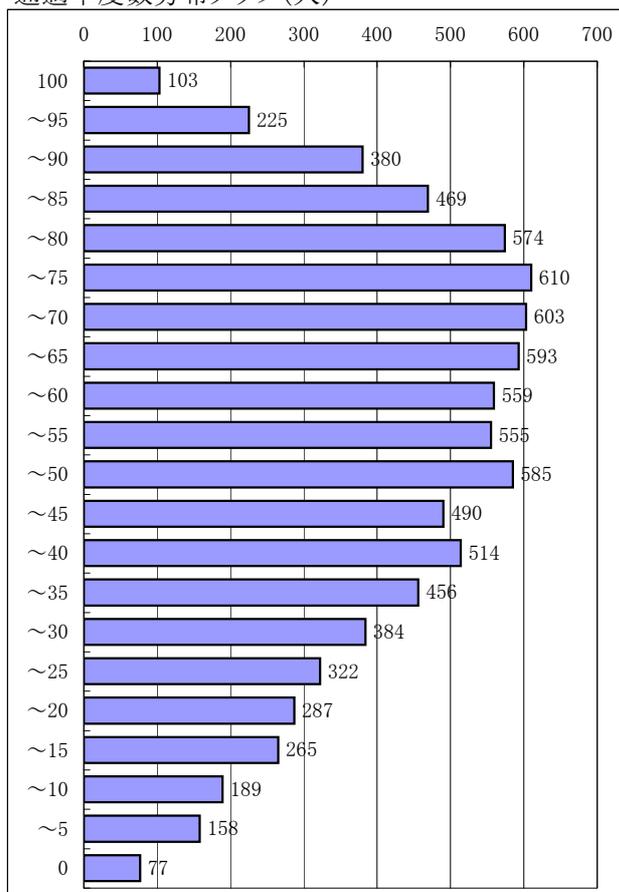
中学校3年 数学

小問別反応率

通し番号			1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1	(1)	89.9%	9.5%	0.6%	0.0%
	2	(2)	82.8%	13.9%	3.3%	0.0%
2	1	(3)	84.8%	9.9%	5.3%	0.0%
	2	(4)	79.2%	14.3%	6.6%	0.0%
3	1	(5)	78.0%	21.3%	0.8%	0.0%
	2	(6)	62.4%	26.9%	10.8%	0.0%
	3	(7)	49.9%	37.4%	12.7%	0.0%
	4	(8)	18.9%	68.2%	12.9%	0.0%
4	(9)	60.8%	32.7%	6.5%	0.0%	
5	1	(10)	57.0%	41.7%	1.2%	0.0%
	2	(11)	44.6%	49.4%	6.0%	0.0%
6	1	(12)	47.9%	43.5%	8.5%	0.0%
	2	(13)	58.6%	33.8%	7.5%	0.0%
7	1	(14)	33.7%	41.2%	25.1%	0.0%
	2	(15)	16.1%	82.3%	1.7%	0.0%
8	(16)	60.7%	22.6%	16.7%	0.0%	
9	(17)	42.9%	45.9%	11.2%	0.0%	
10	(18)	61.4%	26.9%	11.7%	0.0%	
11	(19)	30.9%	66.1%	3.1%	0.0%	
12	(20)	42.6%	38.1%	19.3%	0.0%	

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	3-4	4	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	8	9	10	11	12	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95～100%	26	7	7	2	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
90～95%	48	13	19	7	6	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	3	0	1	0
85～90%	30	31	43	23	14	1	0	0	1	0	0	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0
80～85%	17	43	30	30	20	2	2	0	4	3	1	1	5	1	0	4	0	11	0	1	1
75～80%	4	18	19	31	41	9	2	0	5	3	0	2	5	0	0	11	2	8	0	0	2
70～75%	2	11	6	21	22	16	5	1	13	5	4	3	13	0	0	11	1	10	0	3	2
65～70%	0	2	3	8	18	19	7	0	25	16	3	5	19	2	0	21	2	18	1	2	5
60～65%	0	3	0	4	2	29	12	1	24	22	9	13	16	0	0	16	4	25	1	6	18
55～60%	0	1	0	2	1	15	14	1	20	20	8	7	11	3	1	28	6	16	0	15	38
50～55%	0	0	0	0	0	17	26	2	18	25	14	26	18	6	0	19	17	17	4	16	35
45～50%	0	0	0	0	0	9	19	2	13	21	25	12	10	10	0	5	19	13	7	7	20
40～45%	0	0	0	0	0	6	11	0	4	7	23	21	11	21	2	7	22	3	9	23	7
35～40%	0	0	0	0	0	2	15	5	0	5	17	14	8	15	5	3	26	4	15	16	1
30～35%	0	0	0	0	0	0	6	3	1	1	11	12	5	22	4	0	14	0	23	16	0
25～30%	0	0	0	0	0	0	7	12	0	0	8	6	3	16	10	0	6	1	37	9	0
20～25%	0	0	0	0	0	0	3	13	1	0	4	2	0	27	11	0	7	0	17	5	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	1	1	0	3	33	0	3	0	12	6	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	1	0	0	3	24	0	0	0	2	2	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	11	0	0	0	1	1	0
計	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校3年 数学 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領 域 別		
		見方・考え方	表現・処理	知識・理解	数と式	図形	数量関係
問題数	20	5	10	5	7	8	5
+10%以上	0	0	0	0	0	0	0
±10%内	10	2	6	2	6	3	1
-10%以下	10	3	4	3	1	5	4

(2) 考察

全体について

ア 全体的な学習の実現状況は改善すべき点がある。今後より一層、基礎・基本の確実な定着を目指す必要がある。

- ・設定通過率と同程度であるものが20問中10問だけであり、設定通過率の平均70%に対して、通過率の平均が55.1%で14.9ポイント下回っている。
- ・20問中半数の10問が設定通過率を10ポイント以上下回る結果であった。これらの内容については多くの学校で一層の基礎・基本の定着を図る必要がある。

成果

ア 「数と式」の領域における実現状況は、おおむね良好といえる。

- ・「数と式」から出題した7問中6問が設定通過率と同程度である。その6問中3問は、国や県の過去の類似問題であるが、うち2問が過去の通過率を20%以上上回った。

イ 速さに関する連立方程式を作る問題については指導の改善が図られてきている。

- ・18)の通過率が61.4%であり、設定通過率と同程度であった。同様の問題で平成15年度は49.9%であり、若干ではあるが改善の兆しがうかがえる。単なる公式への代入による処理だけで立式するのではなく、線分図や表を用いながら、3つの要素(距離・速さ・時間)を一体的に扱う指導がなされていると考えられる。しかし、中1の単位量あたりの大きさの考え方による速さの問題は通過率が56.5%、中2の1次方程式を作る問題は37.4%という結果であった。各校においては中3の結果だけではなく全学年の結果を分析し、一層の指導改善を図る必要がある。

課題

ア 図形の定義や定理の理解が不十分である。

- ・12)は角の二等分線の作図の手順が正しいことの根拠を示すときに用いられる三角形の合同条件を答える問題である。設定通過率70%に対し、通過率が18.9%と大幅に下回った。また、15)の平行四辺形になるための条件を答える問題も通過率が16.1%にとどまり、設定通過率からほど遠い結果であった。

イ 関数領域の指導の改善が必要である。

- ・数量関係の5問のうち、関数領域の4問全問で設定通過率を10ポイント以上下回る結果であった。関数的な見方や考え方は、依然として全体的な課題といえる。

(3) 今後の指導

ア 図形の定義や定理・条件と図形を一体的に扱って指導する。

- ・図形に関する定理や性質を身に付けさせるためには、定理を唱えるなどの学習活動を繰り返し行うことも必要である。その際、機械的な暗記を求めるのではなく、図形と一体的に扱うことがポイントとなる。また、先述の12)の問題のように、三角形の合同という新しい学習を通して、前学年に学んだ角の二等分線についてとらえ直す「学び直し」の指導も大切にしたいものである。また、根拠を明確にして説明させるなどの学習場面を意識的に取り入れ、日々の授業において論理的な思考力を育ててほしい。

イ 関数領域では、表・グラフ・式を一体として理解したり、それらに関連付けて事象を考察したりする。

- ・生徒自らが事象の表す数量の関係を調べる手立てとして、表・グラフ・式を活用し、変化や対応の様子を具体的にとらえることができるようにする必要がある。そのためには、関数の事象を考察する場面で常に表とグラフと式を一体的に扱い、表・グラフ・式・表の相互変換ができる力を身に付けさせたい。特に日常的な事象の関数関係について考察する場合には、変数 x 、 y を用いた一般式を形式的に扱うことなく、数値を代入して対応表をつくるなどして変数と定数の違いを明らかにし、文字 a (変化の割合、傾き)、 b (切片) の意味理解を確実にしていくことも必要である。このことは文字式のよさを味わうことにもつながると考えられる。

小学校 第4学年
理科

小学校第4学年 理科 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				科学的な思考	技能表現	知識理解
A 生物とその環境	(1)ア	・昆虫の育ち方には、一定の順序があることを理解している。	(1)			
		・昆虫の体は、頭、胸、および腹からできていることを理解している。	(2)			
		・身近に見られる昆虫を探したり育てたりして、虫眼鏡などの器具を適切に使って特徴を観察することができる。	(3)			
B 物質とエネルギー	(1)ア	・光を働かせたときとそうでないときの現象を比較して、それらの違いを考えることができる。	(4)			
	(3)ア	・磁石に引きつけられる物には、磁石に付けると磁石になる物があることを理解している。	(5)			
	(1)イ	・光を集めたり重ね合わせたりすると、物の明るさや暖かさが変わると考えることができる。	(6)			
	(2)ア	・乾電池と豆電球を使って回路をつくったり、ものづくりをしたりすることができる。	(7)			
C 地球と宇宙	(1)ア	・日陰は太陽の光を遮るときでき、日陰の位置は太陽の動きによって変わることを理解している。	(8)			
	(1)イ	・温度計を適切に使って日なたと日陰の地面の温度の様子を調べ、記録することができる。	(9)			
	(1)イ	・日なたと日陰の地面の様子を比較して、それらの違いを考えることができる。	(10)			

小学校4年 理科 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 84.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	昆虫の育ち方	98.2%	75.0%	
2	昆虫の体のつくり	90.6%	80.0%	
3	虫眼鏡の使い方	76.5%	70.0%	
4	光の性質	92.9%	85.0%	
5	磁力を帯びた鉄の性質	91.5%	80.0%	
6	レンズにより集めた光の性質	76.0%	70.0%	
7	回路の作製	76.8%	80.0%	
8	太陽の位置と日陰の位置	79.0%	65.0%	
9	地面の温度のはかり方	65.9%	75.0%	
10	日なたと日陰の違い	93.5%	75.0%	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

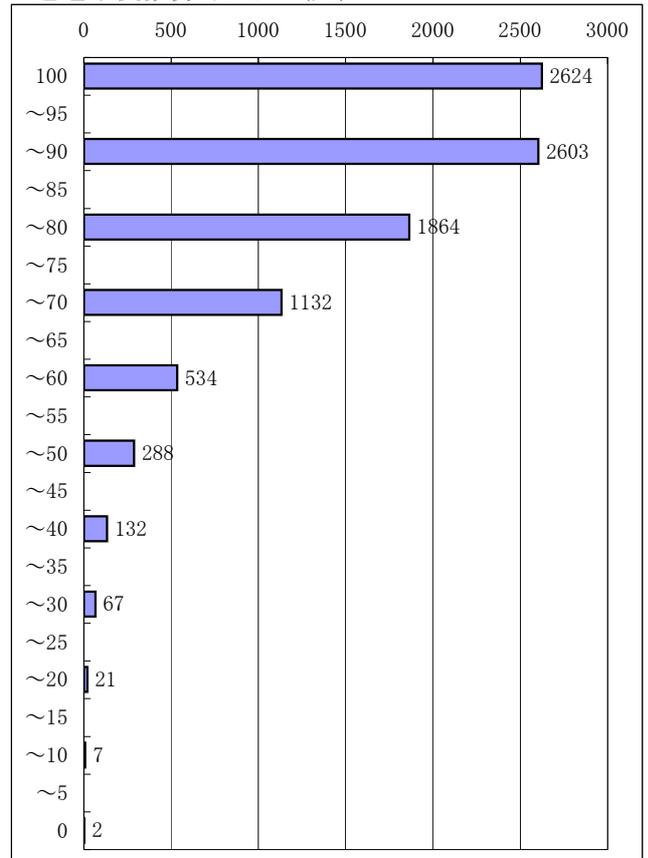
小学校4年 理科

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	(1)	98.2%	1.8%	0.0%	0.1%
2	(2)	90.6%	9.3%	0.1%	0.1%
3	(3)	76.5%	23.4%	0.1%	0.0%
4	(4)	92.9%	6.1%	1.1%	0.1%
5	(5)	91.5%	7.8%	0.8%	0.1%
6	(6)	76.0%	23.9%	0.1%	0.1%
7	(7)	76.8%	22.8%	0.4%	0.1%
8	(8)	79.0%	20.9%	0.1%	0.1%
9	(9)	65.9%	34.0%	0.1%	0.1%
10	(10)	93.5%	6.3%	0.1%	0.1%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	
100%	82	20	6	31	19	3	12	8	1	25	0
95~100%	69	31	7	55	49	7	15	12	1	52	7
90~95%	12	46	24	40	53	7	11	20	9	51	25
85~90%	0	36	26	23	13	21	28	19	9	31	47
80~85%	2	19	27	5	19	30	21	28	14	5	49
75~80%	0	9	19	6	7	26	18	17	17	1	24
70~75%	0	1	11	2	4	24	10	20	19	0	9
65~70%	0	1	7	1	1	15	18	23	21	0	3
60~65%	0	0	11	0	0	14	10	5	23	0	1
55~60%	0	1	6	2	0	12	6	7	13	0	0
50~55%	0	1	5	0	0	4	4	5	12	0	0
45~50%	0	0	6	0	0	2	8	1	9	0	0
40~45%	0	0	4	0	0	0	2	0	8	0	0
35~40%	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0
30~35%	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0
25~30%	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0
20~25%	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
15~20%	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校4年 理科 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		科学的思考	技能・表現	知識・理解
問題数	10	3	3	4
+10%以上	5	1	0	4
±10%内	5	2	3	0
-10%以下	0	0	0	0

(2) 考察

全体について

ア 小学校4年生の学習状況はおおむね良好といえる。

- ・すべての問題で小問別通過率が±10%内、あるいは10%以上であり、平均通過率も設定通過率を8.6ポイント上回っている。
- ・平均通過率の度数分布では、80～85%がピークであり、85～90%、90～95%がこれに次いでいる。

成果

ア 観点別では、「知識・理解」における実現状況が良好である。

- ・通過率と設定通過率を比較した場合、昨年は3問が同程度で、1問が10ポイント以上上回っていたが、今年度は4問すべてが10ポイント以上上回っている。「知識・理解」に関する指導の改善が図られていることがうかがえる。

イ 虫めがねの適切な操作について改善が図られている。

- ・3)は虫めがねの正しい使い方に関する問題であり、昨年までの継続課題であった。通過率を比較すると、昨年度の55.6%に対し今年度は76.5%と改善が図られており、設定通過率を6.5%上回っている。

ウ 光の進み方の理解について改善が図られている。

- ・4)は光の直進性を記述により問う問題である。通過率を比較すると、昨年度の70.9%に対し今年度は92.9%と改善が図られており、設定通過率を7.9ポイント上回っている。

課題

ア 観察、実験器具の適切な操作について、指導の徹底を図る必要がある。

- ・9)は地面の温度の計測方法に関する問題である。昨年度の類似問題であり、通過率は60.9%から65.9%に上昇しているが、設定通過率を9.1ポイント下回る結果となっている。各校における通過率の開きも大きく、操作の意味合いを理解させた上での指導が徹底されていないと考えられる。
- ・7)は電流回路の作製を作図により問う問題である。設定通過率を3.2ポイント下回る結果となっている。児童一人一人に予想に基づいているいろいろな方法で比較させるなど、対象に直接働きかける指導が望まれる。

(3) 今後の指導

ア 個の考えを交流させる場を指導過程に位置付ける。

- ・予想や結果、考察を発表させる場面では、グループや学級全体で一人一人の考えを深めていくことに重点をおいた指導を行うことが大切である。

イ 事象提示や課題提示の一層の工夫が必要である。

- ・3年生に求められる問題解決能力の育成のためには、違いや同じ点を探し出し、そのことを根拠にして納得するという活動を繰り返す必要がある。その際には、「比較しなければ課題を明確にできない」という必然性をもたせるための事象提示や課題提示の工夫が必要である。

ウ 操作の意味付けを含めて観察、実験器具の使い方を指導する必要がある。

- ・観察、実験器具の使い方を指導する場合は、なぜそのような使い方をしなければならないかの理由を示しながら指導することが大切である。

小学校 第5学年
理科

小学校第5学年 理科 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				科学的な思考	技能表現	知識理解
A 生物とその環境	(1) アイ	・植物の成長を調べ、天気や気温の変化と関係付けて考えることができる。	(5)			
		・動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。	(6)			
		・植物の成長について定期的に観察し、記録することができる。	(4)			
B 物質とエネルギー	(1) アイ	・閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。	(1)			
		・加熱器具（アルコールランプ、ガスバーナー）を安全に操作することができる。	(2)			
		・金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。	(3)			
(3) ア	・乾電池の数やつなぎ方を変えて、回路を流れる電流の強さとその働きの違いを関係付けて考えることができる。	(7)				
C 地球と宇宙	(1) ウ	・星の集まりは、時間の経過に伴って、並び方は変わらないが位置が変わることを理解している。	(8)			
		・水蒸気や氷に姿を変える水の状態変化と、温度を関係付けて考えることができる。	(9)			
		・水の状態変化を調べ、記録したり、グラフなどに表したりすることができる。	(10)			

小学校5年 理科 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 85.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	空気と水の力	84.0%	70.0%	
2	加熱器の使い方(A) アルコールランプ	91.0%	70.0%	
3	加熱器の使い方(B) ガスバーナー	57.8%	70.0%	
4	金属のあたため方	91.7%	80.0%	
5	植物の定期的記録法	98.7%	90.0%	
6	天気の変化と植物の成長	95.9%	90.0%	
7	季節と動物の活動	82.6%	80.0%	
8	電流の強さとはたらき	73.1%	70.0%	
9	天体の動き	79.3%	80.0%	
10	温度と水の状態変化	81.1%	70.0%	
11	温度計の使い方	74.5%	65.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

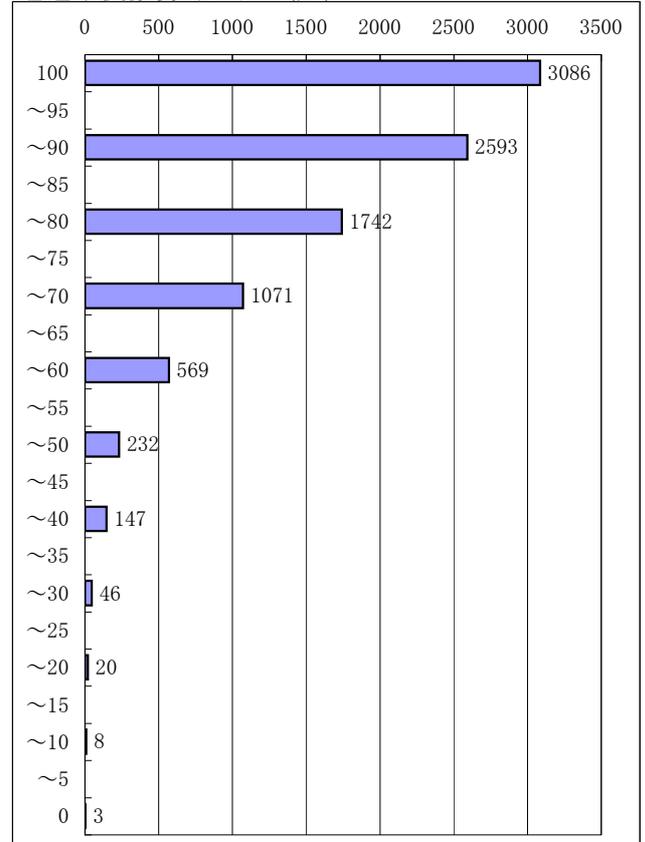
小学校5年 理科

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	(1)	84.0%	15.9%	0.2%	0.0%
2	A (2)	91.0%	8.9%	0.1%	0.0%
	B (2)	57.8%	42.2%	0.0%	0.0%
3	(3)	91.7%	8.2%	0.1%	0.0%
4	1 (4)	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%
	2 (5)	95.9%	4.0%	0.1%	0.0%
	3 (6)	82.6%	17.3%	0.1%	0.0%
5	(7)	73.1%	26.8%	0.1%	0.0%
6	(8)	79.3%	20.6%	0.1%	0.0%
7	1 (9)	81.1%	18.8%	0.2%	0.0%
	2 (10)	74.5%	25.3%	0.2%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1	2-A	2-B	3	4-1	4-2	4-3	5	6	7-1	7-2	平均 通過率
	1)	2)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	
100%	5	24	11	29	96	34	6	3	5	10	3	0
95～100%	16	33	1	42	58	77	8	8	10	15	12	7
90～95%	31	46	1	44	10	47	18	18	11	35	10	28
85～90%	28	33	0	29	1	4	35	12	28	25	20	53
80～85%	29	18	2	11	0	2	38	16	31	19	23	49
75～80%	29	3	1	6	0	0	30	22	24	13	27	18
70～75%	13	2	0	4	0	1	15	29	30	13	14	6
65～70%	5	0	2	0	0	0	7	23	15	12	17	3
60～65%	5	3	1	0	0	0	4	10	8	9	13	1
55～60%	3	0	0	0	0	0	2	5	1	8	12	0
50～55%	1	1	9	0	0	0	2	6	0	3	9	0
45～50%	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	3	0
40～45%	0	0	1	0	0	0	0	5	1	1	1	0
35～40%	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
30～35%	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	1	0
25～30%	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
20～25%	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0～5%	0	2	133	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校5年 理科 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領 域 別		
		科学的な思考	技能・表現	知識・理解	生物と環境	物質とエネルギー	地球と宇宙
問題数	10	3	3	4	3	4	3
+10%以上	3	1	0	2	0	2	1
±10%内	7	2	3	2	3	2	2
-10%以下	0	0	0	0	0	0	0

(2) 考察

全体について

- ア 調査結果から、小学校5年生の学習状況はおおむね良好といえる。
- ・ほとんどの問題で設定通過率を上回っているか同程度である。度数分布から分かるように、3)4)5)についてはほとんどの学校が通過率80~100%の範囲に位置している。
- イ 過去の調査結果との比較から、各校の指導状況のよさがうかがえる。
- ・過去に実施した本県学習状況調査問題の類似問題の通過率を比較すると、3)ガスバーナーの使い方、9)天体の動きを除いたすべての小問で上回っていることから、各校の指導状況のよさがうかがえる。

成果

- ア 「科学的な思考力」の向上がみられる。
- ・昨年度の調査と比較すると、6)天気の変化と植物の生長、8)電流の強さとはたらき、10)温度と水の状態変化の小問において、昨年度の設定通過率を上回っており、授業の中で科学的な思考力を高める工夫が図られていると考えられる。
- イ 「生物と環境」及び、「物質とエネルギー」領域における実現状況が良好である。
- ・どちらの領域でも、設定通過率を上回っているか同程度の範囲内であり、設定通過率を下回る小問はない。特に2)4)5)6)は90%以上の高い通過率を示している。

課題

- ア 「物質とエネルギー」「地球と宇宙」の領域での指導が十分ではない。
- ・1)8)9)については、度数分布表で学校間のばらつきが大きく、適切な指導がなされていない学校が少なくない。
- イ 観察、実験器具の適切な操作について、学校間のばらつきが見られる。
- ・2)アルコールランプの使い方、10)温度計の使い方の通過率は、それぞれ91.0%、74.5%で良好な結果となっているものの、学校間のばらつきが大きい。また、3)ガスバーナーの使い方は、61.5%と設定通過率を下回っており、技能の定着が十分とはいえない。

(3) 今後の指導

- ア 日常生活との関連付けを重視し、実感を伴った理解を図る指導の工夫が必要。
- ・子どもの生活経験に基づいた課題の設定や身近な教材を活用した観察・実験等による授業展開の工夫や、宿泊を伴う学習の中に月や星の観察を組み込んだり、プラネタリウムなどを有する社会教育施設を積極的に活用するなどして、より日常生活との関連を意識させながら実感を伴った理解を図る必要がある。
- イ 観察、実験器具の操作を確実に身に付けさせるために、繰り返し指導することが必要。
- ・加熱器具や温度計等の観察・実験器具の操作については、単元計画の中に操作を学習する場を設定し、習得を図るとともに、観察、実験においても、そのつど繰り返して指導し、技能の習熟を図る必要がある。

小学校 第6学年
理科

小学校第6学年 理科 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				科学的な思考	技能表現	知識理解
A 生物とその環境	(1)イ	・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。	(1)			
	(1)ウ	・植物の成長について、条件に着目して実験の計画を考えることができる。	(2)			
	(1)ウ	・植物の成長について、実験の結果を考察することができる。	(3)			
	(2)アイ	・生まれた卵は、日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解している。(選択) ・人は母体内で成長して生まれることを理解している。(選択)	(4)			
	(2)アイ	・魚の卵の内部や生まれたばかりの魚の変化が、人の発生や成長の変化にかかわる条件を理解している。(選択)	(5)			
	(1)エ	・花にはおしべやめしべがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になることを理解している。	(6)			
	(1)エ	・顕微鏡などを適切に操作することができる。	(7)			
B 物質とエネルギー	(1)イ	・物の溶け方の規則性を調べ、表やグラフなどに表したりすることができる。	(8)			
	(1)イ	・物の溶け方の規則性を調べ、実験の結果を考察することができる。	(9)			
	(1)イ	・実験器具を適切に操作し、安全で計画的に実験することができる。	(10)			
	(2)イ	・てこがつり合うときの加える力の大きさや支点からの距離を関係付けて考えることができる。	(11)			
	(2)イ	・てこの実験装置などを使って、てこがつり合うときのおもりの重さや支点からの距離を関係付けて考えることができる。	(12)			
	(3)アイ	・調べる条件に着目して、ふりこか衝突の規則性を調べる工夫をすることができる。(選択)	(13)			
	(3)アイ	・糸につるしたおもりが1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、糸の長さによって変わることを理解している。(選択) ・おもりが他の物を動かす働きは、おもりの重さや動く速さによって変わることを理解している。(選択)	(14)			
C 地球と宇宙	(2)ア	・流れる水の速さや量の変化を調べる工夫をし、計画的に調べることができる。	(15)			
	(2)ア	・流れる水には、土地を削ったり、石や土などを流したり積もらせたりする働きがあることを理解している。	(16)			
	(2)ア	・モデル実験で見いだしたきまりを実際の川に当てはめて考えることができる。	(17)			
	(1)ア	・気象情報を活用して天気の変化を予想することができる。	(18)			
	(1)ア	・気象情報を活用して天気の変化を予想することができる。	(19)			
	(1)ア	・天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。	(20)			

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	
1	インゲンマメの発芽の条件	74.4%	70.0%	
2	インゲンマメの成長と日光との関係を調べる実験方法	89.5%	80.0%	
3	インゲンマメの成長と肥料との関係	78.9%	75.0%	
4	メダカの卵の変化または人の発生の仕方 (A)	91.5%	80.0%	
5	子メダカまたは母体内での人の養分の取り方 (A)	85.5%	85.0%	
6	メダカの卵の変化または人の発生の仕方 (B)	79.9%	80.0%	
7	子メダカまたは母体内での人の養分の取り方 (B)	96.2%	85.0%	
8	植物の受粉についての理解	85.2%	75.0%	
9	顕微鏡の操作手順	40.7%	60.0%	
10	物の溶け方の結果についてのグラフ表示	88.8%	80.0%	
11	水の温度とホウ酸、食塩が溶ける量	75.7%	70.0%	
12	ろかの方法	93.1%	80.0%	
13	てこの働きを利用した道具の使い方	77.4%	70.0%	
14	実験用てこを釣り合わせる方法	88.1%	80.0%	
15	物の運動を調べる実験方法 (A)	88.8%	80.0%	
16	物の運動に関する要因 (A)	75.8%	75.0%	
17	物の運動を調べる実験方法 (B)	89.9%	80.0%	
18	物の運動に関する要因 (B)	82.6%	75.0%	
19	流れる水の働きを調べる実験方法の工夫	89.7%	80.0%	
20	流れる水の働き	82.7%	85.0%	
21	流れる水の働きによる災害を防ぐ工夫	93.5%	80.0%	
22	気象情報を活用した天気変化の予想	90.2%	80.0%	
23	気象情報の活用の仕方	97.3%	85.0%	
24	天気と1日の気温の変化	89.3%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

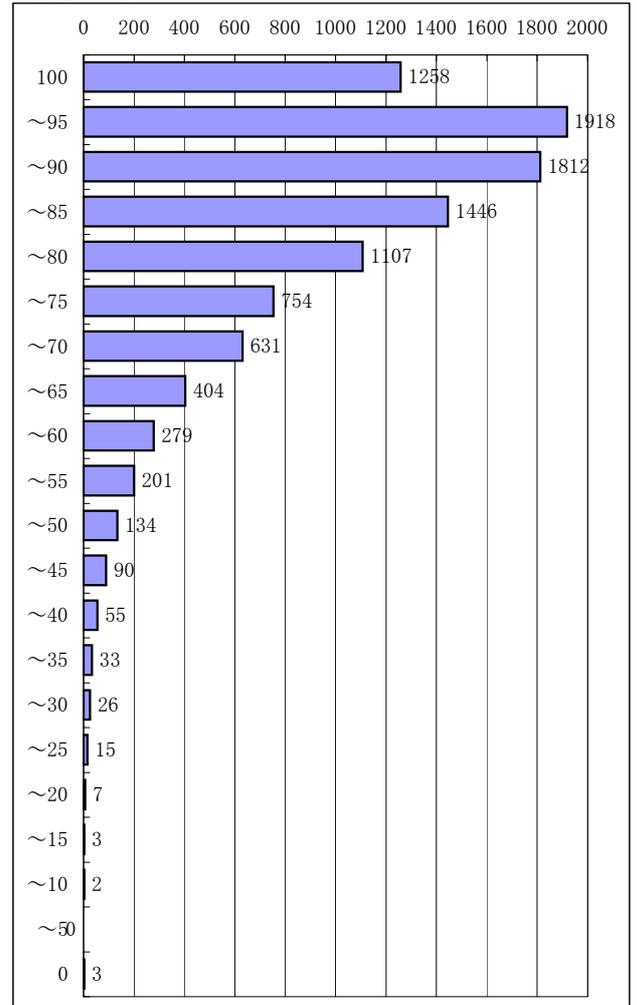
小学校6年 理科

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	74.4%	25.5%	0.0%	0.0%
	2① (2)	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%
	2② (3)	78.9%	19.9%	1.1%	0.0%
2	1A (4)	91.5%	8.4%	0.1%	0.0%
	2A (5)	85.5%	13.5%	0.9%	0.0%
	1B (4)	79.9%	20.0%	0.1%	0.0%
	2B (5)	96.2%	3.4%	0.4%	0.0%
3	1 (6)	85.2%	14.6%	0.2%	0.1%
	2 (7)	40.7%	59.0%	0.2%	0.1%
4	1 (8)	88.8%	4.2%	7.1%	0.0%
	2 (9)	75.7%	24.1%	0.2%	0.0%
	3 (10)	93.1%	6.7%	0.2%	0.0%
5	1 (11)	77.4%	22.5%	0.1%	0.0%
	2 (12)	88.1%	11.8%	0.1%	0.0%
6	1A (13)	88.8%	11.0%	0.2%	0.2%
	2A (14)	75.8%	23.9%	0.3%	0.2%
	1B (13)	89.9%	10.1%	0.0%	0.1%
	2B (14)	82.6%	17.3%	0.1%	0.1%
7	1 (15)	89.7%	10.1%	0.2%	0.1%
	2 (16)	82.7%	17.1%	0.2%	0.1%
	3 (17)	93.5%	6.4%	0.1%	0.1%
8	1 (18)	90.2%	9.7%	0.1%	0.0%
	2 (19)	97.3%	2.7%	0.1%	0.0%
	3 (20)	89.3%	10.6%	0.1%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

	1-1	1-2-1	1-2-2	2-1-A	2-2-A	2-1-B	2-2-B	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	5-1	5-2	6-1-A	6-2-A	6-1-B	6-2-B	7-1	7-2	7-3	8-1	8-2	8-3	平均
	以上 未満	1) 2)	3) 4)	5) 4)	5) 5)	6) 4)	5) 5)	6) 7)	8) 9)	10) 8)	11) 9)	12) 10)	13) 11)	14) 12)	15) 13)	16) 14)	17) 15)	18) 16)	19) 17)	20) 18)	21) 19)	22) 20)	23) 21)	24) 22)	25) 23)
100%	6	9	5	31	25	10	92	6	0	37	1	38	1	5	30	16	27	13	20	2	16	14	56	10	0
95～100%	9	24	18	31	24	3	26	11	0	28	6	55	3	32	12	2	15	8	46	10	55	22	88	34	1
90～95%	23	56	27	47	30	24	29	33	6	39	5	43	16	45	41	11	45	19	43	24	73	58	27	50	15
85～90%	13	49	24	29	23	22	9	46	1	23	18	22	27	38	32	18	26	23	25	37	20	53	4	44	61
80～85%	26	26	26	20	21	30	3	34	3	18	25	8	27	32	22	23	27	34	11	44	7	20	0	25	60
75～80%	22	5	20	7	16	23	1	27	0	10	41	1	27	13	15	24	8	28	15	22	2	5	0	4	27
70～75%	16	6	13	1	14	18	0	9	5	11	30	5	21	5	4	22	4	13	6	15	2	3	0	3	10
65～70%	11	0	11	3	4	10	0	7	1	5	23	1	26	4	7	14	1	9	3	10	0	0	0	3	1
60～65%	19	0	15	0	4	8	0	1	10	0	15	0	11	0	2	13	0	5	3	9	0	0	0	0	0
55～60%	7	0	6	0	2	3	0	1	17	4	8	1	9	1	1	10	1	0	2	0	0	0	0	2	0
50～55%	9	0	5	2	1	3	0	0	13	0	1	0	3	0	3	8	1	2	1	1	0	0	0	0	0
45～50%	7	0	2	0	2	3	0	0	15	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～45%	2	0	2	0	3	2	0	0	12	0	0	1	1	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
35～40%	1	0	0	0	1	0	0	0	13	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～35%	3	0	1	0	1	1	0	0	17	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
25～30%	1	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～25%	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～20%	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0～5%	0	0	0	4	4	15	15	0	1	0	0	0	0	0	5	6	19	19	0	0	0	0	0	0	0
計	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175

※1学年 20人以上データを提出した学校

小学校6年 理科 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領域別(分野別) 教科で適切に		
		科学的な思考	技能・表現	知識・理解	生物と環境	物質とエネルギー	地球と宇宙
問題数	20	7	6	7	7	7	6
+10%以上	7	3	1	3	3	1	3
±10%内	12	4	4	4	3	6	3
-10%以下	1	0	1	0	1	0	0

(2) 考察

全体について

- ア 小学校6年生の学習状況はおおむね良好といえる。
- ・90%以上の問題が設定通過率を上回っているか同程度であり、観点別に見た場合も特に落ち込んでいる状況は見られない。
- イ 本県の課題を意識した指導が各校でなされている。
- ・過去に実施した本県学習状況調査及び国の教育課程実施状況調査と類似する問題の結果を見ると、10問中9問について通過率が上回っており、中でも10ポイント以上上回っている問題が3問ある。

成果

- ア 「知識・理解」「科学的な思考」についての指導状況が良好であることがうかがえる。
- ・「知識・理解」を問う問題では、昨年度に引き続き、設定通過率を10ポイント以上上回った問題はない。過去の類似問題の結果を比較しても、5問すべてについて通過率が上回っている。
 - ・「科学的な思考」を問う問題では、設定通過率を10%以上上回った問題は、昨年度の1問に対し今年度はない。また、昨年度の類似問題の結果を比較しても、3問すべてで通過率が10ポイント前後上回っている。
- イ 「地球と宇宙」の領域についての指導状況は良好である。
- ・6問中3問が設定通過率を10ポイント以上上回っている。6問の平均通過率は90.5%と高くなっている。

課題

- ア 「技能・表現」について、「実験用具の扱い」の指導を一層充実させる必要がある。
- ・9)の顕微鏡の操作については、操作手順を詳しく問う問題内容に変えて出題し、設定通過率を60%としたが、それを大幅に下回る40.8%となっている。
- イ 「結果の考察」におけるグラフの作成及び「結果からわかること」の記述についての指導を一層充実させる必要がある。

(3) 今後の指導

- ア 一人一人が確実に観察、実験を体験し、実験器具の扱いに慣れる必要がある。
- ・安易にグループ実験に終始せず、個人の実験を増やすことも大事である。また、観察、実験の見通しを児童にもたせ、ねらいが明確な追究活動が必要である。
 - ・観察、実験器具に日常的に触れて操作できる学習環境づくりが必要である。
- イ 観察、実験のまとめを大切に、知識を創る授業の構築が求められる。
- ・観察や実験の結果を分かりやすくグラフや表にまとめたり、考察したことをグループや学級全体で議論したりする場を設定するなど、きまりや規則性を見つける過程を大事にした指導過程の工夫が必要である。

中学校 第1学年
理科

中学校第1学年 理科 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
				科学的思考	技能表現	知識理解
A 生物とその環境	(1)イ	・人の体のつくりと消化の働きを調べ、記録することができる。	(1)			
	(1)ウ	・人の体のつくりと血液循環の働きについて理解している。	(2)			
	(2)ア	・日光とでんぷんのでき方の関係に問題を見だし、適切な調べ方を考えることができる。	(3)			
		・ヨウ素液などを適切に使って、日光とでんぷんのでき方の関係について調べることができる。	(4)			
	(2)ウ	・気体検知管を適切に使って、植物と空気とのかかわりを調べることができる。	(5)			
		・生物と空気とのかかわりを身近な事象に関係付けて調べ、自然界のつながりを考えることができる。	(6)			
		・生物は、食べ物及び水を通して周囲の環境とかかわって生きていることを理解している。	(7)			
B 物質とエネルギー	(1)ア	・水溶液の性質を調べる薬品などについて理解している。	(8)			
		・水溶液の性質を調べる実験結果から、その性質を多面的に推論することができる。	(9)			
		・水溶液には、金属を変化させるものがあることを実験によって調べることができる。	(10)			
	(2)ア	・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。	(11)			
		・物の燃焼と空気の変化を関係付けながら、物の燃焼の仕組みについて考えることができる。	(12)			
		・植物体が燃えるときの空気の性質の変化をもとに、植物体が燃える様子を調べる工夫をすることができる。	(13)			
	(3)イ	・電磁石の強さと、電流の強さや導線の巻き数を関係付けて考えることができる。	(14)			
・電磁石の強さを調べる方法を工夫して考え、導線や検流計などを適切に使って計画的に実験をすることができる。		(15)				
C 地球と宇宙	(1)ア	・地層には、流れる水の働きや火山の噴火によってできたものがあることを理解している。	(16)			
	(1)イ	・土地の様子や構成物などから、土地のつくりや変化の様子を多面的に考えることができる。	(17)			
		・野外観察で分かったことを、身近な事象と関連付けて調べることができる。	(18)			
	(1)ウエ	・土地は、地震によって変化することを理解している。 (選択)	(19) (20)			
		・土地は、火山の噴火によって変化することを理解している。 (選択)	(19) (20)			

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	だ液のはたらき	58.0%	80.0%	
2	血液のはたらき	77.4%	70.0%	
3	光合成と日光の関係	93.0%	70.0%	
4	でんぷんを調べる方法	63.1%	70.0%	
5	気体検知管の適切な使い方	39.4%	80.0%	
6	生物と空気を通したかかわり	74.2%	70.0%	
7	生物と食べ物や水を通したかかわり	90.5%	80.0%	
8	水溶液の性質を調べる方法	76.6%	80.0%	
9	性質による水溶液の同定	44.0%	60.0%	
10	金属を変化させる水溶液	58.5%	60.0%	
11	物の燃焼と酸素, 二酸化炭素	78.0%	70.0%	
12	物の燃焼の仕組み	64.9%	70.0%	
13	植物体が燃え続ける方法	72.1%	60.0%	
14	電磁石を強くする方法	82.8%	80.0%	
15	回路及び検流計のつなぎ方	81.1%	70.0%	
16	火山噴火と流水による地層のでき方	82.7%	70.0%	
17	地層の広がり	82.7%	80.0%	
18	地層の観察と実験による確認	54.1%	70.0%	
19	地震による土地の変化(A)	49.3%	70.0%	
20	地震による土地の変化(A)	51.3%	80.0%	
21	火山の噴火による土地の変化(B)	76.8%	70.0%	
22	火山の噴火による土地の変化(B)	66.7%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

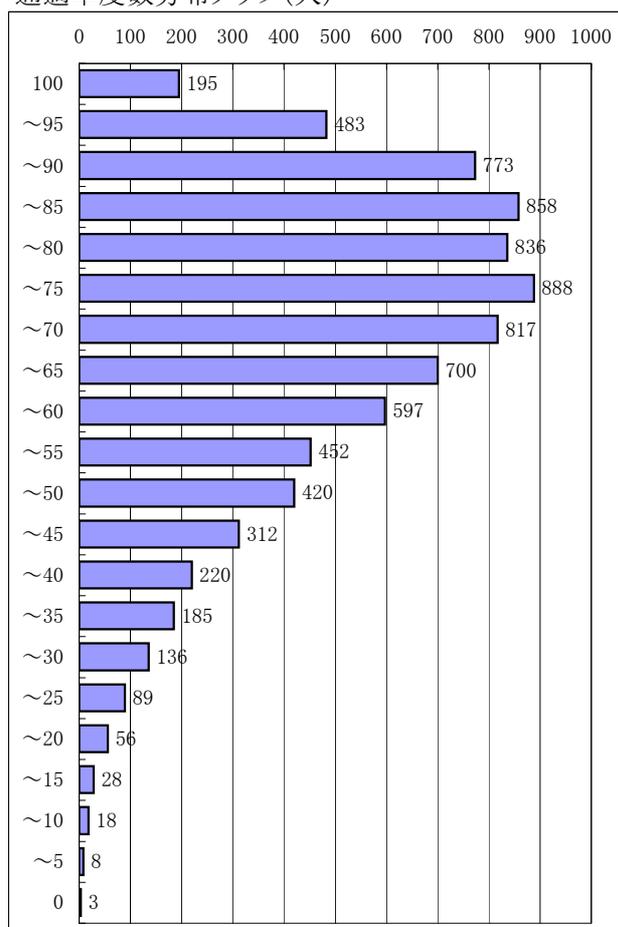
中学校1年 理科

小問別反応率

通し番号			1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1	(1)	58.0%	41.8%	0.2%	0.0%
	2	(2)	77.4%	22.5%	0.1%	0.0%
2	1	(3)	93.0%	6.9%	0.1%	0.0%
	2	(4)	63.1%	36.8%	0.1%	0.0%
3	1①	(5)	39.4%	60.4%	0.2%	0.0%
	1②	(6)	74.2%	25.5%	0.3%	0.0%
	2	(7)	90.5%	9.4%	0.1%	0.0%
4	1	(8)	76.6%	15.8%	7.5%	0.0%
	2	(9)	44.0%	50.6%	5.3%	0.0%
	3	(10)	58.5%	37.2%	4.3%	0.0%
5	1①	(11)	78.0%	21.8%	0.2%	0.0%
	1②	(12)	64.9%	34.7%	0.4%	0.0%
	2	(13)	72.1%	24.4%	3.4%	0.0%
6	1	(14)	82.8%	15.5%	1.7%	0.0%
	2	(15)	81.1%	18.5%	0.4%	0.0%
7	1	(16)	82.7%	17.0%	0.3%	0.0%
	2	(17)	82.7%	16.8%	0.5%	0.0%
	3	(18)	54.1%	38.7%	7.2%	0.0%
8	1A	(19)	49.3%	49.4%	1.3%	0.0%
	2A	(20)	51.3%	48.1%	0.6%	0.0%
	1B	(19)	76.8%	22.7%	0.5%	0.0%
	2B	(20)	66.7%	33.2%	0.2%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1-1	3-1-2	3-2	4-1	4-2	4-3	5-1-1	5-1-2	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	7-3	8-1-A	8-2-A	8-1-B	8-2-B	平均
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	19)	20)	通過率
100%	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	6	4	0	3	0	4	1	7	0	0
95～100%	0	1	36	0	0	1	21	2	0	0	0	0	1	21	12	1	2	1	1	0	7	0	0
90～95%	0	3	53	0	0	0	51	7	0	0	13	0	6	18	22	13	21	7	9	0	9	3	0
85～90%	0	18	22	5	0	9	29	13	0	3	15	0	21	18	17	34	26	6	5	0	15	6	0
80～85%	1	32	5	8	0	20	16	33	4	5	22	6	20	12	19	37	35	8	8	0	16	5	6
75～80%	3	26	0	13	1	28	3	26	3	12	28	11	19	20	19	25	20	8	8	3	18	16	14
70～75%	10	22	0	14	1	32	1	17	4	10	27	23	12	9	10	12	6	11	3	6	12	20	45
65～70%	14	15	0	17	2	18	0	10	4	11	11	26	18	6	7	2	7	9	8	8	15	23	36
60～65%	25	2	0	18	4	9	0	4	7	14	6	20	4	7	6	0	3	9	3	11	6	17	18
55～60%	20	3	0	14	9	4	0	5	4	17	1	16	3	2	0	0	1	6	3	19	4	16	4
50～55%	29	2	0	15	8	2	0	7	8	13	1	15	8	2	5	0	0	9	3	22	5	7	1
45～50%	9	0	0	7	17	1	0	0	18	13	0	5	4	1	1	0	0	9	0	12	1	3	0
40～45%	8	0	0	6	19	0	0	0	18	10	0	1	2	1	1	0	0	5	7	13	5	1	0
35～40%	4	0	0	1	20	0	0	0	14	7	0	1	3	1	0	0	0	4	7	14	0	1	0
30～35%	1	0	0	3	15	0	0	0	20	6	0	0	0	0	0	0	0	4	13	7	0	2	0
25～30%	0	0	0	1	9	0	0	0	11	1	0	0	2	0	1	0	0	9	11	4	0	0	0
20～25%	0	0	0	1	6	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	7	7	1	0	0	0
15～20%	0	0	0	0	7	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	7	16	1	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0
0～5%	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	4	0
計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校1年 理科 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領域別(分野別)		
		科学的な思考	技能・表現	知識・理解	生物と環境	物質とエネルギー	地球と宇宙
問題数	20	6	7	7	7	8	5
+10%以上	5	1	2	2	2	2	1
±10%内	9	4	2	3	3	5	1
-10%以下	6	1	3	2	2	1	3

(2) 考察

全体について

- ア 中学校1年生の実現状況はおおむね良好といえる。
- ・設定通過率の平均72.0%に対して平均通過率は69.9%であり、設定通過率を上回るか同程度の問題数は全体の70%である。また、通過率累計から、通過率が70%を上回る人数は全体の60.1%である。これらは昨年度とほぼ同じ傾向である。
- イ 「技能・表現」の観点における実現状況には改善が認められるものの低い傾向にある。
- ・設定通過率と平均通過率との差は昨年度と比べて小さくなっているが、7問中5問が設定通過率を下回っている。

成果

- ア 「物質とエネルギー」の実現状況がおおむね良好といえる。
- ・8問中7問が設定通過率を上回るか同程度である。過去の調査の類似問題と比較すると、平均通過率が、14)では昨年比+5.5%、15)では昨年比+23.8%と上昇している。
- イ 過去の調査結果に基づいた課題に対し、適切な指導がなされている。
- ・過去の調査の類似問題である2)、13)、15)、16)の平均通過率は、設定通過率を上回るか同程度であり、過去の結果との比較でも上昇傾向にある。

課題

- ア 「技能・表現」の観点の実現状況が十分とはいえない。
- ・4)は設定通過率と同程度であるものの、各学校の通過率に開きが生じている。
 - ・過去の調査の類似問題である1)と4)では、どちらも設定通過率を下回っている。また、昨年度の結果と比較すると平均通過率の上昇がほとんど見られない。
- イ 多面的な視点で行う観察、実験に関する問題の実現状況が十分とはいえない。
- ・9)と18)は、設定通過率を下回っており、各学校の通過率に開きが生じている。
- ウ 未記入の割合が、過去の結果と比較してわずかに増えている。
- ・10%に満たない低い割合ではあるが、未記入の割合は昨年度の結果よりも増えている。
 - ・8)の水溶液の性質を調べる方法は設定通過率と同程度であるものの、未記入の割合が7.5%である。これは、誤答の割合の半数に等しいことからみて、比較的高いといえる。

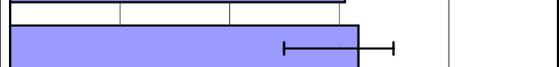
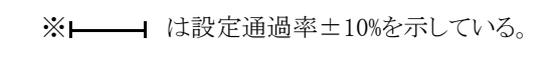
(3) 今後の指導

- ア 一人一人の見通しに基づいた観察、実験を通して、「技能・表現」の定着を図る。
- ・観察、実験を作業的に行わせるのではなく、問題解決の必要感を高め、一人一人の目的意識や見通しに基づいた観察、実験になるような指導の工夫が一層求められる。また、観察、実験結果の記録が的確な考察につながるものになるよう、結果をまとめる視点を明確におさえて観察、実験を行わせるとともに、記録する方法を工夫させたり、結果について複数の視点で検討させたりするなど、具体的な手立てを明確にした授業の構築が必要である。
- イ 問題解決の能力を高めていくことができるような指導を一層充実させる。
- ・小学校3～5年生で培った問題解決の資質・能力を基盤として、それらを繰り返し活用させながら多面的な視点で観察、実験結果を解釈し、事象に対する見方・考え方をより科学的なものに高めるための指導の工夫が一層必要である。1単位時間においては、観察、実験を通して自分の考えをもつことができるよう、観察、実験後の学習活動を充実させることも必要である。

中学校 第2学年
理科

中学校第2学年 理科 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				科学的な思考	技能表現	知識理解
物理分野	(1)ア(イ)	・凸レンズの働きについて調べる実験を行い、凸レンズを通してできる像を記録することができる。	(1)			
		・凸レンズの働きについて調べる実験を行い、物体の位置と像の位置及び大きさの関係を見いだすことができる。	(2)			
	(1)ア(ウ)	・音の発生や伝わり方、音の高さや大きさについて理解し、知識を身に付けている。	(8)			
	(1)イ(ア)	・つり合う力を、力のはたらく点、力の向き、力の大きさを示す矢印で正しく書くことができる。	(4)			
	(1)イ(イ)	・大気圧のはたらきかたについて規則性を見いだすことができる。	(3)			
化学分野	(2)ア(ア)	・加熱器具の使い方について基本操作を習得している。	(7)			
	(2)ア(イ)	・物質の状態変化によって、物質の質量の大きさは変化しないことを理解し、知識を身に付けている。	(5)			
		・温度変化のグラフから、蒸留によって取り出した液体の性質を推定することができる。	(6)			
	(2)イ(イ)	・酸、アルカリを混ぜたときの性質とB T B溶液の色との関係について理解し、知識を身に付けている。	(14)			
・中和によってできた物質の結晶を区別することができる。		(15)				
生物分野	(1)ア(ア)	・顕微鏡やルーペなどの観察器具の基本操作を習得している。	(11)			
		・植物の体のつくりと働きについて理解し、知識を身に付けている。	(12)			
	(1)イ(イ)	・光合成の働きを調べる観察・実験を行い、基本操作を習得している。	(9)			
		・光合成によって発生する気体が分かる。	(10)			
	(1)ウ(ア)	・植物の葉や茎、根のつくりの特徴に基づいて、植物の分類の観点を見いだすことができる。	(13)			
地学分野	(2)ア(ア)	・地層の重なり方の規則性を見だし、地層の広がりを推定できる。	(16)			
		・地層の堆積環境について理解し、知識を身に付けている。	(17)			
	(2)イ(ア)	・実験によって堆積岩や火成岩を区別することができる。	(18)			
	(2)イ(ア)	・火山の形からマグマの性質を推定することができる。	(19)			
	(2)イ(イ)	・地震計の記録から、初期微動継続時間が震源からの距離に関係していることを推定することができる。	(20)			

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	凸レンズでできる像	69.7%	65.0%	
2	凸レンズでできる像と距離の関係	31.6%	65.0%	
3	大気圧のかかる方向	50.7%	65.0%	
4	2力のつり合い	80.2%	80.0%	
5	物体の状態変化と質量・体積	60.0%	70.0%	
6	蒸留による混合物の分離	60.0%	65.0%	
7	ガスバーナーの使い方	61.1%	65.0%	
8	音の高さや大きさ	63.6%	60.0%	
9	光合成の実験の手順	64.7%	70.0%	
10	光合成によって発生する気体	71.5%	80.0%	
11	顕微鏡の操作	68.7%	65.0%	
12	気孔のはたらき	86.4%	80.0%	
13	葉・茎・根による植物の分類	68.4%	65.0%	
14	酸やアルカリの性質	68.6%	60.0%	
15	中和によってできる塩	72.0%	70.0%	
16	地層の広がり	63.7%	80.0%	
17	地層の堆積環境	85.6%	90.0%	
18	堆積岩の特徴	67.7%	70.0%	
19	火山の形と溶岩のねばりけ	77.5%	75.0%	
20	初期微動継続時間と震源との距離	82.5%	70.0%	

※  は設定通過率±10%を示している。

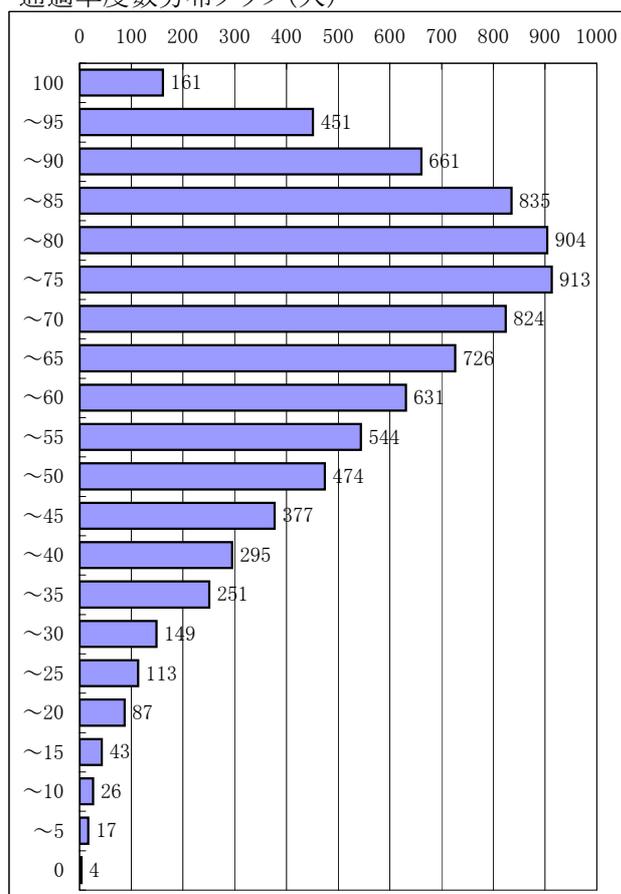
中学校2年 理科

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	69.7%	30.2%	0.1%	0.0%
	2 (2)	31.6%	68.2%	0.2%	0.0%
2	1 (3)	50.7%	49.0%	0.2%	0.5%
	2 (4)	80.2%	15.9%	3.9%	0.0%
3	(5)	60.0%	39.8%	0.2%	0.0%
4	1 (6)	60.0%	28.7%	11.3%	0.0%
	2 (7)	61.1%	38.8%	0.1%	0.0%
5	(8)	63.6%	33.1%	3.3%	0.0%
6	1 (9)	64.7%	22.2%	13.2%	0.0%
	2 (10)	71.5%	27.8%	0.7%	0.0%
7	1 (11)	68.7%	31.0%	0.3%	0.0%
	2 (12)	86.4%	13.2%	0.4%	0.0%
	3 (13)	68.4%	30.8%	0.8%	0.0%
8	1 (14)	68.6%	31.0%	0.4%	0.0%
	2 (15)	72.0%	27.5%	0.5%	0.0%
9	1 (16)	63.7%	33.7%	2.7%	0.0%
	2 (17)	85.6%	14.1%	0.3%	0.0%
	3 (18)	67.7%	31.6%	0.7%	0.0%
10	(19)	77.5%	15.4%	7.1%	0.0%
	(20)	82.5%	16.4%	1.1%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	2-1	2-2	3	4-1	4-2	5	6-1	6-2	7-1	7-2	7-3	8-1	8-2	9-1	9-2	9-3	10-1	平均 通過率	
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)		20)
100%	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	3	0	2	0	0
95~100%	0	0	1	2	0	0	1	0	0	2	1	11	0	0	0	0	22	0	7	8	0
90~95%	4	0	0	16	0	4	2	0	0	1	5	21	1	3	3	0	31	0	15	14	0
85~90%	11	0	0	20	4	6	6	3	8	8	8	50	2	1	12	0	18	9	8	24	0
80~85%	14	1	1	26	8	11	12	5	8	11	13	18	8	10	11	8	20	15	24	34	4
75~80%	16	0	4	27	8	8	12	8	19	22	23	16	15	16	19	10	14	18	20	28	11
70~75%	23	0	5	15	8	11	15	23	17	26	14	1	28	29	32	10	4	13	22	9	31
65~70%	17	0	11	11	10	15	9	18	13	26	17	1	27	24	19	31	6	20	9	3	39
60~65%	14	1	12	2	27	18	8	25	15	19	12	0	20	20	15	16	0	16	2	2	31
55~60%	6	0	13	2	11	7	17	19	15	4	14	0	15	4	7	25	2	14	6	0	6
50~55%	5	1	19	0	19	7	14	17	9	3	5	0	4	13	3	12	0	9	4	0	0
45~50%	1	5	13	0	11	8	6	2	6	0	3	0	2	2	1	6	1	6	2	0	0
40~45%	6	14	13	0	9	7	11	1	6	0	5	0	0	0	0	4	0	1	1	0	0
35~40%	3	17	15	0	6	7	6	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
30~35%	0	30	9	0	1	5	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25~30%	0	27	3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~25%	0	14	2	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~20%	0	11	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~15%	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0~5%	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校2年 理科 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別		
		科学的な思考	技能・表現	知識・理解
問題数	20	7	7	6
+10%以上	1	1	0	0
±10%内	15	3	7	5
-10%以下	4	3	0	1

(2) 考察

全体について

- ア 調査結果から、学習状況の一部に改善を要する部分がある。
 - ・設定通過率の平均70.5%に対し、平均通過率が67.7%とやや下回っている。設定通過率を上回った問題は10問、10ポイント以上下回った問題は4問ある。
- イ 観点別において、「科学的思考」に課題が残る。
 - ・「科学的思考」では、大幅に設定通過率を下回る問題がある。
- ウ 類似問題の8割が、昨年度の通過率より高い結果である。
 - ・平均通過率を下回った問題が7問あるものの、類似問題12問中、10問が昨年度の通過率を上回っている。各学校で指導の改善が図られていることがうかがえる。

成果

- ア 植物のつくりとはたらき、地震に関する内容については、おおむね満足できる実現状況である。
 - ・12)の気孔のはたらき、20)の初期微動継続時間と震源との距離については、設定通過率をそれぞれ6.4%、12.5%と上回り、適切な指導がなされていることがうかがえる。
- イ 観察・実験を重視した授業改善がなされている。
 - ・1)の凸レンズでできる像や、14)、15)の中和実験など観察・実験を通して実感を伴った理解がなされていると判断できる。

課題

- ア 観察・実験を通して得られた結果から、科学的に思考する力が不十分である。
 - ・2)の凸レンズでできる像と距離の関係、3)の大気圧のはたらきかた、16)の地層の広がりには規則性を見いだす問題であるが、いずれも通過率が10%以上下回っている。
- イ 観察や実験器具などの基本操作について指導の改善を要する部分がある。
 - ・7)はガスバーナーの使い方、11)は顕微鏡の操作手順を問う問題であるが、昨年度の通過率より上回っているものの、学校間の差が大きい。また、9)の光合成の実験手順を記述で答える問題も通過率は低い。

(3) 今後の指導

- ア 実験結果を考察する場を重視した授業改善が求められる。
 - ・観察、実験を重視した授業は行われているものの、結果から見いだしたことを意見交換して考えを見直したり深めたりする場が設定されていないため、科学的な思考力が十分に養われていない状況にある。問題解決の過程を一層重視した指導過程の工夫が望まれる。
- イ 考察したことを文章等で表現させる指導の工夫が必要である。
 - ・実験結果などを整理、分析することにより自分の考えをまとめる力を育成する必要がある。根拠や考察を自分の言葉で表現するプロセスを展開していくことが大事である。

中学校 第3学年
理科

中学校第3学年 理科 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	設問番号	観点		
				科学的考察	技能表現	知識理解
物理分野	(3)ア(イ)	・直列回路や並列回路における電流や電圧の規則性、金属線の電気抵抗などを調べる観察や実験を行い、結果を記録することができる。	(4)			
	(3)ア(ウ)	・直列回路や並列回路における電流や電圧の規則性や金属線の電気抵抗などについて基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	(5)			
	(3)イ(ア)	・磁石や電流による磁界、磁界から電流が受ける力などの観察、実験を行い、結果を記録することができる。	(1)			
	(3)イ(ア)	・磁石や電流による磁界、磁界から電流が受ける力などを調べる方法を考えたり、規則性を見いだしたりすることができる。	(2)			
	(3)イ(イ)	・磁石や電流による磁界や磁界から電流が受ける力などの関係を理解し、知識を身に付けている。	(3)			
化学分野	(4)ア(ア)	・分解して生成した物質の性質を調べるための実験器具を適切に選択し、それらの基本操作ができる。	(6)			
	(4)ア(ア)	・分解して生成した物質を調べる方法を考えるなどして実験を行い、元の物質の成分を推定することができる。	(7)			
	(4)イ(ア)	・化合物の組成は化学式で、化学反応は化学反応式で表せることを理解し、知識を身に付けている。	(10)			
	(4)イ(イ)	・安全に注意して化合の実験を行ったり、化学変化の質量を注意深く測定したりする方法を習得している。	(8)			
	(4)イ(イ)	・化学変化に関係する物質の質量を測定する実験の結果を分析的に考察し、化学変化における物質の質量の関係を見いだすことができる。	(9)			
生物分野	(3)ア(ウ)	・消化などで、適切な条件を設定して実験を行うことができる。	(12)			
	(3)ア(ウ)	・消化などについての観察、実験を行い、運搬や排出の仕組みを関連付けて考察することができる。	(11)			
	(3)ア(ウ)	・動物の体のつくりと働き、消化・呼吸・血液循環などの仕組みなどについて理解し、知識を身に付けている。	(13)			
	(3)イ(ア)	・動物の分類の観点を明らかにして動物を数グループに分類したり、未知の動物が入るグループを推論したりすることができる。	(14)			
	(3)イ(ア)	・セキツイ動物の5つの仲間の特徴などについて理解し、知識を身に付けている。	(15)			
地理分野	(4)ア(ア)	・気温、湿度などの観測器具の取り扱い方や観測の方法などを習得している。	(19)			
	(4)イ(ア)	・水蒸気の凝結現象や断熱膨張、雲や霧の発生の要因などを理解し、知識を身に付けている。	(20)			
	(4)ア(ア)	・気温、気圧、風向、風力などの気象要素について理解し、知識を身に付けている。	(16)			
	(4)ア(ア)	・気温、湿度、気圧、風向、天候などの観測結果をもとに、天気の変化との関係、気温と湿度の変化との関係、気圧の変化と雲の様子との関係などの規則性を見いだすことができる。	(17)			
	(4)イ(イ)	・気温、湿度、気圧、風向、風力、天候などの変化から、前線が通過するときの天気の変化の規則性を見いだすことができる。	(18)			

中学校3年 理科 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 64.1%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
1	コイルのまわりの磁界	58.9%	60.0%	
2	磁界中で電流が受ける力	86.4%	70.0%	
3	電流のはたらきの利用	74.5%	70.0%	
4	電流計の使い方	63.2%	70.0%	
5	並列回路の電流と電圧	49.2%	70.0%	
6	電気分解の実験技能	66.5%	70.0%	
7	分解でできた物質の区別	77.9%	70.0%	
8	銅粉を熱するときの実験技能	76.2%	70.0%	
9	銅と酸素の化合する割合	33.0%	60.0%	
10	化学変化のモデル	72.2%	80.0%	
11	ベネジクト液による糖の検出	68.1%	70.0%	
12	だ液のはたらきを調べる実験	58.4%	60.0%	
13	肝臓のはたらき	61.3%	70.0%	
14	セキツイ動物のなかま分け	76.6%	80.0%	
15	セキツイ動物の特徴	58.1%	60.0%	
16	風向, 風力, 天気の見取り	87.3%	80.0%	
17	気温, 湿度, 気圧のグラフ	47.8%	60.0%	
18	前線と天気の変化	51.0%	70.0%	
19	露点と湿度	52.5%	60.0%	
20	雲ができる条件	62.9%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

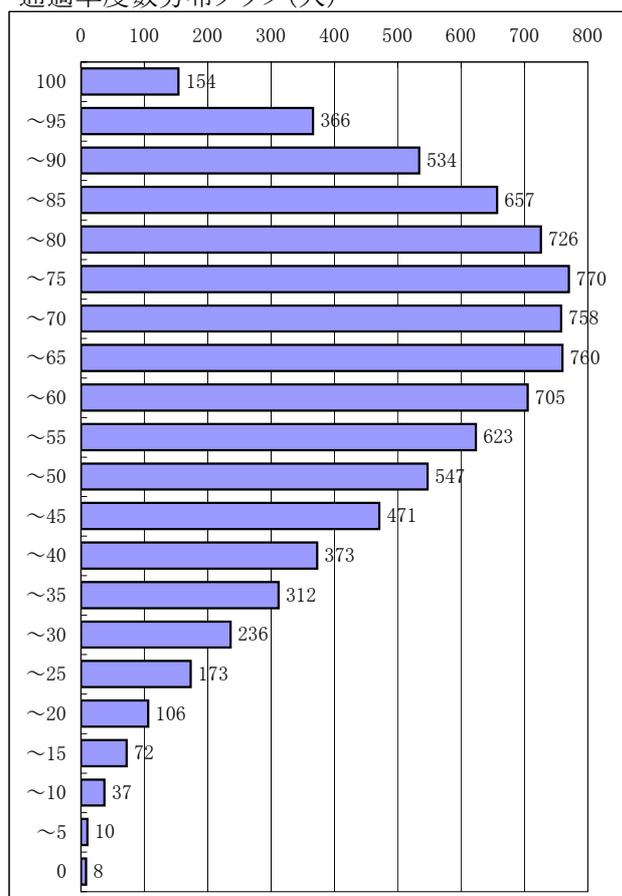
中学校3年 理科

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1 (1)	58.9%	40.9%	0.2%	0.0%
	2 (2)	86.4%	13.4%	0.2%	0.0%
	3 (3)	74.5%	25.2%	0.3%	0.0%
2	1 (4)	63.2%	25.8%	11.1%	0.0%
	2 (5)	49.2%	49.7%	1.1%	0.0%
3	1 (6)	66.5%	21.0%	12.5%	0.0%
	2 (7)	77.9%	21.9%	0.2%	0.0%
4	1 (8)	76.2%	15.5%	8.3%	0.0%
	2 (9)	33.0%	59.0%	8.0%	0.0%
		(10)	72.2%	24.4%	3.5%
5	1① (11)	68.1%	31.7%	0.3%	0.0%
	1② (12)	58.4%	41.3%	0.3%	0.0%
	2 (13)	61.3%	38.2%	0.4%	0.0%
6	1 (14)	76.6%	23.2%	0.2%	0.0%
	2 (15)	58.1%	41.5%	0.4%	0.0%
7	1 (16)	87.3%	12.4%	0.2%	0.0%
	2 (17)	47.8%	51.7%	0.5%	0.0%
	3 (18)	51.0%	48.4%	0.6%	0.0%
8	1 (19)	52.5%	46.1%	1.5%	0.0%
	2 (20)	62.9%	36.4%	0.7%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1-1	5-1-2	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	7-3	8-1	8-2	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	
100%	0	3	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
95～100%	0	7	0	1	0	2	5	8	0	4	1	0	0	0	20	0	0	0	1	0
90～95%	0	29	4	6	0	5	12	20	1	9	0	2	0	6	34	0	0	0	0	0
85～90%	4	45	7	7	0	4	17	30	0	22	3	1	4	15	2	30	0	0	2	0
80～85%	5	29	26	17	1	15	21	20	1	18	7	2	1	24	1	18	0	1	0	8
75～80%	5	11	35	18	3	17	33	7	2	9	15	3	10	40	6	13	1	2	1	16
70～75%	12	4	23	10	1	14	17	12	0	16	29	11	16	27	10	4	0	2	5	18
65～70%	15	1	16	13	7	16	7	12	5	16	32	19	23	9	14	2	7	12	5	19
60～65%	22	0	11	10	10	15	9	4	5	14	24	30	11	6	24	1	9	14	16	15
55～60%	21	0	3	9	19	17	4	1	6	3	11	13	25	2	29	0	15	18	27	16
50～55%	22	0	4	9	25	10	1	1	4	8	3	16	24	0	20	0	30	25	40	17
45～50%	11	0	0	10	19	8	1	0	8	2	2	13	10	0	15	0	20	18	14	8
40～45%	6	0	0	4	17	2	1	3	8	4	2	15	2	0	7	0	18	18	9	9
35～40%	2	0	0	2	13	3	0	1	12	2	0	1	1	0	1	0	15	11	9	0
30～35%	3	0	0	6	10	0	0	0	16	1	0	1	2	0	0	0	9	6	2	0
25～30%	1	0	0	3	4	1	0	0	22	0	0	2	0	0	0	0	5	1	1	0
20～25%	0	0	0	2	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～20%	0	0	0	2	0	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校3年 理科 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領域別(分野別) <small>教科で適切に</small>			
		科学的な思考	技能・表現	知識・理解	物理領域	化学領域	生物領域	地学領域
問題数	20	7	6	7	5	5	5	5
+10%以上	1	1	0	0	1	0	0	0
±10%内	15	3	6	6	3	4	5	3
-10%以下	4	3	0	1	1	1	0	2

(2) 考察

全体について

- ア 中学校3年生の学習状況は各分野でおおむね満足できる状況にあるといえる。
 - ・問題20問中、設定通過率を上回るか同程度である問題が16問であり、分野ごとの大きな差はない。
- イ 中学校3年生の学習状況は、科学的な思考の一部において改善を要する状況にあるといえる。
 - ・科学的な思考を問う問題では、7問中3問が設定通過率を10ポイント以上下回っている。

成果

- ア 実験を行う際の適切な条件設定の仕方や観察・実験器具等の基本操作、観測の方法、実験結果の記録の仕方が身に付いている。
 - ・1)はコイルのまわりの磁界を調べる問題、4)は電流計の使い方の問題、6)は電気分解の実験技能の問題、12)は条件設定による実験の問題、露点と湿度の測定の問題であり、いずれも通過率が設定通過率と同程度である。
- イ 微視的な事象についてモデルの活用や日常生活との関連付けを図ったり、動物の運動と体の特徴を関連付けるなどして、多面的な理解がなされている。また、気象要素の基本的な知識が身に付いている。
 - ・3)は電流のはたらきの利用についての問題、10)は化学変化のモデルの問題、13)は肝臓のはたらきの問題、15)はセキツイ動物の特徴の問題、16)は気象要素の問題であり、いずれも通過率が設定通過率を上回るか同程度である。
- ウ 予想を基にして実験方法を考える力、実験結果を多面的に考察する力、複数のものを比較して共通性を見いだす力が身に付いてきている。
 - ・2)は磁界中で電流が受ける力を調べる方法を考える問題、7)は分解でできた物質を区別する方法を考える問題、11)は2つの実験結果を考察する問題、14)はセキツイ動物の特徴を見いだす問題であり、いずれも通過率が設定通過率を上回るか同程度である。

課題

- ア 実験結果や観測結果を分析して規則性を見いだす力、観測結果を基にして事象の変化を推論する力が十分ではない。
 - ・10)は化学変化にかかわる物質の関係を見いだす問題、17)は気温、湿度、気圧、天気の変化の規則性を見いだす問題、18)は前線の移動による天気の変化を推論する問題であるが、通過率が設定通過率を13~25ポイント程度下回っている。
- イ 電流と電圧の関係や規則性に関する理解が十分ではない。
 - ・5)は並列回路における電圧、電流の規則性とオームの法則の理解の問題であり、通過率が設定通過率を20%程度下回っている。

(3) 今後の指導

- ア 一つ一つの場面を大事にした授業の展開が求められる。
 - ・観察や実験の目的意識を一層高めるために、観察や実験について予想や仮説をもつ場、観察や実験の結果について予想や仮説と比べて考察する場を大切にする。
 - ・実験結果を数量化、グラフ化するなどして規則性を見いだしたり、観測結果を基に事象の変化を推論したり規則性を見いだしたりする場を大切にする。
 - ・学んだことを生かす場や、日常生活や身の回りの事物・現象とかかわりをもたせる場を大切にし、理科で学習することの有用性に気付かせるようにする。

中学校 第2学年
英 語

中学校 2年 英語 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準	設問番号	観点		
				表現	理解	知識・理解
聞くこと	ア(イ)	[正確な聞き取り] ・聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。	(1			
	ア(イ)	[適切な聞き取り] ・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。	(2 (3 (4 (5			
	ア(ウ)	[適切な聞き取り] ・質問や依頼などに対して、適切に応じることができる。	(6 (7			
読むこと	ウ(ウ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8			
	ウ(ウ)	[適切な読み取り] ・書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。	(9 (11			
	ウ(エ)	[適切な読み取り] ・伝言や手紙などに対して、適切に応じることができる。	(10			
	ウ(ウ)	[言語についての知識・理解] ・場面や状況にふさわしい表現を知っている。	(12 (13			
書くこと	エ(ウ)	[正確な筆記] ・文法にしたがって正しく書くことができる。	(14 (15 (16			
	エ(ウ)	[適切な筆記] ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	(17			
	エ(ウ)	[言語についての知識・理解] ・文構造についての知識がある。	(18 (19 (20			

中学校2年 英語 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 71.1%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	
1	(聞) 持ち物内容の聞き取り	98.2%	90.0%	
2	(聞) 自己紹介文の聞き取り	77.5%	80.0%	
3	(聞) 自己紹介文の聞き取り	95.3%	85.0%	
4	(聞) 場面(窓の開閉)の聞き取り	69.9%	75.0%	
5	(聞) 場面(贈り物)の聞き取り	95.2%	90.0%	
6	(聞) 困っている人への適切な対応	51.5%	60.0%	
7	(聞) 先生の指示への対応	65.9%	65.0%	
8	(読) 部屋の状況の読み取り	86.5%	70.0%	
9	(読) 人物関係の読み取り	87.0%	75.0%	
10	(読) メール内容への対応	82.6%	70.0%	
11	(読) 情報の取捨選択・整理	86.5%	75.0%	
12	(読) 場面に対する適切な応答	78.7%	65.0%	
13	(読) 場面に対する適切な応答	78.2%	70.0%	
14	(書) 人物の行動の描写	22.2%	60.0%	
15	(書) 交通手段を尋ねる表現	30.5%	60.0%	
16	(書) 絵の内容(人物)の描写	41.7%	60.0%	
17	(書) 自己表現(休日の行動)	42.3%	60.0%	
18	(書) didn'tを用いた否定文	89.6%	80.0%	
19	(書) 疑問詞を用いた疑問文	61.0%	60.0%	
20	(書) SVOの疑問文	80.9%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

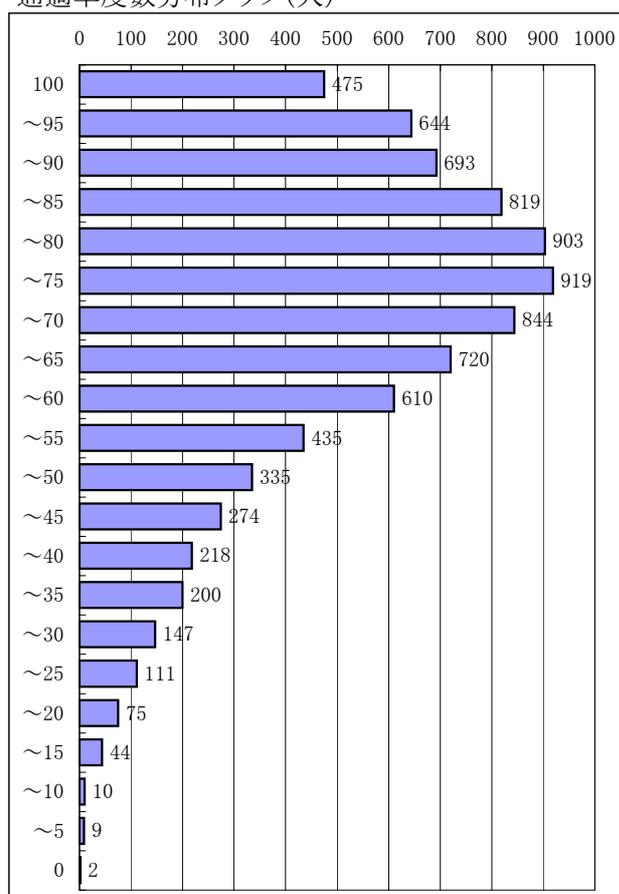
中学校2年 英語

小問別反応率

通し番号		1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	(1)	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%
2	1 (2)	77.5%	22.3%	0.2%	0.0%
	2 (3)	95.3%	4.6%	0.1%	0.0%
3	1 (4)	69.9%	30.1%	0.0%	0.0%
	2 (5)	95.2%	4.7%	0.1%	0.0%
4	1 (6)	51.5%	48.3%	0.1%	0.0%
	2 (7)	65.9%	33.7%	0.4%	0.0%
5	(8)	86.5%	13.4%	0.1%	0.0%
6	(9)	87.0%	13.0%	0.1%	0.0%
7	(10)	82.6%	17.3%	0.2%	0.0%
8	(11)	86.5%	13.1%	0.4%	0.0%
9	1 (12)	78.7%	20.5%	0.8%	0.0%
	2 (13)	78.2%	21.0%	0.8%	0.0%
10	1 (14)	22.2%	71.2%	6.6%	0.0%
	2 (15)	30.5%	54.1%	15.5%	0.0%
11	(16)	41.7%	48.9%	9.4%	0.0%
12	(17)	42.3%	49.1%	8.6%	0.0%
13	1 (18)	89.6%	9.0%	1.4%	0.0%
	2 (19)	61.0%	37.0%	2.1%	0.0%
	3 (20)	80.9%	17.3%	1.8%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1～3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5	6	7	8	9-1	9-2	10-1	10-2	11	12	13-1	13-2	13-3	平均 通過率
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	
100%	47	2	19	1	18	1	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	9	0	3	0
95～100%	64	7	55	1	59	0	1	13	10	2	18	1	1	0	0	0	0	20	2	9	0
90～95%	10	9	38	3	36	2	4	24	36	16	29	8	6	0	0	0	1	35	1	13	2
85～90%	1	23	8	5	8	5	9	38	33	30	24	22	22	0	0	0	2	28	5	20	2
80～85%	0	16	1	8	1	8	13	24	25	30	27	28	19	0	2	1	2	24	10	25	10
75～80%	0	20	1	20	0	10	9	16	12	30	17	34	41	0	0	5	5	4	7	24	21
70～75%	0	14	0	21	0	5	14	2	2	11	3	19	23	1	1	4	3	1	14	13	33
65～70%	0	13	0	31	0	0	12	1	3	1	1	6	6	2	2	3	1	0	14	8	32
60～65%	0	9	0	16	0	8	15	0	0	1	1	2	3	0	3	6	6	1	13	4	16
55～60%	0	1	0	10	0	10	22	0	0	0	0	0	0	0	4	5	4	0	14	2	4
50～55%	0	4	0	5	0	12	8	1	0	1	0	1	0	4	3	16	8	0	12	0	1
45～50%	0	1	0	1	0	8	4	0	0	0	1	0	0	2	8	15	12	0	11	1	1
40～45%	0	3	0	0	0	14	7	0	0	0	0	1	0	5	10	12	18	0	5	0	0
35～40%	0	0	0	0	0	16	2	0	0	0	0	0	0	1	5	8	10	13	0	4	0
30～35%	0	0	0	0	0	11	1	0	0	0	0	0	0	10	15	14	12	0	4	0	0
25～30%	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	12	18	11	13	0	5	0	0
20～25%	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	19	15	10	9	0	0	0	0
15～20%	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	17	10	5	9	0	0	0	0
10～15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	11	3	2	0	0	0	0
5～10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8	0	2	0	1	0	0
0～5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	0	0
計	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校2年 英語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観 点 別			領域別(分野別)			教科で適切に 書くこと
		表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
問題数	20	4	11	5	7	6	7	
+10%以上	7	0	5	2	1	5	1	
±10%内	9	0	6	3	6	1	2	
-10%以下	4	4	0	0	0	0	4	

(2) 考察

全体について

ア 2年生の全般的な学習の実現状況では「聞くこと」「読むこと」についてはおおむね良好と言える。

・問題のすべてが設定通過率を上回っているか同程度である。

イ 「書くこと」については依然として良好であるとはいえない。

・ここ数年設定通過率を大幅に下回っている「疑問詞で始まる疑問文」「三人称単数現在形の文」に関する問題の通過率は、今年度微増しているもののまだ大きく下回っている。

成果

ア 各校の「読むこと」における「正確な読み取り」「適切な読み取り」の指導状況が大変良好であることがうかがわれる。

・6問中すべてが設定通過率を上回り、そのうち10ポイント以上上回った問題が5問、残る1問も8ポイント以上上回っている。また、度数分布表からも80～95%の範囲にある学校がほとんどである。

イ 「書くこと」における「文構造の知識」については、向上が認められる。

・18) 19) 20) は語順を問う問題であるが、3問中すべてが設定通過率を上回り、そのうち2問が10ポイント以上もしくはほぼ10ポイント上回っている。残る1問は「疑問詞を用いた疑問文」であるが、これもわずかではあるが設定通過率を上回った。

課題

ア 「聞くこと」及び「書くこと」においては、具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えて相手に応じたり表現したりすることがまだ十分にできていない。

・「聞くこと」では、単に事実を確認する問題については通過率が95%以上と高いのに対して、場面や状況への適切な対応が求められる4) 6) では10ポイント未満ながら下回る。

イ 特に「書くこと」においては、言語材料等のさらなる定着と同時に、それら言語材料がどんな場面や状況で用いられるのかの理解も不十分である。

・同じ「疑問詞を用いた疑問文」の問題であっても、19) を解くに必要な語順は理解していても、15) のように前後の場面や状況から判断し適切な表現を選択する力は弱い。

(3) 今後の指導

ア 日常の授業において「言語の使用場面」や「言語の働き」を意識した指導を行う。

・4領域、特に「聞くこと」「書くこと」において、「特有の表現がよく使われる場面」「生徒の身近な暮らしにかかわる場面」や「考えを深めたり情報を伝えたりする働き」「相手の行動を促したり自分の意志を示したりする働き」「気持ちを伝える働き」など、言語の使用場面や働きを意識した指導を日々の授業で行う。

イ 特に「書くこと」においては、「実際に活用すること」を重視した指導を行う。

・例えば、like、likes、likedは書けても、英文中の主語や時を表す語句への着目なしには書き分けられない。また、Do you have a watch?の問いにIt's about noon.と答えるためには、その場面や状況が読み取れていなければ書けない。単に言語材料の定着を図るだけでなく、生徒が言語材料を適切に用いることができるよう指導を工夫する。

中学校 第3学年
英 語

中学校3年 英語 評価規準と評価の観点

領域	内容	評価規準		通し番号	観点		
					表現	理解	知識・理解
聞くこと	ア(イ)	[正確な聞き取り]	・聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。	(1			
	ア(イ)	[適切な聞き取り]	・聞いた内容について大切な部分を聞き取ることができる。	(2 (3 (4 (5			
	ア(ウ)	[適切な聞き取り]	・質問や依頼などに対して、適切に応じることができる。	(6 (7			
読むこと	ウ(ウ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8			
	ウ(ウ)	[適切な読み取り]	・書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。	(9 (11			
	ウ(エ)	[適切な読み取り]	・伝言や手紙などに対して、適切に応じることができる。	(10			
	ウ(ウ)	[言語についての知識・理解]	・場面や状況にふさわしい表現を知っている。	(12 (13			
書くこと	エ(ウ)	[正確な筆記]	・文法にしたがって正しく書くことができる。	(14 (15 (16			
	エ(ウ)	[適切な筆記]	・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	(17			
	エ(ウ)	[言語についての知識・理解]	・文構造についての知識がある。	(18 (19 (20			

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
1	(聞) 公園の人物についての聞き取り	98.8%	90.0%	
2	(聞) ホームステイの対話の聞き取り	82.0%	80.0%	
3	(聞) ホームステイの対話の聞き取り	90.9%	80.0%	
4	(聞) 友だちを誘う対話の聞き取り	93.1%	80.0%	
5	(聞) 体調を尋ねる対話の聞き取り	57.5%	70.0%	
6	(聞) 発話への適切な対応	82.8%	70.0%	
7	(聞) 質問への適切な対応	53.0%	60.0%	
8	(読) 人物の行動の描写	81.4%	75.0%	
9	(読) 広告文の読み取り	66.7%	60.0%	
10	(読) 天気予報への対応	89.7%	85.0%	
11	(読) 友だち同士の対話文の読み取り	60.7%	60.0%	
12	(読) 自然な対話の組み立て	73.0%	70.0%	
13	(読) 自然な対話の組み立て	88.7%	85.0%	
14	(書) 理由を尋ねる表現	25.3%	60.0%	
15	(書) 最上級の疑問文	42.1%	60.0%	
16	(書) これからしたいこと	57.3%	70.0%	
17	(書) 最近したこと	54.2%	60.0%	
18	(書) would like to ~ (並べ換え)	76.9%	60.0%	
19	(書) 最上級の疑問文(並べ換え)	31.5%	60.0%	
20	(書) 動名詞(目的語)(並べ換え)	70.4%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

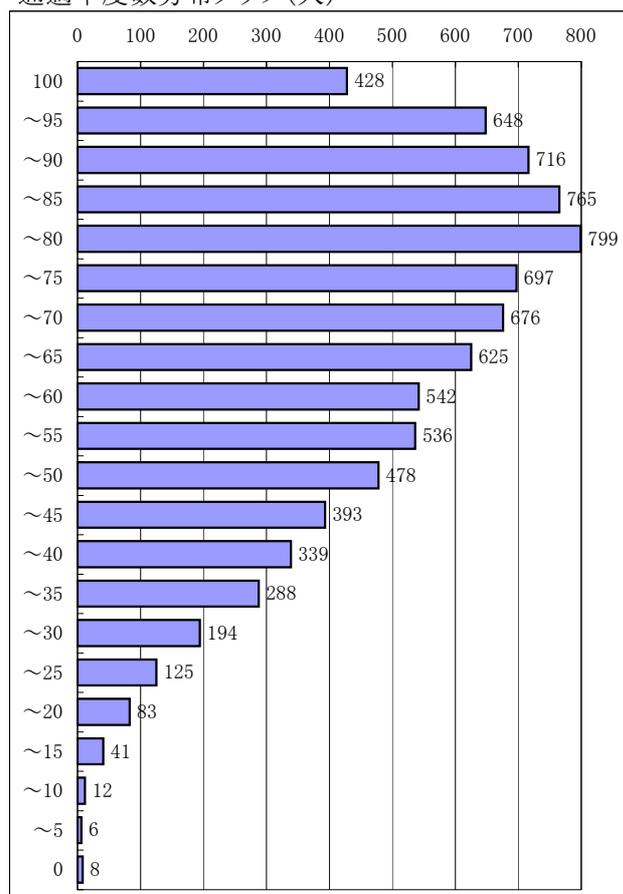
中学校3年 英語

小問別反応率

通し番号			1(通過率)	2(誤答)	3(未記入)	4(未履修)
1	1	(1)	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%
2	1	(2)	82.0%	18.0%	0.1%	0.0%
	2	(3)	90.9%	9.0%	0.1%	0.0%
3	1	(4)	93.1%	6.9%	0.1%	0.0%
	2	(5)	57.5%	42.4%	0.2%	0.0%
4	1	(6)	82.8%	17.1%	0.1%	0.0%
	2	(7)	53.0%	46.7%	0.2%	0.0%
5		(8)	81.4%	18.5%	0.1%	0.0%
6		(9)	66.7%	33.1%	0.1%	0.0%
7		(10)	89.7%	10.2%	0.1%	0.0%
8		(11)	60.7%	39.0%	0.2%	0.0%
9	1	(12)	73.0%	26.7%	0.3%	0.0%
	2	(13)	88.7%	11.0%	0.3%	0.0%
10	1	(14)	25.3%	58.1%	16.6%	0.0%
	2	(15)	42.1%	42.9%	15.0%	0.0%
11		(16)	57.3%	36.2%	6.6%	0.0%
12		(17)	54.2%	32.1%	13.7%	0.0%
13	1	(18)	76.9%	21.4%	1.7%	0.0%
	2	(19)	31.5%	66.7%	1.8%	0.0%
	3	(20)	70.4%	27.3%	2.3%	0.0%

※4(未履修)を除いた解答類型1~3の合計を分母として
通過率を算出

通過率度数分布グラフ(人)



小問別通過率度数分布表(校)

以上 未満	1-1	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5	6	7	8	9-1	9-2	10-1	10-2	11	12	13-1	13-2	13-3	平均
	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)	通過率
100%	72	0	7	11	0	3	0	2	1	8	0	0	9	0	0	0	0	2	0	2	0
95~100%	53	2	19	41	0	3	0	1	0	13	0	1	9	0	0	0	2	1	0	3	0
90~95%	4	9	60	52	0	15	0	11	2	41	2	4	48	0	0	2	4	7	0	4	1
85~90%	0	32	32	17	2	20	1	25	1	48	2	6	38	0	1	0	1	16	1	8	4
80~85%	0	43	5	6	1	52	1	43	2	16	1	15	16	0	1	5	4	26	1	13	2
75~80%	0	31	3	2	7	25	5	30	19	3	3	26	9	1	0	6	1	29	4	20	13
70~75%	0	5	3	0	7	8	1	11	22	0	10	32	0	1	1	11	10	24	3	15	29
65~70%	0	4	0	0	13	2	9	4	33	0	19	24	0	1	4	8	11	13	3	27	43
60~65%	0	2	0	0	17	1	17	1	22	0	28	12	0	2	6	18	12	4	5	12	32
55~60%	0	1	0	0	30	0	21	1	14	0	31	7	0	0	6	24	20	3	4	7	3
50~55%	0	0	0	0	25	0	26	0	11	0	16	0	0	3	17	21	13	4	3	9	2
45~50%	0	0	0	0	17	0	21	0	0	0	11	1	0	2	19	12	8	0	8	6	0
40~45%	0	0	0	0	8	0	14	0	0	0	3	0	0	5	20	9	12	0	8	2	0
35~40%	0	0	0	0	1	0	9	0	1	0	3	0	0	14	13	7	9	0	10	1	0
30~35%	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	12	19	1	6	0	10	0	0
25~30%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	15	12	3	8	0	15	0	0
20~25%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4	2	5	0	11	0	0
15~20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	3	0	2	0	12	0	0
10~15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2	0	1	0	16	0	0
5~10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0	12	0	0
0~5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
計	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129

※1学年 20人以上データを提出した学校

中学校3年 英語 調査結果及び考察

(1) 設定通過率との比較

比較表	全体	観点別			領域別(分野別)		
		表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと
問題数	20	4	11	5	7	6	7
+10%以上	4	0	3	1	3	0	1
±10%内	11	1	7	3	3	6	2
-10%以下	5	3	1	1	1	0	4

(2) 考察

全体について

ア 3年生の全般的な学習の実現状況では「聞くこと」「読むこと」についてはおおむね良好といえる。

・それぞれ、7問中5問、6問中6問と、ほとんどの問題が設定通過率を上回っているか同程度である。

イ 「書くこと」については依然として良好であるといえない。

・7問中4問が設定通過率を下回っている。毎年課題として取り組んできているが、十分な成果がみられない。

成果

ア 各校の「聞くこと」「読むこと」の指導状況が良好であることがうかがえる。

・「聞くこと」の2問を除き、すべての問題で設定通過率を上回っており、そのうち3問は10ポイント以上上回っている。

イ 「まとまりのある英文」を書く問題において、改善傾向が見られる。

・今年度は通過率は54.2%で、過去の類似問題の通過率[平成15年度33.6%、平成16年度48.5%、平成17年度53.4%]と比較すると、改善傾向がみられる。

課題

ア 基本的な文構造の定着のうち、特に「書くこと」の定着が不十分である。

・14) 15)はそれぞれ「疑問詞whyを用いた疑問文」「最上級の疑問文」の問題だが、通過率がそれぞれ25.3%、42.1%と設定通過率を大きく下回っている。15)については、昨年度も同様の問題を出題しているが、十分な改善傾向はみられない。

イ 「まとまりのある英文」を書く指導を今後も重視する。

・17)の「内容につながりをもたせて3文以上の英文で書く」問題は、通過率54.2%と設定通過率まであと一歩である。これまでの各校の取り組みの成果が現れており、指導を継続したい。また、16)は絵の内容から正確な英文を書く問題だが、通過率57.3%と設定通過率70.0%に及ばなかった。

(3) 今後の指導

ア 「書く活動」を積極的に取り入れ、基本的な文構造の定着を目指す。

・「書くこと」の指導については、「話せる程度の内容は正確かつ適切に書けること」を基本に、「話す活動」と「書く活動」を結び付けるなど、4領域を関連付けた指導が必要である。また、場面設定を重視し、実際のコミュニケーションを意識した「書く活動」を工夫することが大切である。

イ 「まとまりのある英文」を書くことについては、段階的な指導を工夫する。

・「書くこと」についての各学年段階での到達目標を明確にし、3年間の中で「まとまりのある英文」を書く活動を計画的に取り入れる必要がある。系統性に配慮しながら、1年生から「書くこと」の指導を継続するとともに、文脈や論旨展開などの文章構成に配慮した指導等の充実を図りたい。